

第七十六回帝國議會  
衆議院

治安維持法改正法律案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案  
治安維持法改正法律案(政府提出)  
(第六二號)

會議

昭和十六年二月十七日(月曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 服部 英明君

理事泉 國三郎君 理事世耕 弘一君

江原 三郎君 小畑虎之助君

田村 秀吉君 中村 高一君

藤本 捨助君 濱野徹太郎君

藤田 若水君 猪野毛利榮君

三田村武夫君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 男爵平沼騏一郎君

文部大臣 橋田 邦彦君

司法大臣 柳川 平助君

出席政府委員左ノ如シ

內務省警保局長 橋本 清吉君

內務書記官 入江誠一郎君

內務事務官 村田 五郎君

陸軍少將 田中 隆吉君

陸軍省法務局長 大山 文雄君

司法次官 三宅正太郎君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省刑事局長 秋山 要君

司法省行刑局長 金澤 次郎君

司法書記官 大竹武七郎君

司法書記官 太田 耐造君

教學局長官 藤野 惠君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ  
治安維持法改正法律案(政府提出)  
○服部委員長 是ヨリ開會致シマス——小

畑君

○小畑委員 簡單ニ伺ヒマス、第一條ノ國體ト第七條ノ國體トハ同ジ意味デアリマスカ

○秋山政府委員 ソレハ同ジ意味デアリマスカ

○小畑委員 第一條ノ國體ハ、憲法上ノ國體ト政體トノ區別ニ用ヒラル定義ニ從ツタモノデアルト云フ御答辯ガアツタヤウニ思フノデアリマス、即チ憲法第一條ノ規定ニ基クモノデアルト云フコトデアリマスガ、第七條ノ國體モ同様ノ意味デアルト致シマス、第一ニ其ノ罪ハ輕キニ失スルト思フノデアリマス、苟クモ憲法第一條ニ依ツテ明カニセラレタル國體ヲ否定スルコトヲ以テ目的トシテ、結社ヲ組織シタ者ニ對シテハ、第一條ノ場合ト同様ナル制裁ヲ加フベキモノデアリナカト思ヒマス、ソレカラ御說明ニナリマシタヤウニ、第七條ガ類似宗教團體ヲ主トシテ對象トシテ考ヘテ居ルモノデアルト云フコトデアリマシタガ、若シ國體ヲ否定スルコトガ憲法第一條ヲ否定スルト云フコトデアツタトスレバ、類似宗教團體ノ中ニ憲法第一條ヲ否定スルト云フヤウナモノガ出テ來ルコトハ、吾々ニハ殆ド想像ガ付カヌノデアリマス、サウ云フコトガアルノデアリマセウカ、ソレカラ否定ト云フ言葉デアリマスガ、是ハ第一條ニ謂フ所ノ變革ト云フ言葉トハ勿論違フノデアラウト思ヒマス、變革ト云フ言葉ハ積極的ナル行動ヲ意味スルモノデアルト思フノデアリマスガ、此ノ否定ト云フモノハソレト

ハ違フト思フノデアリマシテ、事實ヲ否認スルト云フヤウナコトニ解スベキモツデアリマセウカ、否認トハ又違フノデアツテ、否認トソレカラ變革ノ中間ニアルモノデアアルノデアリマスガ、此ノ否定ト云フコトヲ御說明願ヒタイト思ヒマス

○秋山政府委員 否定ト申シマスノハ、事柄ノ本體ヲ觀念的ニ抹殺シヨウト云フ意味デアリマス、變革ト云フコトハ、事物ノ本體ニ對シマシテ具體的ニ、積極的ニ之ニ變更ヲ加ヘル、斯ウ云フ能動的ノ内容ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、否定ハ唯之ヲ觀念的ニ、消極的ニ認メナイト云フダケノ内容ヲ持ツテ居ルモノト考ヘテ居リマス

○小畑委員 私有財産制度ノ否認ニ關シテ先般司法大臣カラ御答辯ガゴザイマタガ、其ノ中ニ私有財産制度ノ否認ハ應ニ團體ヲ變革スル虞ガアルト說明セラレタノデアリマスガ、其ノ場合ニ於ケル國體ト云フ文字ハ、之ヲ第一條ト第七條ト同ジ意味ニ御用ヒニナツタノデアリマスガ

○秋山政府委員 左様デアリマス、同ジ意味デ用ヒマシタ

○小畑委員 ソレハ姑ク後廻シト致シマス、第一條ノ結社ト第二條ノ支援結社ト第三條ノ準備結社トノ區別ニ付キマシテハ、先般三田村委員ヨリ質問ガアリマシテ御答辯ヲ伺ツタノデアリマスガ、尙ホ私ハ之ニ付テ能ク分ラヌ點ガアルノデ伺ヒマス、第二條ノ支援結社及ビ第三條ノ準備結社ハ、結局第一條ノ結社ノ中ニ包含サレルノデハナイ

カト思フノデアリマス、即チ第二條第三條ノ結社ヲ第一條カラ分離シテ規定セラレマシタコトハ、第一條ノ罪ヨリハ第二條第三條ヲ輕クスルコトニアルト思ヒマスガ、現行法ニハ此ノ區別ハナイノデアリマス、總テ第一條デ之ヲ律スルコトニナツテ居ルト思フノデアリマスガ、第二條第三條ヲ第一條カラ特ニ引離シテ輕キ罪ヲ以テ之ニ臨ム理由ハナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、現行法ノ下ニ於テ第二條ノ支援結社ト第三條ノ準備結社トニ對シテハ、第一條ニ依ツテ取締ツテ居ラレルノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレハドウ云フ風ニナツテ居リマスガ

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、改正規定ノ第一條ノ國體ヲ變革スルコトヲ目的トスル結社ハ、現行法ノ第一條ノ結社ト同一結社デアリマス、而シテ現行法ノ第一條ノ結社ハ、現行法制定當時カラノ説明及ビ其ノ後ノ運用ノ實績ニ見マスルニ、改正規定ノ第二條及ビ第三條ノ結社ヲ包含シテ居ラナイ結社ダト云フ風ニ解釋セラレ、且ツ運用セラレテ居ルモノデゴザイマス、隨テ第二條及ビ第三條ノ結社ハ、現行法ノ下ニ於テハ結社トシテ認メラレテ居ラナイモノデゴザイマシテ、今度ノ規定ニ於テ新タニ設ケタモノデゴザイマス、ソコデ此ノ第二條ノ如キ結社ヲ現行法如何ニ處置シテ居ルカト云フコトデゴザイマスガ是ハ大體ニ於キマシテ現行法第一條ノ結社ノ目的遂行行為トシテ處置セラレテ居ルノデゴザイマス、

隨テ個々ノ行爲ハ目的遂行行爲トシテ處置セラレテ居リマシテ、此ノ結社自體トシテソレヲ取上ゲテ處罰ノ對象トスルト云フコトガ出來兼ネマスノデ、斯様ナ集團ノナ犯罪ニ於テハ、結社ソレ自體ヲ取上ゲテ處罰ノ對象ト出來ナイト云フ所ニ取締上ノ不都合ガゴザイマスノデ、第二條ノヤウナ規定ヲ設ケタノデアリマス、第三條ノ準備結社デゴザイマスガ、是ハ現行法ノ下ニ於テハヤハリ結社ソレ自體トシテノ處置ハ出來兼ネルノデアリマシテ、結局此ノ準備結社ノ内部ニ於キマシテ、個々ニ實行ノ協議ナリ煽動ナリガ行ハレテ居リマスノヲ、現行法ノ二條、三條ノ行爲トシテ之ヲ個々ニ取締ツテ居ルニ過ギナイノデゴザイマス、此ノ改正規定ノ第三條ノ場合ニ於キマシテハ、第一條ノ結社ガ未ダ存在シナイ場合ニ於テ、ソレヲ作り出ス準備ヲ致シテ居ル結社デアリマスノデ、第一條ノ結社ノ目的遂行行爲ニハナラナイ場合ガゴザイマス、隨テ此ノ第一條ノ結社ノ目的遂行行爲トシテ處置スル譯ニ行カズ、結局其ノ個々ノ行爲ヲ捉ヘマシテ、實行ノ協議ナリ實行ノ煽動ナリト云フコトヲ以テ、或ル程度ノ處置ヲナシ得ルニ過ギナイノデアリマス、ソレデヤハリ一ツノ集團ノナ形ニ於テ之ヲ處置スルコトガ出來ナイノデ不都合ガゴザイマスノデ、新タニ斯様ナ規定ヲ置イタ次第デゴザイマス

云フコト、第三ニ永續的ノ性格ガナケレバナラヌト云フコト、此ノ三ツヲ御舉ゲニナツタヤウニ思フノデアリマスガ、私ハ此ノ共同目的ノ存在ト云フコトハ集團ニ於テモ必要ナコトデアツテ、單ニ此ノ要件ヲ缺クガ故ニ結社ニアラズシテ集團デアルト云フコトハ言ヘナイ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、即チ共同目的ノ存在ト云フコトガ、集團ニ於テモ缺クベカラザル要件デアルト云ヒマスノハ、第四條ニ於キマシテモ「前三條ノ目的ヲ以テ集團ヲ結成シタル者」斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、即チ前三條ノ目的ヲ以テ集團ヲ結成スルト云フコトハ、取りモ直サズ共同目的ガ存在スルト云フコトデアルト思フノデアリマス、ソレカラ永續的ノ性格ノ問題デアリマシテ、是モ、集團ガ單ナル集會ト其ノ意義ヲ異ニ致シマスル點カラ考ヘテモ明瞭デアリマシテ、如ク、集團モ永續的ノ性格ヲ有スルモノデアル、此ノ點ニ付テ結社ト集團ヲ明カニ區別スル標準ヲ求メルコトハ、困難デアルト思フノデアリマス、「集團ヲ結成シタル者」トアリマスガ、結成ト云フ言葉ノ如キハ、是ハ永續的ノ團體ニ用ヒラレル言葉デアリマシテ、其ノ時ニ會合ヲシマシテ、サウシテ其ノ時ニ直チニ解散ヲシテシマフト云フヤウナ所謂會合デアリマシタナラバ、結成ト云フコトハナイ筈デアルト思フノデアリマス、ソレカラ、多數人ノ相當鞏固ナル結合體ガ結社デアツテ、集團ハ然ラザルモノデアルト云フコトデアリマスガ、此ノ多數人ノ相當鞏固ナル結合體ト云フコトハ、相當鞏固ナルト云フヤウナコトハ、是ハ程度ノ問題デアリマシテ、中々容易ニ判別シ難イコトデアルト思フノデアリマス、殊

ニ其ノ結合體ガ多數人ノ相當鞏固ナル結合體デアルカドウカ、結合體ノ強弱ニ依ツテ處罰ノ程度ヲ上下スルト云フコトハ、刑事政策ト致シマシテモ適當デハナイノデヤナイカト思フノデアリマス、其ノ結合ガ極メテ鞏固ナル場合ハ重キ刑ヲ科スル、其ノ結合ガ或ル程度鞏固デアルケレドモ相當鞏固デハナイト、其ノ刑ヲ輕クスルト云フガ如キコトハ、理由ガナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、現行法ハ此ノ集團ト結社トノ區別ヲ致シテ居ラヌノデアリマスガ、特ニ結社カラ集團ヲ切離シテ別ノ規定ヲ置イタト云フコトハ、ドウ云フ譯デアルカ分ラヌノデアリマス

○太田政府委員 御尤モ御質問デアリマス、此ノ第四條ノ集團ニ關シマスル規定ハ、最近ノ思想情勢ノ運動形態ニ對應致シマシテ、結社ニ至ラナイ多數人ノ集合體ガ相當多クアリマスノデ、之ヲ個々ニ處置致シマスルヨリハ、ヤハリソレヲ其ノ團體ノ形ニ於テ處置致シタイト云フ風ニ考ヘマシテ、第四條ノ規定ヲ設ケタ譯デアリマス、ソレデ、此ノ集團ト結社トノ違ヒマシテ、只今御話ノアリマシタ通りデアリマシテ、結社ニハ種々ノ要件ガ必要ダト云フ風ニ説カレテ居リマシテ、既成ノ法律概念ヲナシテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ要件ヲ一ツデモ缺イテ居リマス場合ニ於キマシテハ、之ヲ結社ト見ニクイノデゴザイマス、ソコデ此ノ集團ノ規定ヲ設ケザルヲ得ナカツタノデゴザイマス、例ヘテ見マスルナラバ、數人ノ「グループ」ガアリマシテ、是ガ一回二回ハ其ノ連中ガ全部出テ來テ會合シタ、所ガ三回目カラボツ／＼其ノ中カラ脱落シテ來タ、又或ル場合ニハ、少シ無理ニ本人ヲ呼びニ

行カナケレバ其ノ會ニ出テ來ナイト云フヤウナ結合力ノ「ルーズ」ナ小サナ團體ガアルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ結社トシテ一寸處理シ得マセヌシ、又事實上結社トシテ取扱ツテ居ラレナイノデアリマスガ、サウ云フ風ナ「グループ」ノ結成者、之ヲ作り上ゲタ者ハ、單ナル個々ノ行爲トシテ之ヲ處置スルヨリモ、ヤハリサウ云フ一ツノ團體ヲ作り出シタト云フ點ニ重點ヲ置イテ、ソレヲ多少重ク處罰シナケレバナラス必要ガゴザイマスノデ、サウ云フ風ナ集團ヲ集團ト云フ風ニ考ヘタイト思ツタ次第デゴザイマス、其ノ他、共同目的ノ點ニ致シマシテモ、ソレカラ又結合力ノ點ニ致シマシテモ、結社ト稱ス爲ニハ相當ソレガ明確ナ、又形ノハツキリシタモノデナケレバナラス、解釋上モ左様ニ言ハレテ居リマス、又實際ノ取扱ニ於テサウデナケレバ、結社ト認メテ居ラナイノデゴザイマス、其ノ程度ニ至ラナイモノガ非常ニ多ウゴザイマスノデ、集團ノ結成ト云フ新シイ規定ヲ置イテ見タ次第デゴザイマス、要スルニ、今御話ノアリマシタヤウニ、結局或ル程度マデ參リマスト、是ハ其ノ團體ヲ捉ヘテ之ヲ具體的ニ檢討シタ上デナケレバ、結社ニナルカ、或ハ集團ノ程度ニ止マルカト云フコトハ、ハツキリシナイ場合ガアラウカト存ズルノデアリマス、要スルニ其ノ兩者ノ區別ハ最後ニ參リマス、是ハ具體的ノ形ヲ見マシテ、結局客觀的ノ通念ニ依ツテ定メナケレバナラナイ場合ガ多カラウカト存ジマス

○小畑委員 共產運動ノ經過等カラ考ヘマシテ、今御話ノコトハ能ク分ルノデアリマス、併シナガラ之ヲ取扱ヒマスモノハ裁判所デアリマシテ、必ズシモ共產運動ト云

フモノノ方式、實體等ヲ徹底的ニ明カニシタ  
人バカリデハナイト思フノデアリマスカラ、  
解釋上ニ於キマシテモ、又適用上ニ於キマ  
シテモ、色々ノ疑問ガ生ジテ來ルト思フノ  
デアリマス、此ノ點ハ實際ノ運用ニ當リマ  
シテ相當ノ注意ト、ソレカラ解釋及ビ適用  
ノ統一ニ付テ、適當ナル方法ヲ御考ヘニナ  
ル必要ガアルト思フノデアリマス、ソレカ  
ラ第五條ニアリマスル「其ノ目的タル事項  
ヲ宣傳シ」トアリマスガ、此ノ宣傳ト云フコ  
トハ、御答辯ニ依リマスルト不特定多數人  
ニ對シ理解ト共鳴ヲ求ムル爲ニ説明スル行  
爲、斯様ニ伺ツタノデアリマスガ、第七條  
ノ流布ト云フノ、ドウ云フ風ニ違フノデ  
アリマスガ、流布ト云フノハ事實ヲ多數人  
ニ告知スルト云フノデアアルト思フノデアリ  
マスガ、其ノコトヲ先ヅ伺ヒタイト思ヒマ  
ス

○小畑委員 ソコデ刑法ノ總則トノ關係デ  
アリマスガ、煽動ハ教唆ニアラザル場合モ  
アリ、教唆ハ煽動デナイ場合モアル、此ノ兩  
者ハ必ズシモ其ノ範圍同一デナイコトハ分  
ルノデアリマスガ、是ガ共謀致シマシタ場  
合、教唆デモアリ、煽動デモアルト云フ場  
合ニ、教唆ノ方デアリマシタナラバ、實行  
ニ至ラザル時、ソレデ罪ニナラスノデアリ  
マスガ、未遂罪ヲ罰スルト云フ規定ガアリ  
マスカラ、實行ニ着手スレバ罰セラレルコ  
トデアリマセウガ、着手致サナイ場合ハ成  
立シナイ、併シ煽動罪ハ成立スルト云フコ  
トマデハ分ルノデアリマスガ、是ガ實行ノ  
着手程度ニ至リマシタ場合、教唆デモアリ、  
煽動デモアル、斯様ニ解釋セラレル場合ハ、  
ドノ法條ニ依ツテ處置セラレルノデアリマ  
スカ

○太田政府委員 只今ノ御問ヒハ教唆ナリ  
煽動ナリニ基イテ、實行ノアツタ場合デア  
リマスガ、此ノ第五條ノ煽動ノ場合ニ於キ  
マシテハ、事項ノ實行ニ關スル煽動デアリ  
マスカラ、其ノ煽動ニ基イテ其ノ事項ヲ實  
行シタ、其ノ煽動ヲ受ケタ者ガ實行シタ場  
合ニ於キマシテモ、ヤハリ第五條ノ煽動罪  
ガ成立スルノデアリマス、此ノ煽動罪ノ場  
合ニ於テハ相手方ガ實行シタト否トヲ問ハ  
ズ、兎ニ角煽動スレバ成立スルコトニ相成  
ルノデアリマス

○小畑委員 私ハ法律家デナイノデ能ク分  
リマセウガ、刑法ノ總則ニ依リマス、教  
唆犯ハ正犯ガ教唆ノ犯罪ヲ實行致シマシタ  
場合、サウシテ被教唆者ガ實行致シマシタ  
場合ハ、正犯ニ準ジテ取扱ハレルモノノ  
ヤウニ思ツテ居リマスガ、サウ致シマス  
ト云フ煽動致シタ者ト、煽動ニ依ツテ實行致  
シタ者ト較ベルト、實行シタ者ガ重キ處罰  
ヲ受ケナケレバナラス、刑法總則ノ教唆罪  
ニ依リマス、其ノ正犯ニ準ジテ同様ニ取  
扱ハレルト云フコトニナルノデアリマスガ、  
ソレデハ煽動ガ同時ニ教唆デアル場合ニハ、  
刑法總則ノ規定ヨリハ輕ク取扱フト云フコ  
トニナルノデアリマスガ、ソレデ宜シイノ  
デアリマスガ

○太田政府委員 此ノ實行ノ煽動乃至教唆  
ヲ受ケタ者ガ、其ノ教唆ニ依ツテ犯罪ヲ實  
行致シマシテ、サウシテ刑法總則ノ規定ニ  
依ツテ教唆罪ノ成立致シマス場合ニ於テハ、  
其ノ教唆罪モ亦成立致スノデアリマス、隨  
テ重キニ從ツテ處斷スルコトガ出來ルモノ  
ト存ジマス

○太田政府委員 宣傳ノ場合ニハ其ノ事項  
ヲ相手方ニ傳ヘテ、其ノ共鳴ヲ得ルト云フ  
積極的ナ意圖ヲ包藏シテ居ル場合デゴザイ  
マスガ、流布ノ場合ニ於キマシテハ單ニ傳  
播スルト云フ宣傳ニ比較致シマシテ、積極  
的ナ意圖ヲ含ンデ居ラナイ場合デゴザイマ  
ス

○太田政府委員 只今ノ御問ヒハ教唆ナリ  
煽動ナリニ基イテ、實行ノアツタ場合デア  
リマスガ、此ノ第五條ノ煽動ノ場合ニ於キ  
マシテハ、事項ノ實行ニ關スル煽動デアリ  
マスカラ、其ノ煽動ニ基イテ其ノ事項ヲ實  
行シタ、其ノ煽動ヲ受ケタ者ガ實行シタ場  
合ニ於キマシテモ、ヤハリ第五條ノ煽動罪  
ガ成立スルノデアリマス、此ノ煽動罪ノ場  
合ニ於テハ相手方ガ實行シタト否トヲ問ハ  
ズ、兎ニ角煽動スレバ成立スルコトニ相成  
ルノデアリマス

○小畑委員 大體左様デゴザイマス  
○太田政府委員 私有財産制度ヲ否認スル  
リマスガ、此ノ第十條ノ書キ方ニ付テ一寸疑  
問ガアリマス、伺ツテ置キタイノデア  
リマス、第十條ノ犯罪ハ三ツニ區別ヲ致シ  
マシテ、「私有財産制度ヲ否認スルコトヲ  
目的トシテ結社ヲ組織シタル者」ガ一ツ  
ト、ソレカラ「情ヲ知リテ結社ニ加入シタ  
ル者」、ソレカラ「結社ノ目的遂行ノ爲ニス  
ル行爲ヲ爲シタル者」、此ノ三ツニ分カレル  
ノデアアルト思フノデアリマス、即チ第十條  
ノ「私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的ト  
シテ結社ヲ組織シタル者」此處デ切ツテ、ソ  
レカラ「情ヲ知リテ結社ニ加入シタル者若  
ハ結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタ  
ル者」ト此ノ三ツデアアルト思フノデアリマ  
スガ、單ニ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ  
目的ト致シマシテ、宣傳ヲナシタル者ノ處  
罰ハドウ云フコトニナルノデアリマスガ、  
例ヘバ土地奉還論ヲナシ、産業奉還論ヲナ  
ス等、私有財産制度ヲ根本カラ否認スル思  
想ヲ演說會或ハ講演會等ニ於テ宣傳ヲ致シ  
マシタル者ノ處分ハ、此ノ中ニ入ラスヤウニ  
思フノデアリマスガ、如何デアリマスガ

○太田政府委員 結社ニ關係致シマシテ宣  
傳致シマス場合ニ於テハ、目的遂行ノ爲ト  
シテ處罰シ得ルノデゴザイマス、單ニ結社  
ニ關係ナク宣傳ヲ致シマス場合ニ於キマシ  
テハ、改正案ニ於キマシテモ現行法ト同様  
ニ、單純ナル宣傳罪ヲ處罰シテ居リマセウ  
ノデ、處罰出來ナイイカト存ズルノデアリマ  
ス、併シ只今御話ノヤウナ事犯デアリマシ  
テ、ソレガ相當強ク主張サレルヤウナ場合  
ニ於キマシテハ、第十一條ノ實行ヲ煽動シ  
タル者トシテ處罰シ得ルノデゴザイマス、  
大體強ク主張サレル場合ニ於キマシテハ、  
煽動罪ニ該當スル場合ガ多カラウカト存ジ  
マシテ、其ノ程度ヲ以テ大體取締リ得ルカ  
ト存ジマシタノデ、特ニ宣傳ノ規定ヲ置カ  
ナカツタ次第デゴザイマス

○小畑委員 私ハ初メニ此ノ宣傳流布及ビ  
煽動ノ區別ヲ伺ヒマシタノモ、此ノ點デア  
ルノデアリマスガ、煽動ト宣傳トハ、是ハ  
明カニ觀念上ノ區別ガアルト思ヒマス、勿

論同一ノモノデハナイ、煽動デモアリ宣傳デモアルト云フコトハナイ、煽動ノ方ハ積極的デアツテ、是ハ重イノデアツテ、宣傳ト云フノハ實行ヲ教唆シ、實行ノ煽動スルト云フノデハナクデ、唯其ノ思想ヲ不定多數人ニ對シテ説明ヲ致シマシテ、理解ト共鳴トヲ求メントスル行爲ガ宣傳デアルト、斯ウ云フヤウナ當局ノ御解釋ハ、是デ結構ダト思フノデアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ處罰規定ガナイト云フコトハ、私ハ適當デヤナイト思フノデアリマス、例ヘバ先刻申シマシタヤウニ、財産ヲ一切奉還シ、又産業ヲ奉還シテ國民一人ハ一年ニ千圓ツツノ金デ生活ヲシタラ宜シイノデアル、ソレヲ國家カラ支給サレバ宜シイノダ、斯ウ云フヤウナ思想ガ假ニアルト致シマスルト、是ハ明カナル私有財産制度ノ否認ノ思想デアリマシテ、ソレヲ公開ノ席上ニ於テ、自分ハ斯クノ如ク思フ、斯クノ如ク國家ノ根本ト國家ノ組織ヲ變更シナケレバナラスモノデアルト云フ演説ナリ、講演ナリヲ致シマシタ所ノ行爲、是ハ煽動デヤナイトデアリマス、又其ノ目的ヲ以テ結社ヲ組織シテ居ラナイ以上ハ、第十條ニ依ツテ取締ルコトガ出來ナイ、サウ云フ演説、講演ヲ致シマシテ、斯クノ如キ憲法ヲ否認シ、我が國是ヲ否認セントスル所ノ思想ヲ、公開ノ席上ニ於テ宣傳ヲ致シテ歩キマスル者ヲ、處罰スル規定ガナイト云フコトニナリマスト、是ハ立法上ノ大キナ缺陷デハナイカト私ハ思フ、殊ニ今日ノ時局ニ於キマシテハ、遺憾ナガラ輕佻浮躁ノ斯クノ如キ徒ガ出テ來ナイト云フコトノ保證ガ出來ナイト思フ、私ハ治安維持法ノ改正ニ當ツテハ、第一ニ是等ノ行爲ヲ嚴重ニ取締ルト云フコト

ニ、一ツノ重點ヲ置イテ戴キタイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關スル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○太田政府委員 只今申上ゲマシタ通り、此ノ煽動ト宣傳トハ觀念上明確ナ區別ガアルノデゴザイマスガ、併シ實際ノ場合ニ於キマシテハ、(實ニ紙一重ノ場合ガ非常ニ多カラウカト存ズルノデアリマス、只今御話ノ例ノ如キモ、其ノ實行ヲ如何ニシテナスカト云フコトニ付キマシテ、矯激ナル手段ニ訴ヘルベキデアルト云フコトデモ併セテ強調致シマスヤウナ場合ニ於キマシテハ、煽動ニ該當スルコトニナルコトガアリ得ルカト存ズルノデアリマス、尙ホ此ノ現ハレマシタ所ハ單純ナル宣傳デアリマシテモ、其ノ宣傳スルニ至リマシタ事情ヲ調べテ見マスト、一人デサウ云フヤウナコトヲ思付イテヤルヤウナ場合ハ極メテ少イノデアリマシテ、左様ナ宣傳ヲ致シマス其ノ奧ニ、何人カト相談シテ居ルヤウナ事情ガ必ズアルダラウト存ゼラレルノデアリマス、左様ナ相談シテ居ルヤウナ事情デモゴザイマスレバ、實行ニ關スル協議罪トシテ、之ヲ處置シ得ルノデゴザイマス、何レニ致シマシテモ大體此ノ宣傳罪ヲ特ニ規定致シマセズデモ、此ノ規定致シマシタ範圍内ニ於キマシテ、大體處理シ得ルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○小畑委員 宣傳ヲナス者ハ一人デハ大抵ノ場合ハシナイ、何かソコニ「バック」ガアルトカ、或ハ協議ヲシタトカ、結社ニ關係ヲ持ツタトカ云フ場合ガ多イ、斯ウ云フコトデアリマスガ、其ノ通りデアリマス、ソレハ宣傳罪ト云フ犯立ノ犯罪トシテノ處罰ヲ以テ臨マナイデモ宜シイト云フコトニナ

ルノデアリマスガ、ソレハ成程左様ナ宣傳ヲナシマス者ハ、多クノ場合ハ結社ニ關係ヲ持チ、又ハ多數人ガ協議ヲシタト云フヤウナ場合デアアルカモ知レマセ、併シ今日ハマダ思想ノ固マラナイ所ノ青年層、學生層等ニ向ツテ斯ウ云フ矯激ナル、浮薄ナル思想ヲ宣傳スルモノガアルノデアツテ、其ノ宣傳ヲ受ケマシタル若イ者ニ致シマス、本當ニソレガ宜イコトノヤウニ考ヘテ、次カラ次ヘト宣傳ヲ致シテ行ク、斯ウ云フコトガ多イノデアル、即チ本當ノ政治ガ分ラズ、本當ノ經濟ガ分ラズ、本當ノ社會ガ分ラザル者ガ、所謂革新ノ名ニ依ツテ斯ウ云フ思想ヲ宣傳致シマスコトガ多イノデアリマシテ、ソレ等ノ場合ニ於キマシテハ、必ズシモ其ノ者ガ結社ニ關係ヲ有スルト云フコトニハ限ラナイ、又多數人ガ協議ノ上デサウ云フ宣傳ヲスルト云フ場合ニ限ラナイノデアリマシテ、全ク一人デ左様ナ宣傳ヲスル場合ハ、決シテ想像ニ難クナイト私ハ思フノデアリマス、殊ニ一寸程度ヲ越セバ煽動罪ニ依ツテモ取締ガ出來ルト云フコトデアリ、協議罪ニ依ツテモ取締ガ出來ルト云フコトデアリマスケレドモ、宣傳、協議或ハ煽動、此ノ言葉ヲ本法ハ明確ニ區別致シテ居ルノデアリマシテ、第五條ノ如キモ、協議ト煽動ト宣傳ト此ノ三ツノモノヲ明カニハツキリ區別致シテ居ル、其ノ本法ノ三ツノモノヲ明カニ區別致シテ居リマス立法ノ建前カラ致シマシテモ、宣傳行爲ヲ程度ニ依ツテ煽動行爲トシテ取締ルト云フヤウナコトハ、是ハドウカト思フ、ヤハリ煽動ト宣傳ト此ノ法律ガ區別致シテ居リマ

ス以上ハ、煽動ヲシタルモノカ、若クハ宣傳ヲナシタルモノト云フ風ニ、宣傳ト云フモノヲ獨立ニ加ヘラレル必要ガアルノデハナイカ、ソレモ宣傳行爲ハ其ノ程度ニ依ツテハ敢テ處罰スル必要ハナイ、斯ウ云フコトデアリマスナラバ、是ハ根本問題デアリマシテ、別ノコトデゴザイマスケレドモ、苟モ左様ナル宣傳ヲ致シマスコトハ宜シクナイ、此ノ場合ニ於テ十分嚴重ニ取締ラナケレバナラスト云フコトニ付テ、私共ト同ジ考ヘヲ御持チニナツテ居ルト致シマスナラバ、私ハ如何ナル場合デモ細大漏ラサズ、斯ノ如キ宣傳行爲ヲナシタルモノニ對シテハ、取締ガ出來ルト云フ所ノ規定ガナケレバナラスト思フノデアリマス、モウ一回伺ヒマス

○太田政府委員 今回治安維持法ノ改正案ヲ提出致シマシタ根本ノ動機ノ一ツト致シマシテ、過去ノ治安維持法運用ノ實績ニ徴シマシテ、非常ニ動キガ惡イトカ、或ハ思想犯罪ノ鎮壓上遺憾ナ點ガアルトカ云フヤウナ實績ヲ考慮致シマシテ、改正案ヲ考ヘルニ至ツタノデゴザイマス、ソコデ國體變革ニ關スル事項ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノヤウニ非常ニ澤山ノ犯罪モゴザイマシタシ、又現ニ只今御質問ノアリマシタ宣傳ノ點ニ付キマシテモ、其ノ規定ヲ缺カシテ居リマス爲ニ、取締上種種ナル不便、不都合ガアツタノデゴザイマス、ソレデハドウシテモ明確ニシテ、左様ナ行爲ヲ處罰シ得ルヤウニシナケレバナラスト云フコトカラ、規定ヲ置イタノデゴザイマスガ、私有財産制度否認ニ關シマスル犯罪ニ付キマシテハ、會テ生産黨ノ事件一件ヲ、私有財産制度否認ノ犯罪トシテ適用シタダケデゴザイマシテ、其ノ後殆ド私有財産制度否認ニ該當スル犯罪ハナカツタノ

ヲ提出致シマシタ根本ノ動機ノ一ツト致シマシテ、過去ノ治安維持法運用ノ實績ニ徴シマシテ、非常ニ動キガ惡イトカ、或ハ思想犯罪ノ鎮壓上遺憾ナ點ガアルトカ云フヤウナ實績ヲ考慮致シマシテ、改正案ヲ考ヘルニ至ツタノデゴザイマス、ソコデ國體變革ニ關スル事項ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノヤウニ非常ニ澤山ノ犯罪モゴザイマシタシ、又現ニ只今御質問ノアリマシタ宣傳ノ點ニ付キマシテモ、其ノ規定ヲ缺カシテ居リマス爲ニ、取締上種種ナル不便、不都合ガアツタノデゴザイマス、ソレデハドウシテモ明確ニシテ、左様ナ行爲ヲ處罰シ得ルヤウニシナケレバナラスト云フコトカラ、規定ヲ置イタノデゴザイマスガ、私有財産制度否認ニ關シマスル犯罪ニ付キマシテハ、會テ生産黨ノ事件一件ヲ、私有財産制度否認ノ犯罪トシテ適用シタダケデゴザイマシテ、其ノ後殆ド私有財産制度否認ニ該當スル犯罪ハナカツタノ

デゴザイマス、隨ヒマシテ過去ノ實績ニ徴シマシテ、私有財産制度否認ニ關シマスル規定ヲ強化スルト云フヤウナ事實上ノ必要ガ、其ノ方面カラ認メラレマセズ、ソコデ十一條ニ於キマシテモ亦宣傳罪ニ關スル規定ヲ置カナカツ次第デゴザイマス、要スルニ過去ニ於ケル罰則適用ノ實情ヲ考慮致シマシテ、立案シタモノデゴザイマス、左様ナコトデ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小畑委員 過去ニ於テ其ノ實績ガナカツタト云フコトデアリマスガ、私ハ今日ノ社會ノ實際ノ狀態カラ考ヘマスルト、是ガ非常ニ多イト云フコトヲ申上ゲルコトハ遠慮シタイノデアリマスガ、私有財産制度ヲ否認スル思想ヲ宣傳スル者ガ、絶無デアルト云フコトニハドウシテモ考ヘラレナイト思フ、是ハ私ガ詳シク申上ゲマセスデモ、大體御氣付デアラウト思ヒマスカラ、何トカ是等ノモノヲ取締ル所ノ規定ガ欲シイト考ヘタノデアリマスガ、其ノ點ハソレデ宜シウゴザイマス、ソレカラ憲法ヲ否定スルモノハドウ云フ風ニ取扱ハレルノデアリマセウカ、勿論國體ニ關スル條章ヲ否定スルモノハ、前ニアリマシタカラ宜シウゴザイマスガ、其ノ他、例ヘバ立憲政治ヲ否認スル、議會政治ヲ否認スル、斯様ナル思想犯ニ對シテハ、ドウ云フヤウナ御考ヘヲ御持チニナツテ居リマセウカ

○太田政府委員 政體變革ニ關スル思想モ、治安維持法ニ於テ取締ル規定ヲ置イタト云フコトハ、此ノ間カラ御質問ガゴザイマシテ御答ヘ致シタノデゴザイマスガ、此ノ間司法大臣カラモ御答辯ノアリマシタ如ク、立憲政體ヲ否定致シマス思想ハ、之ヲ糾明

致シマス、單ニソレダケニ止マル場合ハ極メテ少イノデアリマシテ、多クハ國體ヲ變革スル目的、或ハ私有財産制度ヲ否認スル目的ノ爲ノ手段トシテ、政體變革ト云フコトガ行ハレル場合ガ多カラウト存ズルノデアリマス、隨ヒマシテソレヲ究明致シマスナラバ、治安維持法ニ觸レルヤウナ實體ガ多クノ場合ニ必ズ出テ來ルモノダト存ゼラレルノデアリマス、ソレノミナラズ、實ハ政體變革ト云フ觀念ガ曖昧ナ觀念ダト云フヤウニ言ハレテ居リマシテ、政體變革ト規定致シマス、單ニ立憲政體ヲ否認スルト云フニ止ラズ、更ニソレヨリモ廣イ觀念ガ入ツテ、言葉ガ曖昧ダカラト云フコトモ世間デ言ハレテ居リマス、左様ナ點ヲ考慮致シマシテ、政體變革ニ關スル規定ヲ置カナカツタ次第デゴザイマス

○小畑委員 此ノ政體ヲ變革シヨウト云フ場合ハ、多クノ場合國體ヲ變革シ、或ハ私有財産制度ヲ否認スルト云フコトニナル場合ガ多イト言ハレマスガ、是モ亦今日ノ實際カラ申シマス、サウ云フ國體トカ或ハ私有財産制度ト云フヤウナコトニ觸レナイデ、社會主義トカ、或ハ共產主義トカ云フヤウナ思想トハ關係ナク、唯議會制度ヲ否認シ、立憲政治ヲ否認シテ獨裁政治ヲ布カウ、斯ウ云フコトニ考ヘル者、此ノ思想ヲ宣傳スル者モ亦絶無デアルトハ考ヘラレナイノデアリマス、苟クモ憲法ノ條章ニ定メラレタル我ガ國ノ立憲政治ノ政體ニ、紛淆ヲ試ミヨウトスルガ如キ者ニ對シテハ、當然相當ノ制裁ヲ設ケナケレバナラスモノト考ヘタカラ伺ツタノデアリマス、ソレカラ政體ト云フコトガ、隨分色々ノ意味ニ使ハレルト云フコトデアリマスガ、私モ實ハソレヲ

思フデアリマス、ケレドモ國體トカ政體ト云フヤウナ言葉ヲ左様ニ色々ノ意味ニ使フコトハ、成ベク避ケナケレバナラスコトデアアルノデアリマス、本當ヲ言ヒマス、私ハ新體制ダトカ新政治體制ト云フヤウナ言葉ガ嫌ヒナノデアリマス、日本ノ政治體制ト云フモノハ、憲法ニ依ツテ定マツテ居ルノデアリマシテ、國務大臣ガ輔弼ノ責任ヲ執リ、御諮詢ノ機關トシテハ樞密院ガリ、裁判所ハ獨立ヲシテ、帝國議會ガアツテ、サウシテ帝國議會ニハ兩院ガアリ、其一ハ國民ノ公選ヲ以テ成ル所ノ議員ヲ以テ組織スル、是ガ即チ日本ノ政體デアアルノデアリマシテ、日本ノ憲法ニ定マツタ所ノ政治體制ニ新ノ字ヲ加ヘテ之ヲ革新スル、斯ウ云フコトハ即チ憲法上ノ我ガ國ノ政治體制ニ紛淆ヲ試ムルト云フコトデゴザイマシテ、私ハ新政治體制ト云フ言葉ガ出テ來タ時カラ、非常ニ嫌ヒナノデアリマス、恐ラクハ新政治體制ヲ主張サレタ人達ハ我ガ國ノ立憲政治、我ガ國ノ憲法政治體制ト云フモノヲ、否認シヨウト云フ思想カラ出テ來タコトデアリコトハ勿論明瞭デアリマス、併シ言葉ノ上カラ申シマス、今御説ノ如ク、政治體制トカ或ハ政體トカ云フ言葉ハ、色々ナ意味ニ用ヒラレテ居ル、唯國體ト政體トヲ區別スル、此ノ觀念カラバカリデナクテ、色々ノ意味カラ用ヒラレテ居ルカラ、政體ヲ變更シヨウト云フモノニ對スル制裁規定ヲ設クルコトガ困難デアアル、斯様ニ申サレルコトハ私モ能ク分ルノデアリマスガ、併シ苟モ憲法ハ欽定憲法デアツテ、サウシテ憲法改正ノ手續ハハツキリ定メラレテ居ルノデアリマスカラ、吾々國民ガ之ニ對シテ是非ノ論ヲナスコト云フガ如キコト

ハ、何カノ法規ニ依ツテ取締マラレテ然ルベキモノデアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ是デ宜シウゴザイマス、ソレカラ今度ハ條文ノコトニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、國防保安法ノ第十六條ノ第二項ニ依リマシテ、國防保安法ノ刑事手續ニ關スル規定ハ、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル治安維持法ノ罪ニ適用セラレルコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ本法ノ刑事手續ノ規定ハ、其ノ全部ガ國防保安法案ニ定メラレタ刑事手續ト殆下同様デアリマス、ソコデ本法案ガ成立致シマスナラバ、國防保安法ニ依ツテ特ニ外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル治安維持法ノ罪デナクテモ、此ノ目的ガナクテモ一切ノ治安維持法ノ罪ニ對シテ同様ノ刑事手續ガ行ハレルト云フコトニナルノデアリマシテ、是ガ通過ヲ致シマシタナラバ、國防保安法ノ同一ノ規定、第十六條ノ第二項ハ蛇足ト云フカ要ラナイモノニナル、隨テ是ハ紛淆ヲ來スモノデアルト思フノデアリマスガ、左様ニ解釋シテ間違ヒナイノデアリマスガ

○秋山政府委員 御話ノ通り國防保安法ノ十六條第二項ニ、治安維持法ト云フモノガ入ツテ居リマス、此ノ治安維持法ノ改正案ガ通過致シマスレバ、ソレガ重複ニナリハシナイコト云フ御意見デアリマスガ、國防保安法ニ治安維持法ヲ入レテアリマスノハ、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テト云フコトヲ主眼ト致シテ居ルノデアリマス、國防保安法案ニ規定シテアル外國トノ通謀ト云フ點ニ重キヲ置イテ、其ノ分ダケハ國防保安法ノ方ニ取入レヨウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○小畑委員 大臣が御見エニナリマシタカラ、私ハ今一言ダケ申上ゲテ置イテ中止致シマスガ、國防保安法ハ今御話ノ通り、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル治安維持法ノ罪ニ付テダケ刑事手續ヲ適用スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルコトハ分ツテ居リマス、併シ本法ニ依リマス、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テ犯シタル罪ニ限ラズ、總テ治安維持法ノ犯罪ハ全部國防保安法ニ規定シテアルノト殆ド同様ノ刑事手續ニ依ツテ、處置サレルコトニナルデアリマスカラ、國防保安法ダケヲ成立サセヨウトナサルナラバ、今御話ノ如キコトデ能ク分ツテ居リマスガ、併シ本法ガ成立シタナラバ、治安維持法デ特ニ外國ト通謀シ云々ノ場合ダケヲ此ノ刑事手續ニ依ルト定メラレタコトハ、是ハ無意味ニナル、其ノ目的アルノミナラズ、目的ノ有無ニ限ラズ總テ治安維持法ノ罪ハ、此ノ刑事手續ニ依ツテ取扱ハレルデアリマスカラ、國防保安法ノ刑事手續ト云フモノハ、治安維持法ノ罪ニ適用シヨウト云フ所ノ規定ハ、本法ノ成立ニ依ツテ其ノ意義ヲ失フモノデアルト解釋シテ宜シウゴザイマスカ、其ノ他ニ理由ガアルカラ伺ツテ居ルデアリマス

○小畑委員 ソレデハ此ノ點ニ付キマシテ私ハモウ少シ質問ガアリマスケレドモ、大臣が御見エニナリマシタカラ、大臣ニ對スル御質問ノアル方ニ譲リマシテ、後ニ此ノ問題ヲ一寸解決サシテ貰ヒタイト思ヒマス

○服部委員長 宜シウゴザイマス、内務大臣ノ御出席ガアリマシタカラ、此ノ際猪野毛君ノ質問ヲ許シマス

度デ如何デスカ

○猪野毛委員 宜シウゴザイマス、色々ノ情勢カラ考ヘテ、先ヅ治安維持法ノ結末ヲ付ケル前ニハ、近衛總理大臣ノ出席ハムツカシイト常識上考ヘラレルノデス、所ガ此ノ法案ハ何ト申シマシテモ、事國體ノ變革ニ關スルヤウナ重大法案デアアル、而シテ近衛總理大臣ノ過去ノ國民ニ與ヘタル所ノ常識ガ、頗ル疑問ニ打ラレテ居ルモノガアツタノデアリマスカラ、私ハ近衛總理大臣ノ御出席ヲ願ツテ、昔ノ首相ニ思想ヲ説キ聽カシタ所ノ河上博士トノ關係ハ、其ノ後ノ心境ノ變化ハ、ドウ、轉向ノ工合ハドウ、斯フ云フ點マデモ詳シク聽カナクテハ相成ラスト思ヒマス、下ニ法律ヲ作ツタ所デ、之ヲ立案制定スル所ノ政府其ノモノガ國民ニ信用ガナクテハ、空文トシカ國民ハ思ハナイ、百ノ法律ヲ作ツテモ國民ガ信ジテ之ヲ實踐遵奉シナケレバ、何ニモナラヌト思フノデス、ケレドモ、近衛公ガ御病氣デ御缺席トアレバ已ムヲ得マセスカラ、ソレデ國務大臣ノ連帶責任ノ意味ニ於キマシテ、閣員ノ長老デアラレル内務大臣カラ、此ノ點ニ付テ出來得ル限りノ御答辯ヲ戴クコトガ穩カデアラウト考ヘル、内務大臣ニ伺ヒマスガ、大體此ノ議會モ、議會ト政府ト間ハ何等ノ對立ナク、紛淆ナク、一瀉千里ニ行ツタノデアリマスカラ、大政翼賛會ノ問題ニ付テ一ツノ對立ト云フモノガ出來マシテ、今尙ホ、滯留致シテ居ル、是ハ議員ノ方ガ惡イノデアルカ、大政翼賛會ノ方ニ無理ガアルノデアルカ、是ハ内務大臣ガ閣員ト云フ頭ノミナラズ、モウ一ツ超越シタ國家全體ノ上カラ之ヲ見ラレテ、ドウ云フ風ナ御觀察力、公平ニ一ツ打割ツタ御意見ヲ伺ヒタイ

ノデアリマス

○平沼國務大臣 一寸御質問ノ趣意ヲ誤解シテ居ルカ、或ハ了解ガ出來ナイノカ存ジマセスガ、先ヅ私ガ此處デ御答ヘテ致シマスルノハ、勿論國務大臣トシテ御答ヘテ致スノデアリマスカラ、個人トシテノ意見ヲ述ベルノデハゴザイマセヌ、只今御質問ノ趣意ハ、政府ニシツカリシタ信念ナシニ斯ウ云フ法律ヲ出シタ所ガ、國民ガ政府ヲ信頼シナイカラ、斯ウ云フ法律ハ其ノ通りニ行ハレナイデアラウ、斯ウ云フ御趣意ニ伺ヒマシタガ、サウデアリマスカ

○猪野毛委員 サウデアリマセヌ、私ノ申シマシタノハ、之ヲ出ス所ノ政府ノ責任者ガ國民ニ信賴ガナケレバ、國民ガ法律ヲ信用シナイ、法律ト云フモノニハ成程國民ハ服從シマセウ、ケレドモ之ヲ出シタ所ノ政府ノ首腦部ガドウダスウダト云フヤウナコトデハ、心カラ信ジテ法ヲ遵奉スル氣持ニナラヌ、是デハ法ノ功果ノ完璧ヲ期スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ意味デス、ケレドモ此ノ點ニ付テハ總理大臣ノ事柄ニ關シテデアリマスカラ、内務大臣ガ深く立入ラレルコトハ或ハ少シ御無理カモ知レマセスケレドモ、國民ニ此ノ信賴ヲサセルコトガ必要デアアル、幾多澤山ノ法律ヲ拵ヘテモ、國民ガ信用シナケレバ駄目デアリマス、今日ノ政治ハ何處ニ缺陷ガアルカト云フト、政府ニ信用ガナイノデス、蔣介石ハ一度モ内閣ガ迭ラスノニ、日本ノ内閣ハ四度モ五度モ迭ツテ居ル、是ハドウ云フ譯ダト云フコトヲ國民ガヤハリ疑フ譯デス、之ヲ奏請シタ責任ハ何處ニアル、總理大臣ハ戰爭ヲ起シタ責任ハ私ニアルト言フ、陸海軍大臣ハイヤ軍部ニアル、斯ウ言ハレル、山崎達之輔君ハ國民ニアルト

言ハレル、謙讓ノ美德ヲ以テ己ニ責任ガアルト云ツテ居ルコトハ結構デアルケレドモ、皆ガサウ云フコトヲ言ヒ合ウタ所ガ、其ノ責任ヲドウスルカト云フコトニナツテ來ルト、具體的ノ問題トシテ國民ヲシテ此ノ政府及議會ヲ信頼サセテハナラナイノデアアルガ、ソレ故ニ先ヅ近衛總理大臣ノ問題ニ付キマシテハ、内務大臣カラ御感想ヲ伺フコトハ一寸ムツカシイラシイカラ、是ハ私ハ前提トシテ申上ゲタノデアリマスカラ伺ハナクテモ宜シイ、ソコデ此ノ大政翼賛會ノ問題

デス、大政翼賛會ノ問題ニ限ツテ政府ト議會トノ間ニ、今日ハ何カ議事ノ進行ガ圓滑ニ行カズ、荏苒日ヲ費シテ議事ノ滯滞ヲ來シテ居ル、是ハ議會ノ方ガ惡イノデアアルカ、政府ノ方ニ缺陷ガアルノデアアルカ、一體ドウ御考ヘニナラレルカ、閣員トシテノ御答辯ヲ國家の大乗觀カラ一ツ伺ツテ見タイト思フノデアリマス、是ハ内務大臣ガ政界ノ長老デアアルト云フ點ニ信頼ヲシテ申上ゲルコトデアリマス

○平沼國務大臣 只今ノ御尋ネノ點ハ、今日大政翼賛會ノ問題ノ爲ニ議事ガ停滯シテ居ル、是ハ一體議會ガ惡イノカ政府ガ惡イノカト云フヤウナ御趣意ニ伺ヒマシタ、私ハドチラガ良イトカ惡イトカ云フコトデハナイト思フ、議會ノ方デモ疑ヒノアル點ヲ政府ニ御質シニナル、政府モ亦政府ノ信ズル所ヲ以テ是マデ御答ヘヲシテ居ルノデアアル、是ハオ互ヒニ疑問ノアル點ヲ述べ、之ニ對シテ疑問ヲ解ク爲ニ御答ヘヲスル、其ノ爲ニ物ガ早ク運バヌト云フコトモアルカモ知レナイガ、是ハ已ムヲ得ヌコトデ、オ互ヒニ疑問ノアル所ハ質シテ進マナケレバナラヌノデアアルカラ、私ハ今御尋ネノ、

政府ガ惡イノカ、議會ガ惡イノカト云フヤウナコトハナイト思フ、議事ノ進捗ガ其ノ爲ニ多少害セラレルト云フコトハ、是ハゴザイマセウ、併シ是ハ當然ノ結果デアツテドチラガ良イトカ惡イトカ、云フ論デハナイ、要スルニ劈頭ニ申シマシタ通り、疑ヒノアル點ヲ一方ハ質シ、一方ハ之ヲ解ク爲ニ答辯ヲスルト云フノデアリマスカラ、此ノ爲ニ遲レルノハ已ムヲ得マセヌ

○猪野毛委員 大變遷カナ御答辯デ、立憲政治ハ正ニ其ノ通りデナクテハナラヌ、ケレドモ國民カラ見レバ、一體ドウシテスラスト今マデ來タノニ、此ノ問題ニ限ツテスラノ行カヌノカ、茲ニ國民ハ一ツノ疑念ヲ持ツ、サウスレバ大政翼賛會ノ内容ヲ色々ト考ヘルノデアリマス、内容ヲ考ヘルト、大政翼賛ナドト云フ所ノ文字ハ實ニ僭越ノ文字デハナイカ、斯ウ云フ文字ヲ編ミ出スニ付テハ、即チ其ノ心構ヘノ中ニ、幕府の考ヘガアルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲヤハリ國民ハ考ヘル、又上意下達ト云フコトヲ言ヒマシテモ、濫リニ上意ト云フヤウナコトヲ大政翼賛會ノ如キモノガ使フコトハ、ドウデアアルカ、昔ノ幕府の言葉ノヤウナ感じガスル、又是ガ政府ト表裏一體デアアルト云フヤウナコトモ憲法上ノ疑義ガアルト、色々皆ガ心配ヲシテ居ル、又總理大臣初メ官吏ガ此ノ會ニ關係シテ居ツテ、サウシテ色々ノコトヲ行フ時ニハ、詰リ官吏服務紀律ト云フモノニ一ツノ紛淆ヲ來シハセヌカト云フ心配モアル、又其ノ大政翼賛會ノ構成幹部ノ中ニハ、思想的ニ國民ノ全然信頼ノナイ者ガ入ツテ居ル、其ノ宣傳部員ノ中カラハ既ニ反國體のノ刑事被告人ヲ出シテ居ル、斯ウ云フ狀態ニナツテ居ル

ノデアリマス、デアリマスカラ、是ハ餘程政府ニ於テハ反省セネバヌナラコトト思フノデアリマス、ソレデ私ハ伺ヒタイコトハ、今日日本ノ國內ノ一部ニハ立憲政體、憲法政治ノ力ヲ弱ハラセテ、此ノ機能ヲ發揮スルコトヲ弱クサセテ、直接之ガ破壊トカ何トカ云フヤウナコトハ法ニ觸レルカラヤリマセヌガ、翼賛會ニ、ヨリ以上ノ力ノモノヲ國ノ權力デ作ツテ、事實ニ於テ憲法政治ヲ破壊シヨウト云フコトヲ考ヘテ居ル者ノアルコトハ、國民ガ認メテ居ル、政府ガソナモノハ無イト言ツタ所デ是ハ強辯デス、現ニソレハ幾多ノ事件ナドニ於テモ發見サレテ居ル、サウスルトソレハ丁度此處ニ提燈ガアルガ、此ノ提燈ノ火ハ消サズトモ、百燭光ノ電燈ヲ點ケルコトニ依ツテ、此ノ提燈ノ光ガ有名無實ニナルノト同ジコトニナル、明治天皇様ハ日本ノ立憲政治ト云フモノハ議會政治ヲ健全ニ發達セシメテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ、御勅語マデ出サレテ示サレテ居ル、然ルニ今日大政翼賛會ト云フモノガ生レタ、而モ是ガ憲法違反ノ疑ヒガアリ、其ノ組織ハ或ハ「ナチ」トカ或ハ「ロシヤ」ノ「ボリシェヴィキ」ノ組織ヲ執ツテ居ルト云フ點デ、效果ハ非常ニ激シカラウケレドモ、其ノ惡結果ヲ皆ガ非常ニ恐レテ居ル、故ニ政府ノ方ニ於テハ、大政翼賛會ハ政府ガ力ヲ入レテ生レシメタモノデアアルガ爲ニ、是ハ日本ノ憲法政治、議會政治ニ斷ジテ影響ヲ來サシメナイモノデアルト云フ御確信ガアリマセウカ、又此ノ弊害ヲ起サシメヌ爲ニ、ドウ云フ御心構ヘガオアリニナルカト云フコトヲ承ツデ置キタイノデアリマス

○平沼國務大臣 只今ノ御尋ネハ現今、大政翼賛會ヲ以テ一ツノ幕府ヲ作ツテ、是デ日本ノ政治ヲ行ツテ行カウ、斯ウ云フ思想ガアル、或ハ「ドイツ」ノ「ナチ」或ハ「イタリア」ノ「ファッショ」ノヤウナ團體ニシテ、一口ニ言ヘバ一種ノ幕府政治ヲアラウト云フ考ヘガ一部ニアルヤウデアアル、隨テ現今ノ我が國ノ立憲制度ヲ廢メル、斯ウ云フ考ヘガアルヤウダト云フ御尋ネデアリマシタ、或ハ一部ニハサウ云フ考ヘノ人ガアルカモ存ジマセヌ、併シナガラ我が國ニ於キマシテ所謂幕府ノ存在ハ許サヌ、中世武家ガ政權ヲ專ラニシタト云フコトハ、明治ノ維新ニ依ツテ完全ニ閉ザサレテ居ル、我が國ノ天皇御統治ノ下ニ萬民ガ輔翼ノ精神ヲ盡クスト云フ我が國以來ノ此ノ精神ト云フモノハ、決シテ是ハ破壊サルベキモノデハアリマセヌ、若シ大政翼賛會ガ斯ノ如キ傾向ヲ持ツト云フコトデアレバ、無論是ハ正サケレバナラヌ、私ハ現今一部ニドウ云フ考ヘノ人ガアルカ知リマセヌガ、大政翼賛會ヲシテ、サウ云フ考ヘデ進ンデ行クト云フコトハ、是ハ毛頭ナイト考ヘテ居リマス、若シ萬一、大政翼賛會ニ限ラズ、斯ノ如キ不逞ナル思想ヲ以テ行動スル者ガアリマスレバ、政府ハ儼乎トシテ之ヲ取締リマス、サウ云フ思想ノ存在ハ許シマセヌ、政府ニ其ノ力ガナイデヤナイカ、或ハ電燈ガ出來ルト提燈ハ光ヲ失フノデヤナイカト云フ風ナ御話ガゴザイマシタ、政府ハ決シテサウ云フ弱イモノデハゴザイマセヌ、必ズヤ斯クノ如キ不逞ノ思想ニ對シマシテハ、力強ク之ニ彈壓ヲ加ヘテ參リマス云フコトハ、是ハモウ疑ヒノ餘地ヲ存シナイト考ヘテ居リマス

○世耕委員 一寸關聯シテ……大政翼賛會

ガ組織サレテ後、世間ニ新體制ト云フ問題  
ガヤカマシク叫バレテ、殊ニ總理大臣ガ昨  
年七月二十三日ニ「ラヂオ」放送ニ依ツテ新  
體制ノ問題ヲ取扱ツタノガ更ニ世間ニ擴大  
シテ、其ノ爲ニ日本ノ經濟界或ハ政治界其  
ノ他ノ方面ニ非常ナ「ショック」ヲ與ヘテ、  
現ニ吾々ガ調査致シマシタ所ニ依リマシテ  
モ、其ノ新體制ノ全貌不明ナル爲ニ株界ノ  
如キハ半恐慌ヲ來シテ、短期新東ガ百圓二  
十錢マデ一躍下落シタヤウナ狀態ヲ呈シテ  
居ルノデアリマスガ、今日ニ至ツテモ尙ホ  
新體制ト云フ意味ガハツキリサレテ居ナイ  
ヤウデアリマス、所謂政治新體制、經濟新  
體制デ、履キ違ヘタ人ハ今ニ小作人ハ只デ  
土地ヲ貰ヘルノダ、勞働者ハ俺ハ直チニ資  
本家トシテ今後行ケルノダト云フヤウナコ  
トスラ流布サレテ、經濟界ハ不安ノ狀態デ、  
經濟界不安、產業界不安ノ爲ニ、折角政府  
ガ獎勵セントスル増産計畫スラ支障ヲ來ス  
ト云フ今日ノ現狀デアリマス、之ニ伴ツテ  
自然思想界モ非常ニ混亂致シテ居リマスガ、  
此ノ際私ハ内務大臣ヲ通ジテ此ノ新體制ノ  
意味ヲ明確ニシテ戴クコトガ必要デヤナイ  
カト思フノデスガ、御意見ガアレバ承ツテ  
置キタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 要スルニマア合理化ト云  
フコトニナルデアリマセウ

○猪野毛委員 内務大臣ガ其ノ御考ヘヲ持  
ツテオイデニナルコトハ洵ニ穩カデアリマ  
シテ、結構ナコトと思ツテ居リマスガ、グ  
ンゲン伸ビテ行ク所ノ新體制ノ狀況、又大  
政翼贊會ノ勢ヒト云フモノハ、内務大臣ノ  
今仰シヤルヤウナ風ニハ實際ノ所ハ中々行  
ツテ居ナイノデス、之ヲ私ハ憂ヘルノデス、  
斯ウ云フモノヲ生マレサセナケレバ、斯ウ  
云フ危險ナ道行ガナイ然ルニ斯ウ云フモノ  
ヲ生マレサセタガ爲ニ、却テ斯ウ云フ間違  
ヒガ起ル、斯ウ云フ點ニ私ハ心配ガアルノ  
デス、併シ茲マデ來タモノヲ全然ナクスル  
ト云フ譯ニモイカスダラウケレドモ、是ニ  
ハ先ヅ強キ政治性ト云フヤウナモノハアテ  
ガハヌ方ガ、紛淆ヲ來サスノデハナイカト思  
ツテ申シタノデアリマス、ケレドモヤハリ内  
務大藏ハ先般之ニ高度ノ政治性ヲアテガフ  
ベキダト云フ風ナ御話デアツタ、是ハ私ハ  
非常ナ間違ヒデハナイカト思フノデス、斯  
ウ云フ性質ノモノニ高度ノ政治性ヲアテガ  
ヘバ、必ズ立憲政治ト對立スル所ノ一ツノ  
幕府的存在ニナリ易イノデス、政府ト表裏  
一體トナツタ所ノ團體デ、此ノ團體ノ豫算ヲ  
見マスルト、議會ハ僅カ四五百萬圓ノ金デ  
アルニ拘ラズ、一方ハ八百萬圓ト云フヤウ  
ナ金ヲ要求シテ居ル、或ハ獸ツテ居ツタナ  
ラバ、一億圓以上取ル所ノ考ヘデナカツタデ  
セウカ、所ガ段々輿論ノ聲モ反省ヲシテ一  
億圓カラ六千萬圓、ソレカラ三千万圓、一  
千万圓トナリ遂ニ八百萬圓ニマデ反省シテ  
來タノデス、ソレデモマダ議會ノ豫算ニ比ベ  
ルト、倍位ニナツテ居ルノデス、サウシテ  
或ル縣ニ於テハ何萬圓ト云フ地方費ノ補助

ヲ之ニアテガツテアルモノモアリマス  
サウシテ此ノ協力會議ノ如キモノヲ開イ  
テ、議會ト同一ノヤウナコトデヤツテ居  
ル、又其ノ協力會議ノ議長ノ末次サンノ演  
說ヲ此ノ間一寸見マシタ所ガ、隨分大難把  
ナコトヲ申シテ居リマス、詰リ總ベテ憲法  
第一條デ萬事ハ盡キル、アトハ超法的觀念  
デ行動シテ宜シイト斯ウ云フ大難把ナコト  
ヲ仰シヤツテ居ル、是ハ地方協力會議ノ議  
長ニナツテ宣傳ヲサレルモノデアリマスガ  
ラ、皆ガ地方ヘ行ツテ憲法第一條サヘ守レ  
バ宜イ、アトハ超法的觀念デ行動シテ宜イ  
ト云フヤウニナツテ行ケバ、恐ラク危險ナ  
コトニナツテ來ルノデス、末次サンノ思想  
ハ堅實ナモノデアルコトハハ吾々信ジテ  
居ルケレドモ、地方人ガ誤解ヲスルノデス、  
アトハ脫線ヲシテ何ヲヤラカスカ分ラスト  
云フ杞憂ガアルノモ、是ハ當然ナコトダト  
思フノデス、ソレデアルカラ私ハ斯ウ云フ  
コトヲ申上ゲルノデス、ノミナラズ此ノ問  
題ニ付テハ陸軍ガ大變——今日ハ此ノ席ニ  
陸軍ノ方ガオイデニナラヌカ知リマセスガ  
大變御熱心ノヤウデアリマス、陸軍ガ則ヲ  
越エタ尻押シヲシテ居ルト云フコトニデモ  
ナルト、尙更面白クナイ、陸軍ハ陸軍専門  
ノ方ヲヤツテ居ラナクテハナラヌ、外ニ力  
ガ分散スルト陸軍ノ力ガ弱リハセヌカ、戰  
争ニ支障ヲ來シハセヌカト云フコトヲ國民  
ハ心配シテ居ルケレドモ、過日軍務局長モ  
議會局長ノ前田サンニ、早く此ノ問題ガ何  
トカ云々ト云フ御話ガアツタト云フヤウナ  
風デ、之ヲ國民ガ非常ニ心配ヲシテ居ル、  
アレヤ、是ヤヲ考ヘテ、結局翼贊會ガ議會  
ヨリ強イ所ノ幕府的存在ニナラヌカト云フ  
コトヲ考ヘル、此ノ時代ニ幕府的存在ヲ發

生サセ、内務大臣ハサウ云フ堅實ナ考ヘデ  
居ラレテモ、世ノ中ノ情勢ト云フカ、力ト  
云フカ、止ムニ止マレヌ勢ヒヲ以テ其處ニ  
押掛ケテ行ツタ時ニハ、取返ヘシノ付カヌ  
コトニナルデアリマス、之ヲ私ハ非常ニ  
憂ヘルノデアリマスガ、兎ニ角内務大臣ノ  
御考ヘハ非常ニ穩健デアリマスカラ、其ノ  
理念ダケハ私ハ分リマシタ、ソコデ時間モ  
アリマセヌカラ、序デニ伺ツテ置キマスガ、  
昨日ノ委員會ニ於キマシテ、司法大臣ハ  
天皇機關説ハ國體ノ本義ニ反スル、斯ウ云  
フコトヲ明言サレタノデアリマス、是ハ何  
年間モ愚圖々々シテ居ツタ日本ノ學界ニ取  
ツテ、又行政司法ニ對シテ、一ツノ劃然タ  
ル意見ヲ立テラレタト云フコトハ、實ニ私  
ハ有難イ結構ナコトデアルト思ツテ居リマ  
ス、是ニ於キマシテ全國ニ幾多ノ天皇機  
關説ノ書物、之ニ類似シタ書物が今尙ホ跋  
扞致シテ居ル、警保局ノ方ニ於テハ是ガ全  
部ヲ取締ツテ居ナイノデアリマスガ、ドウ  
デス、此ノ機會ニ之ヲ全部ハツキリ取締ラ  
レルカドウカ、今マデ大學ノ教授ノ著書ニ  
付テハ、取締上至ツテ緩漫ナルモノガアツ  
タノデアリマス、ノミナラズ天皇機關説ト  
云フヤウナ抽象的ト云フ位ノモノデハナイ、  
ハツキリ 明治天皇様ニ專制者ト云フヤウ  
ナ言葉ヲ使ウテ居ル、現ニ「スターリン」ト  
竝ベテ例ヲ取ツタヤウナ、何ト申シマセウ  
カ、大不敬ナ著書ガアル、ソレカラ尊氏ヤ  
義時ノ如キ 天皇ノ軍ニ叛キ又ハ 天皇ヲ  
島流シニシ奉ツタ斯ウ云フヤウナ者ヲ英雄  
ダト云フヤウニ褒メタテスル書物、斯  
ウ云フモノガ市中ニ跋扞致シテ居ツテ、一  
向之ニ取締ヲシナイ、ヤカマシク言  
フト漸ク本屋ヲ呼ンデ其ノ改訂ヲ命ズル

程度ノモノデアル、之ニ斷乎タル發賣禁止ガ出來ナイノデアリマス、斯ウ云フダラシノナイ處置デアルカラ、ドウシテモ學者ガ調子付イテ高ヲ、ククツテ、少シモ反省シヨウトシナイ、隨テドシ、天皇機關説及ビ類似ノ不敬書物ガ出テ來ル、斯ウ云フ書物ニ發賣禁止ヲヤラヌカラ、是ハアトデ文部大臣ニ伺ヒマスガ、大學ノ先生ハ好イ氣ニナツテ、大學デ斯ウ云フ不逞ナ講義ヲヤツテ、サウシテ帝國大學カラ赤ノ學生ガ次カラ次ト出テ來テ、何十人ト云フモノガ縛ラレテシマフト云フヤウナ、昨今ノ如キ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、内務大臣モ勿論此ノ 天皇機關説ハ國體ノ本義ニ反スルト云フコトニ付テハ、司法大臣ト同一ノ御意見デアリマセウト存ジマスガ、是モ序デニ承ツテ置キタイノデアリマス

○平沼國務大臣 天皇機關説ハ國體ニ反スルコトハ、是ハ勿論デアリマシテ、議論ノ餘地ハナイト思ヒマス、ソレカラ又國體ニ反スルガ如キ思想ヲ表明シタ文書ハ、十分ニ是ハ取締リ方針デ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○服部委員長 一寸申上ゲマスガ、成ベク簡單ニ御願ヒ致シマス

○猪野毛委員 分リマシタ——此處ニ澤山ノ資料ガアリマスガ、是ハ警保當局ト一ツ相談ヲ致シマスガ、斯ウ云フ機會ニ從來取締ニ躊躇ヲ致シテ居ツタ所ノ惡書、毒書ト云フモノヲ、警保局長ハ一大勇氣ヲ以テ取締ツテ戴キタイト思フノデアリマス、小サイ所ノ演説會デチョツトシタコトデ辯士注意トカ中止トカ云フコトヲヤツテモ、功果ハ薄イ、著書ニナツテ大學ノ先生ガ書イタモノハ、見ル者ニ取ツテハ此ノ方ガ權威ガア

ルノデス、ソレダカラハ斷乎タル著書ノ取締ヲヤラナクテハナラヌケレドモ、今迄ハ一向ヤラヌノデアリマス、況ヤ 天皇様ニ對スル不敬ナ著書ナドニ付テハ——著者ニ陸軍ガ尻押シトカ何トカ云フヤウナ振舞ヒガアツタコトモ去年私ハ聞イテ居ツタ、ソレデアツタカ、ナカツタカ、議會デ聽イタ時ニ内務大臣モ、司法大臣モ、總理大臣モ、斯ウ云フ著書ニ付テハ斷乎取締ルト云フコトヲ私ニ明言サレタケレドモ、其ノ後ヤラナイ、ナゼヤラヌスカト云フト、其ノ尻ニ陸軍ガ付イテ居ルト云フヤウナ巷説ガ傳ハツタ、付イテ居ルカ、付イテ居ラスカ、是ハサウ言ツタ者ガ法螺ヲ吹イタノカモ知レヌケレドモ、是ハ陸軍當局ニ聽カナクテハ分リマセヌガ、誰ガ付イテ居ラウト彼ガ付イテ居ラウト、現實ニ斯ウ云フ著書ガ市中ニ跋扈シテ居ル時ニハ、一步モ假借ノ餘地ハナイ、國體ヲ擁護スルニ付テハ顧ミル餘地ハナイ、ソレヲ影響スル所ガ非常ニ大キイトカ恐ロシイトカ言ツテ、之ヲ等閑ニシテ置クモノデアリマスカラ、國體ニ紛淆ヲ來タス所ノ觀念ガ生ジテ來ル、ソレカラ今日不逞ナル人間ガ出來タコトニ付テハ、文部當局モ責任ガアルガ、私ハ歷代ノ内務當局モ是ハ非常ナル責任ガアルト思フ、又司法當局モサウデス、此ノ著書ニ付テハ昨年告發狀ガ出テ居ル筈デス、ドウデス、是ハアトアヤフヤニシテ不起訴トカ起訴猶豫トカニシテシマツタトモ聞イタ、是ハ今日尙ホ一部ノ者ハ非常ニ心配ヲ致シテ居ル、之ヲ著ハシタ所ノ人如何ニ依ツテ取締リニ三ニスルト云フヤウナコトニナツテハ、法ノ權威ト云フモノハナイ、嘗テ暴力革命ヲ企テタ筋書狀者デアルトカ、或事件ノ發案者

等ト考ヘラレタカドウカ知ラナイガ、ドンナコワイ人柄デアラウト、サウ云フコトヲ考ヘル必要ハナイ、國法ヲ亂ス問題ニ付テハ少シモ顧ミル餘地ハナイ、最モ驚ラニ行カナクチャナラヌト思フ、況ヤ總理大臣ニ付テハ、先刻申シマシタ通り、國民ニ相當ノ不安ガアル、京都大學在學時分ヨリノコトカラ、新體制ト言ツテ「ナチス」ヤ「ロシヤ」邊ノ體制ヲ入レテ、サウ言ハレテカラ方々ノ空氣ガ非常ニ惡クナツタト云フヤウナコトヲ綜合シテ、國民ハ之ヲ非常ニ心配シテ居ル、斯ウ云フ矢先デアリマスカラ、餘程内務當局、司法當局ハ、斷乎トシテ形ノ上ニ證據ヲ現ハサナクテハイカス、今度ノ内閣ノ改造、司法、内務ノ改造ト云フコトニ依ツテ、思想的ニ國民ノ信用ト云フモノヲ恢復致シマシタケレドモ、是ガ證據ノ上ニ現ハレナケレバ一二ノ大臣ヲ、取替ヘタト云フダケデハ、國民ハ根本的ノ安心ハ出來ナイ、信用アル人間ニ替ヘタカラはダケノコトヲヤツタト云フコトガ證據ノ上ニ現ハレナケレバ、人間ハ替ヘタガ此ノ人間ハ何モヤラナカツタ、唯觀念的ナ、概念的ナコトダケヲ言ツテ、サウシテ圓ク平和ニ事ヲ納メテ行ツタト云フダケデハ、國民ハ非常ナル失望ニ陷ルノデアリマス、齒ノ拔ケタ「ライオン」ヤウニ國民ハ閣員ヲ見ルヤウニナル、飽ク迄效キ目ノアル所ニ國家ノ政治ト云フモノハ行カナクテハナラヌト思フ、警保局長モヨク聞イテ置イテ下サイ、而シテ能ク實踐シテ戴キタイト思フ、シツコイヤウデアルケレドモ、日本ノ政治ノ亂レル基、萬惡ノ基ハ、此ノ國體ニ關スル處置、議論ヲ等閑ニシテ置イタ所ニアルト居フ、以前、日本ノ重臣ナドノ中ニモ 天皇機關説ヲ持

ツテ居ル人ガアツテ、之ニ遠慮ヲシテ時ノ總理大臣ナドデモ、ハツキリシタ答辯ガ出來ナカツタコトガアツタ、閣員トシテハツキリシタ答辯ヲサレタノハ、昨日柳川司法大臣ガ初メテデス、岡田總理大臣ナドニモ、此ノ言明ヲ致サセヨウト思ツテ、吾々ハ苦心ヲシテ、貴族院デモ、衆議院デモ、裏カラモ表カラモ手ヲ替ヘ品ヲ替ヘ質問致シタガ、一向之ヲヤリ切ラナカツタ、ヤリ切ラナカツタガ爲ニ世ノ中ガ紛淆ヲ來シタ、若ニ頭ヲ打突ケテ亂ガ起キテ初メテ悟ルヤウナコトデハ是ハ困ル、豫メ斯ウ云フコトガ起ラヌヤウニ心得ナケレバナラス、幸ヒニシテ内務大臣モ司法大臣モ機關説ノ邪說タルコトノハツキリシタ明言ガアツタ以上ニ於テハ、之ヲ實踐ノ上ニ現ハシテ戴イテ而シテ文部大臣ノ強キ信念ヲ持ツテ、全國ノ各學校、教授ニ下命シ、此處カラ此ノ邪說ヲ一掃シテ治安維持法ハ單ニ國家ノ寶刀ヲラシメ、法ハアルケレドモ之ニ問ハル者ハ一人モナイト云フコトニシナケレバ、世界無比ノ尊嚴ナル眞ノ國體ト云フ譯ニハ行カヌト云フコトニ常識化スル迄ニセネバナラス、年々歳々斯ウ云フ不都合ナ者ヲ出シテ、況ヤ國費ヲ以テ養ウタ所ノ大學生カラ、大學ノ教授カラ、斯ウ云フ不都合ナ者ヲ出スト云フコトニ付テハ、非常ナ日本ノ國辱デアリマス、ケレドモ今ノ官吏中ニハ己レ共ガ大學ニ於テ天皇機關説ノ憲法ト「マルクス」ノ經濟學トヲ聽イテ、頭ガ稍、赤クナツテ居ルモノデアリマスカラ、吾々ノ說ヲヒドク感じナイ連中ヲ見受ラレマス、度々吾々法制局ノ官吏、内務省ノ官吏等ニモ斯ウ云フコトヲ申上ゲタケレドモ、サウ云フコトヲ言ツテ騒グト、却テ世ノ中ニ宜

等ト考ヘラレタカドウカ知ラナイガ、ドンナコワイ人柄デアラウト、サウ云フコトヲ考ヘル必要ハナイ、國法ヲ亂ス問題ニ付テハ少シモ顧ミル餘地ハナイ、最モ驚ラニ行カナクチャナラヌト思フ、況ヤ總理大臣ニ付テハ、先刻申シマシタ通り、國民ニ相當ノ不安ガアル、京都大學在學時分ヨリノコトカラ、新體制ト言ツテ「ナチス」ヤ「ロシヤ」邊ノ體制ヲ入レテ、サウ言ハレテカラ方々ノ空氣ガ非常ニ惡クナツタト云フヤウナコトヲ綜合シテ、國民ハ之ヲ非常ニ心配シテ居ル、斯ウ云フ矢先デアリマスカラ、餘程内務當局、司法當局ハ、斷乎トシテ形ノ上ニ證據ヲ現ハサナクテハイカス、今度ノ内閣ノ改造、司法、内務ノ改造ト云フコトニ依ツテ、思想的ニ國民ノ信用ト云フモノヲ恢復致シマシタケレドモ、是ガ證據ノ上ニ現ハレナケレバ一二ノ大臣ヲ、取替ヘタト云フダケデハ、國民ハ根本的ノ安心ハ出來ナイ、信用アル人間ニ替ヘタカラはダケノコトヲヤツタト云フコトガ證據ノ上ニ現ハレナケレバ、人間ハ替ヘタガ此ノ人間ハ何モヤラナカツタ、唯觀念的ナ、概念的ナコトダケヲ言ツテ、サウシテ圓ク平和ニ事ヲ納メテ行ツタト云フダケデハ、國民ハ非常ナル失望ニ陷ルノデアリマス、齒ノ拔ケタ「ライオン」ヤウニ國民ハ閣員ヲ見ルヤウニナル、飽ク迄效キ目ノアル所ニ國家ノ政治ト云フモノハ行カナクテハナラヌト思フ、警保局長モヨク聞イテ置イテ下サイ、而シテ能ク實踐シテ戴キタイト思フ、シツコイヤウデアルケレドモ、日本ノ政治ノ亂レル基、萬惡ノ基ハ、此ノ國體ニ關スル處置、議論ヲ等閑ニシテ置イタ所ニアルト居フ、以前、日本ノ重臣ナドノ中ニモ 天皇機關説ヲ持

シクナイカラ黙ツテ置イテ呉レ、コナラダヤルダケノコトハヤルカラ、斯ウ言ウテ居ル、默ツテ居タ日ニハ少シモヤリハセヌ、熱心ニ言ウテ衝ケバコソ漸ク言フ、神兵隊ノ事件ニシテモサウデス、アノ何年掛リノ事件ニ付テ被告ガ命ヲ懸ケテ天皇機關説ガ國體ノ本義ニ悖ルカ悖ラスカ明言シテ呉レト裁判官ニ迫ツタ、中々裁判官モアレヤ是ヤ言ウテ言明ヲ與ヘナカツタ、ソレダカラ長引イタノデスヨ、ソレガ最後ニ明答ヲ與ヘタカラ、スラ／＼ト事件ハ進ンデ、如何ナル嚴罰デモ國法ナラ受ケヨウ、斯ウ云フコトニナツタ、斯ウ云フ微妙ナコトニ今日國民ハナツテ居ル、故ニ爲政者ノ責ト云フモノハ餘程重大ナルモノガアルト吾々ハ確信ヲ致スノデアリマスカラ、吾々ハ成程此ノ法案ノ通過ヲ希望致シテ居リマスガ、此ノ法案ノ通過ニ當ツテハ、ドウカ爲政者ニ於テモ此ノ心構ヲ一ツ持ツテ戴キタイ、又近衛總理大臣ガ御出席ナケレバ、内務大臣ナリ其ノ他ノ閣員カラ能ク此ノ委員會ノ意ノアル所ヲ總理大臣ニ傳ヘテ戴キタイ、ソレハ、アナタガ京都帝大ノ學生生活カラ河上サンノオ弟子デアツタ、其ノ洗禮ヲ受ケタト云フコトニ付テ深ク國民ハ心配ヲ持ツテ居ル、未ダ保衛者デヤナイカト云フコトヲ心配致シテ居ル、是ハ餘リ上品デナイ言葉デアルケレドモ、コマデ言ウテ能ク突止メテ戴キタイと思フノデアリマス、コマデ言ハナケレバ中々高ヲ括ツテシマツテ、曲學阿世ノ徒、御用取巻キノ連中ガ採ミ手ヲシテ、總理閣下總理閣下ト言ツテ媚態ヲ呈シテ行クト云フ時代デス、權力ノアル者實業家皆斯ウ云フ時勢デアリマスカラ、餘程總理大臣ノ周圍ニ居ル者ハシツカリシタ

コトヲ言ウテ、此ノ若イ總理大臣ヲ助ケテ、之ヲ導カナケレバ、總理ヲシテ誤ラシメルト云フコトニナルノデス、一個ノ總理ガ誤マルコトハ大シタコトデハナイガ、近衛公ノ過チハ即チ國ヲ誤ルト云フコトニナルノデアリマスカラ、吾々ハ心配ヲ致スノデアリマス、甚ダ長クナリマシテ且ツ政府ノ御氣ニ召サナイ内容カモ知レマセヌガ、斯ウ云フコトヲ申上ゲルノモ詰リ國ノ前途ヲ憂ヘルカラデアリ、今日ノ日本ノ思想狀態ハ、容易ナラヌモノニナツテ居ルト云フコトヲ能ク吾々ハ分ツテ居ルカラデアリマス、ケレドモ權力ノ地位ニ在ル者ハ、此ノ恐シイ場面ニ日本ガ今直面シテ居ルコトガ分ラナイ、非常ニ氣ノ毒ナコトデス、サウシテ愈、岩ニ頭ヲブツツケタ時ニ、ヒドイコトニナツタト言ツテ最早後悔シテモ取返シガ付カナイノデス、二六事件ノ起ル前ニ私ハ幾度ナク岡田總理大臣及其ノ周圍ノ人々ニ危險ナク状態ニナツテ居ルコトヲ御忠告申上ゲタ、ダカラ早く一ツ此ノ大事ナコトヲ改メテ下サイト言ツタケレドモ、何分ニモ周圍ニ居ル所ノ御用學者ヤ曲學阿世ノ徒ヤラ、オ世辭ヲ言フ者ガ一パイ居ツテ、高ヲ括ツテ、アレハアア云フコトヲ言フケレドモ何大シタコトハナイト持上ゲテ、樂觀的報告バカリシテ居ツタカラ、到頭アア云フ結果ニナツテシマツテ、日本ノ政治史ノ上ニ悲シムベキ現象ガ出來タト云フコトニナツタ、決シテアレハヒト事デハナイノデアリマス、餘程是ハ私ハ他山ノ石以テ玉ヲ磨クベキモノガアルト、近衛内閣ニ對シテ深く申上ゲテ置キタイ、再ビ斯様ナ不祥事ヲ斷ジテ起サセスト云フコトノ伏セ石ヲ、シツカリ敷イテ置カナケレバナラヌと思フ

ノデアリマス、之ヲ以テ私ノ内務大臣及ビ内務當局ヘノ質問ヲ終リマス、之ニ對シテ政府ノ方デ何カ私ノ今ノ言ニ對シテ御意見ガアルナラバ、承ツテ置キタイと思ヒマス

○橋本政府委員 國體ノ本義ニ反スルガ如キ出版物、言論ヲ取締リマスルコトハ、警察當然ノ職能デアリマス、私共ハ此ノ警察當然ノ職責ヲ遂行スルコトニ付キマシテハ確平タル信念ト自信トヲ以テ當ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○大山政府委員 今御話ノ中ニ、其ノ取締ニ關シテ陸軍ガ尻押シヲシテ居ルト云フヤウナ御言葉ガアツタと思ヒマスガ、サウデアリマス

○猪野委員長 此ノ取締ヲナゼ儼ニヤラナイカ、處分ヲシナイカ、斯ウ云フ時ニ、アノ處分ハ陸軍ガ尻押シヲシテ居ルカラ司法省、内務省モヤレナイノダ、斯ウ云フコトヲ、自己ヲ擁護スル爲デアリマセウガ盛シニ流布スルノカモ知レマセヌガ、サウ云フ説ガ一パイニ擴ツタノデス、況ヤ斯ウ云フコトマデ言ヒ觸ラシタ、是ハ司法當局ニ能ク聽イテ貰ハナケレバナラヌ、是ハ「アメリカ」カラ石油ヲ二百「トン」持ツテ來ル仕事ヲヤツテ居ルノデスカラ、之ニ影響ガ來ル、斯ウ云フ大キナ國策ヲ今ヤツテ居ルノダカラ、ソナコトヲシテ貰ウテハ大變ダト云フヤウナコトヲ流布シタ者ガアルノデス、石油モ欲シイケレドモ、ソレト國體トカ皇室ノ尊嚴ト云フヤウナコトハ、別ニヤラナケレバイカスト思フ、陸軍ヲ笠ニ着ルヤウナ者ハ、一ツ嚴重ニ調ベテ貰ハナケレバイカヌ、何デモ陸軍サヘ笠ニ着レバ烏ノ頭デモ白イト云フヤウナコトガ通ルト彼等ハ思ウテ居ルノデスガ、世ノ中ハサウ云フ譯ノモノデ

ハナイ、何千万人ノ者ガチヤント眞面目ナ眼ヲ以テ視テ居ル時デアリマスカラ、斯ウ云フ譯デス

○大山政府委員 天皇機關説ノ言論ナリ著書ナリノ取締ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、陸軍ハ深く考ヘテ居ルコトデアリマス、隨テソレ等ノ取締ニ妨ゲニナルベキ尻押シヲシテ居ルト云フガ如キコトハ、斷ジデアリマセヌ、是ハ明カニ言明シテ置キマス、又今御話ニナリマシタ陸軍ヲ笠ニ着ルト云フヤウナコトガアルサウデアリマスガ、或ハ時節柄陸軍ヲ笠ニ着ルヤウナコトヲ言フ人ガアルカモ知レマセヌ、其ノ點ハ洵ニ陸軍トシテハ迷惑至極デアリマス、今後注意スベキコトダト思ヒマス

○服部委員長 猪野毛君宜シウゴザイマスカ——ソレデハ午前ハ此ノ程度デ休憩ヲ致シマス、午後一時ヨリ再開致シマス

午後零時二十分休憩

午後一時二十七分開議

○服部委員長 午前ニ引續キ開會致シマス——三田村君

○三田村委員 私ハ最初ニ總論トシテ御尋ネシタイ二、三ノ點ガ殘ツテ居ツタノデ、陸軍大臣、内務大臣御同席ノ上デ御尋ネスル積リデアリマシタガ、寧ロ其ノ當面ノ責任者タル兵務局長カラ率直ナ御決心ヲ伺ツタ方ガ、却テ吾々ノ態度ヲ決メル上ニ有效デアリ、正シクハナイカト思ヒマスノデ、兵務局長ニ御尋ネ致シタイと思ヒマス、第一ニ、私ハ戰時體制ノ確立、即チ國防國家體制建設ノ見地カラ、思想戰ト思想國防ニ付テ軍ノ御決心ヲ御伺ヒシタイと思ヒマス、言フマデモナク、所謂思想戰ハ近代戰ノ尖

兵トモ稱セラレモノデアリマシテ、戰爭目的遂行上非常ニ大キナ役割ヲ果シテ居ルノデアリマス、其ノ見地カラ今回提案ニナツタ治安維持法ノ改正モ見ナケレバト思ヒマス、而シテ其ノ思想ニハ大體二ツノ面ガアリマシテ、其ノ一ツノ面ハ、言フマデモナク對外思想デアリマス、其ノ對外思想戰ノ形態ハ、敵性國家乃至ハ敵性國家民衆ニ對スル思想謀略デアリマス、今次「ヨーロッパ」戰爭激發以來、世界注目ノ的ニナリマシタ「ドイツ」ノ所謂第五列、サウ云ツタモノガ近代戰ニ於ケル最モ尖兵ノ役割ヲナスノデアリマス、此ノ對外思想戰ノ思想謀略ノ遂行ニ當ツテハ、吾々軍部ニ大キナ期待ヲ掛ケテ居リマス、又其ノ特ムアルヲ確信致シテ居リマス、併シ此ノ近代戰ノ花形トモ稱セラルル思想戰ノ全面的效力ヲ確保スル爲ニハ、軍部ダケデ全キヲ期シ得ルモノデハナイト存ジマス、其ノ意味ハ、吾々支那事變發生以來、五箇年ノ足跡ヲ眺メテ見テ能ク分ル、屢、ヨク言ハレル言葉デアリマスガ、事變五箇年ノ足跡ヲ顧ミタ時、赫々タル武勳ニ付テハ何人モ之ヲ認メナイ者ハアリマセヌ、支那四百餘州ニ其ノ武威ヲ輝カシ、更ニ全東亞、進ンデハ全世界ニ武威ヲ輝カシテ居リマスガ、政府自身ノ口カラ御説明ニナツテ居リマス如ク、事變ノ目的ハ達成サレナイ、ソコニ總力戰體制ノ完成サレテ居ナイ點ガアルト思ツテ居リマス、即チ嚴肅ニ過去ノ例ヲ見タル時、其ノ思想戰ノ方面ニ於テモ、更ニ總力戰ノ重要ナル部門デアアル經濟戰ニ於テモ、外交戰ニ於テモ、更ニハ其ノ總括的聖戰ニ於テモ、大イニ缺クル所ガアツタト云フコトヲ、吾々ハ知ラナケレバナラヌノデアリマス、思

想戰ノ部面ヲ捉ヘテ見テモ、事變勃發當時「アメリカ」トカ、歐米諸國ニ態、派遣シマシタ國民使節ノ如キハ、何等ノ思想戰ノ役割ヲ果シテ居リマセヌ、殊ニ其ノ外交ノ方面ニ於テハ、是ハ近衛內閣出現ノ其ノ瞬間マデ、歐米依存ノ外交ヲヤツテ來テ居ルコトハ明カデアアル、サウ云フコトデハ思想戰ハ到底全キヲ期シ得ラレルモノデハアリマセヌ、是ガ對外思想戰ノ重要ナル部面デアアルコトハ言フマデモアリマセヌガ、他ノ一面ハ思想國防ノ完成デアリマス、是ハ對內的ノ問題デアリマス、ソコデ私達ハ思想國防ノ要件ト云フモノヲ、茲デ考ヘテ見ル必要ガアルト思ヒマス、其ノ第一ノ條件ハ先ヅ愛國心ノ昂揚デアリマス、思想國防ヲ完成スル爲ニ絕對必要ナルモノハ愛國心ノ昂揚デアリマス、全國民ガ君國ノ爲ニ生命モ財產モ捧ゲテ悔イナキ決心ヲ持ツコト、全國民ガ其ノ決心ヲ持テバ、先般來屢、問題ニナリマス治安維持法ノ如キ、或ハ國防保安法ノ如キ、是ハ決シテ要ラスモノデアリマス、此ノ生命モ財產モ君國ノ爲ニ捧ゲテ悔イナイト云フ愛國心ヲ全國民ニ持タシメルコトガ、思想國防ノ第一要件デアアルコトハ言フマデモアリマセヌ、而シテ第二ノ條件ハ所謂國家目的ノ確認デアリマス、此ノ愛國心ノ昂揚、其ノ全國民ノ結合ト云フモノハ、ソコニ明確ナル國家目的ト云フモノガ示サレナケレバナリマセヌ、戰時ニ於ケル國家目的ハ更ニ重要デアリマス、之ヲ明確ニ示スコトニ依ツテ、全國民ハ奮起スル、裸ニナルコトモ敢テ辭セナイノデアリマス、即チ國家ノ進路ト國民ノ歸趨ヲ明カニスル、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、國論ノ統一デス、國論ノ統一ナキ所ニ決シテ全國民ノ

精神力ノ結合ハアリマセヌ、是ガ第二ノ條件デアリマス、第三ノ條件ハ國民思想ノ統一デアリマス、是ハ國論統一ノ結果トシテ生レテ來ル結論デアリマス、愛國心ニ依ツテ結合シタ健全ナル國民思想、國家目的ノ確認ト、國論ノ統一ニ依ル全國民ノ精神的總動員體制ガ確立サレテ、初メテ思想國防ハ完成サレルノデアリマス、此ノ思想國防ノ完成サレタ時、私ハ初メテ第三國ノ思想謀略モ、乃至ハ第五列モ働キ掛ケル餘地ガ全クナクナルデアラウト確信スルノデアリマス、此ノ前提ノ下ニ先ヅ陸軍御當局ノ御決意ヲ最初ニ伺ツテ置キタイト思ヒマスノハ、此ノ見地カラ思想國防ノ完璧ヲ期スル爲ニハ、第一ニ國論ヲ統一スルコト、全國民ガ國家目的ヲ確認シナケレバナラス、其ノ全國民ガ國家目的ヲ確認スル爲ニハ、國家ノ進路ト全國民ノ進ムベキ途ヲ明確ニスルコト、率直ニ知ラシメルコト、即チ日本何ヲナスベキカ、日本國民何ヲナスベキカニ付テ確固不動ノ信念ヲ持ツコトガ、絕對ニ必要デアリマス、是ガ思想國防ノ根本問題デアルト信ジテ疑ハナイモノデアリマス、繰返シテ申シマスガ、國論ヲ統一スルコト云フコト、其ノ統一國論ニ對シテ國民ガ絕對的信賴ヲ持ツコト、日本ハ何ヲスルノダ、國民ハ何ヲスルノダト云フ點ニ對スル明確ナル指標ヲ與ヘルト云フコトガ、思想國防ノ絕對ノ要件デアアルト思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル御所見ヲ先ヅ伺ツテ置キタイノデアリマス

○田中政府委員 三田村サンノ御意見ハ尤モデアリマス、日本國家トシテハ、所謂高度國防國家體制ナルモノヲ整ヘル爲ニハ、其ノ根本ハ思想ノ確立、思想ノ統一デアリマス、是ナクシテハ何事モ出來ナイノデアリマス、今日物トカ何トカ色々申シマスケレドモ、私ハ結局歸スル所ハ人ダト思フノデアリマス、私共ノ觀點カラ見マス、近頃日本ニ物ガ足ラナイトカ不自由ダトカ言ヒマスガ、未ダ會テ物資不足ヲ來シタ爲ニ、ソレガ直接原因ニナツテ減ビタ國ハアリマセヌ、皆人間ノ墮落デ減ビタ國ガ多イ、「ローマ」ヲ滅シタモノハ「ローマ」人ナリ、外敵ニ依ツテ滅ビルヨリモ、民族其ノモノノ墮落ト云フコトガ、何時モ滅亡ノ原因ニナツテ居ル、眞ニ世界ニ冠絶セル國防國家體制ヲ整ヘル爲ニハ、言ヒ換ヘレバ如何ナル國ガ來デモ、世界全部ガ敵ニナツテ掛ツテ來テモ、大丈夫ダト云フダケノ國家體制ヲ整ヘル爲ニハ、今申サレマシタ國論ノ統一、言ヒ換ヘレバ國民思想ノ統一ト云フコトガ、其ノ基調ヲナスモノデアルト確信スルノデアリマス、ソコデ其ノ見地ニ於テ現在ノ國內體制ヲ見マスルト、イツカモ國防保安ノ委員會デモ申シマシタヤウニ、日本ニハ所謂非日本のモノガ多數存在シテ居リマス、其ノ第一ガ共產主義デアリマス、共產主義ト云フモノハ、學問的ニ論ズレバ色々理窟ハアリマセウガ、結局は如何カト申シマス「ユダヤ」人間ニ起ツタ共產主義ニ依ツテ成立シタ「ソ」聯邦ガ、吾々ノ見地カラ見ルト、モツト此ノ共產主義ヲ宣傳スルコトニ依ツテ、其ノ他ノ國家ヲ滅ボサウト云フ一ツノ謀略ダト私ハ見テ居ルノデアリマス、隨テ日本國內ニ共產主義ガアルト云フコトハ「ロシア」ノ諜報網、宣傳網、謀略網ガ布カレテ居ルコトヲ意味スルノデアリマス隨ヒマシテ是ハ所謂國防國家體制ヲ整フル爲ニハ、先ヅ第一ニ根絶スベキモノデアアル、斯

クスルコトニ依ツテ其々國家ノ共產主義ノ宣傳、日本ヲ滅ボス所ノ他國ノ所謂其々國家ノ謀略ヲ封殺シ得ルノデアリマス、モウ一ツ考ヘナケレバナラスコトハ、吾々ハ明治以來非常ニ慣レツコニナツテ居リマス、先刻申シマシタ民主主義カラ生ズル所ノ個人主義、是ハ私、思想ハ分リマセスガ、要スルニ「デモクラシー」國家ハ非常ニ個人主義、自由主義デアリマス、是ガ明治以來輸入サレテ居リマス、勿論憲法ニハ法律ノ定ムル範圍内ニ於キマシテ、個人ノ自由ハ許サレテ居リマスガ、ソレヲ超越シタ行動ガナイトハ言ヘナイノデアリマス、憲法ニ定メラレタル自由ノ範圍ヲ超越致シマシテ、サウシテ極度ニ個人ノ自由ヲ主張シテ、國家ノ結束力ヲ弛緩サセルト云フ結果ニナリツツアルコトハ、私ガ説明スルマデモナク、皆サン御承知ノコトト確信致シマス、是等二ツノ思想ハ是非トモ日本國內カラ根絶シタイト思フノデアリマス、サウシテ非日本のモノヲ一切清掃シタイト思フノデアリマス、同時ニ然ラバ「イタリア」ノ「ファッシ」、「ドイツ」ノ「ナチス」ヲ、日本ニ持ツテ來タラドウカト申シマス、是亦同ジデアリマシテ、其ノ儘持ツテ來ルコトハ宜シクナイノデアリマス、「ナチス」ト云ヒ「ファッシ」ト云ヒ、共產主義ト云ヒ、自由主義ト云ヒ、非日本のナモノハ悉ク國內カラ根絶スルコトガ、日本國家ノ思想ヲ統一スル上ニ必要デアルト私ハ信ジテ居リマス、然ラバ「イデオロギー」モ何モナイデハナイカト云フコトニナルガ、日本ニハ「イデオロギー」ハ要ラスト思フ、兎角學徒ガナス所ノ「イデオロギー」ト云フモノハ、日本國家ニハ要ラナイ、私ハ日本國家ニハ「イ

デオロギー」以上ノモノガアルト確信スルノデアリマス、ソレハ何カト言ヘバ、近頃一般國民ガ少シク忘レテ居ルヤウニ思ヒマズガ、明治天皇ガ御煥發ニナリマシタ教育勅語デアリマス、アノ通りニヤレバ是ハモウ萬國無敵デアリマス、之ヲ忘レテ、徒ラニ末梢ノ議論バカリシテ居ル、觀念論バカリ多イノアルガ、アノ教育勅語ヲ我が國民ガアノ通り實踐スルナラバ一番強イモノニナル、隨ヒマシテ、國防保安法ガ通過致シ、治安維持法ノ改正案ガ通過致シマシタナラバ、全力ヲ盡シマシテ非日本のナモノヲ去ル、良イ所ハ勿論採リマスガ、決シテ偏狹ナ考ヘデハアリマセス、曾テ日本ハ儒教ヲ咀嚼シタ、儒教ト云フモノハ、是非非常ニ危險ナ思想デアリマス、禪讓放伐ト申シマシテ、其ノ根柢ヲ成スモノ非常ナ危險思想デアリマスガ、アレ斯拉日本ニ於テハ咀嚼シタ國デアリマス、總テノ思想ノ良イ所ハ勿論採リマセウガ、併シ國體ニ合ハナイモノハ全然排斥スル、斯ウ云フノデアリマス、非日本のナモノヲ去ルト云フノハ、日本ノ爲ニナラスモノハ悉ク去ルト云フ意味デアリマス、例ヘバ神風連ノヤウナ、電信柱ノ下ヲ汚ラハシイト言ツテ、扇ヲ頭ノ上ニ戴カセテ行クト云フヤウナ、ソナナ偏狹ナ考ヘデハナイノデアリマス、日本ノ爲ニナラスモノヲ一切去ルト云フ意味デアリマス、諸テ之ヲヤルトシマシテドウナルカト申シマス、是ハ二ツニナリマス、國內ヲ清掃スル、ソレダケデハ駄目デアリマス、ソレハ防禦デアリマス、同時ニ攻撃ヲヤラナケレバナラス、是ハ飽クマデ私ハ日本獨特ノ道義ニ依ツテ進マナケレバナラスト思フ、之ヲ皇道ト言ヒマスガ、又或ル人ハハ

絃一字ト申シマス、明治以來宣戰ノ詔勅ニアリマス如ク、東洋ノ平和ト云フコトヲ國是トシテ來タノデアリマス、是ハ現在ニ於キマシテハ東亞共榮圈ノ確立ト云フ言葉ニ變ツテ居リマス、之ヲヤリマス爲ニハ、國內ヲ綺麗ニスルト同時ニ、ドウシテモ日本ノ皇道ト云フモノヲ扶植シテ行ク、是ハ思想的ニハヤハリ攻撃デアリマス、是ハ是非トモヤラナケレバナラス、防禦スルダケデハ駄目デアリマス、攻撃ヲシナケレバナラス、是ハ攻撃ト申シマシテモ中々容易ナコトデハアリマセス、恰モ其々國家ガ自分ノ國ノ主義ヲ他國ニ宣傳スル爲ニ手段ヲ選バザル如ク、吾々モ皇道宣布ノ爲ニハ有ユル手段ヲ講ジナケレバナラス、熾烈ナル攻撃ヲヤラナケレバナラスト思ヒマス、ヤル爲ニハヤハリ人ナノデアリマシテ、人ノ要素ガ一番大事デアリマス、事、軍ニ關シマス限リハ、所謂思想戰上ニ於ケル防諜ノ一切ノ機構、及ビ軍ノ力、竝ニ之ニ並行スル所ノ攻撃ニ付キマシテハ、隨分訓練モシ、陣容モ整ツテ居リマス、併シナガラ眞ニ今申シマシタ國內ノ清掃ト、外國ニ向ツテハ猛烈ナル攻撃ヲヤル爲ニハ、軍ダケデハ駄目ナノデアリマス、例ヘバ一例ヲ舉ゲマス、國內ニ一ツノ外國ノ諜報網ガアツテ電信網ガアルトスル、是ハ軍ノ力ダケデハヤレルモノデハナイ、是ハ明瞭ニ遞信省ト提携シテヤツテ行カケレバ出來ナイ、又外國ガ日本デ非常ニ危險ナ金ヲ、國內ヲ覆ヘス爲ニ宣傳其ノ他ニ使フ、之ヲ斷ツ國內手段ヲヤル爲ニハ、ドウシテモ大藏省ト一體トナツテヤラナケレバ出來ナイノデアリマス、又他國ニ今申シマシタ所謂皇道ニ依ル攻撃戰ヲ展開ショウト致シマシテモ、勿論軍ノ

主體ハ武力デアリマスガ、併シ武力以外ニ文化モアリ、經濟モアリ、色々ナモノガアル、武力ト並行シテ經濟ノ進出モヤラナケレバナラス、文化ノ進出モヤラナケレバナラス、之ヲヤル爲ニハ、文部省モ一體トナリ、又内務省、外務省、大藏省モ一體トナツテヤラナケレバ出來ナイノデアリマシテ、結局吾々軍ト致シマシテハ、非常ナ熱意ヲ持ツテ、所謂國內ノ思想ノ統一ト、對外的ニハ皇道ノ宣布ト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、併シ此ノ目的達成ノ爲ニハ、ドウシテモ國內ガ眞ニ打ツテ一丸トナツテ、同じ目的ニ向ツテ進ムコトガ必要デアルト思ヒマス、國家目的ト仰セラレマスガ、國家目的ハ分ツテ居ル、意識スルトセザルトニ拘ラズ、確カニ分ツテ居ル、但シ是ハ今マデノ宣傳ノ仕方ガ足りナカツタ、何デモ彼デモ皆自由主義ダト決メタノデ、非常ニ廣範ニ互ツテ、ハツキリセスカモ知レマセスガ、國防保安法デモ通過致シマスナラバ、大事ナコトハ決シテ知ラシメナイ、國家機密ハ洩ラサナイ、ソレ以外ハ自由ニナルト共ニ、重大ナルコトハ國民ニ向ツテ知ラシメルコトガ出來ルト思ヒマス、隨ヒマシテ今後ニ於キマシテハ國內ニハ案外明朗ナ宣傳ガ行ハレルト思フノデアリマス、國防保安法トカ、或ハ官民一致ノ協力ト云フ方法デ、是非トモ今三田村サンノ言ハレマシタ國家目的ノ確認、思想ノ統一、又對外ニ對スル思想攻撃ヲヤラナケレバナラス、唯線返シテ申シテ置キマスガ、防諜ニ關スル限り、軍ノ機構ハ想像以上ニ整備サレテ居ル、對思想戰ノ準備ハ既ニ完了シテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシテ、私ノ答辯ヲ終リタイト思ヒマス

○服部委員長 三田村君、一寸御諒解ヲ得  
タイト思ヒマス、只今文部大臣が御出席ニ  
ナリマシタガ、他ノ委員會ノ關係上、御退  
場ニナル場合ガアルカト思ヒマスカラ、此  
ノ際文部大臣ニ直接質問ノアル方ノ質問ヲ  
繰上ゲテ致シタイト思ヒマス、御諒承願ヒ  
マス——猪野毛君

○猪野毛委員 文部大臣ニ伺ヒタイト思ヒ  
マスガ、帝國大學ノ教授ノ中ニアル特殊ノ  
人ノ思想、隨テ此ノ教授ノ講義ガ原因デ、  
不逞ナル思想ノ學生ガ出タト云フコトハ、  
是ハ世間著名ノ事實ニナツテ居ル、古イコ  
トハ諸デ措キマシテ、昨年度ニ於キマシテ  
モ、慥カ帝國大學カラ此ノ不逞思想ノ學生  
ヲ澤山出シタ筈デアリマスルガ、之ニ對シ  
テ大學ノ總長トカ、又其ノ方ノ部長ナリ、  
責任者ノ進退ガ見ナイヤウデアアル、ソレ等  
ノ人々ガ詰リ責任ヲ執ルノ意ヲ文部當局ニ  
呈シマシタカ、未ダナサナイカ、其ノ點ヲ  
伺ヒタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 昨年アリマシタ赤化學生  
ノ檢舉問題ハ、當局ノ調ガマダ完成致シテ  
居リマセヌ、當局ノ調ガ一應完成致シマシ  
タ曉ニハ、ソレハソレヲ根據ニ致シマシ  
テ、取糺スベキハ取糺シ、責任ノ所在ヲ明  
カニシタイト文部省デハ考ヘテ居リマス、  
暫ク其ノ點ハ今中間的ナ狀況デアリマス  
○猪野毛委員 從來ヲ見マス、幾多不都  
合ナル教授、學生ヲ出シテモ、誰モ責任者  
ト云フモノハ出サナカッタ、總長トカ又上  
ニ行ケバ、文部大臣ノ如キ者モ無論ハ責任  
ヲ執ラナクテハナラヌト思フ、國家カラ斯ウ  
云フ多額ノ費用——多分大學生ハ大方一人  
ニ付キ年二千數百圓ノ費用ヲ國家カラ補助  
ヲ受ケル計算ニナリマセウガ、斯ウシテ大

學生、大學生ト云ウテ學生ノ模範トナラナ  
クテハナラヌ、又社會ニ出テカラデモ總テ  
官吏ニナツタリ、其ノ他ノ社會ノ指導者ニ  
當ルベキ其ノ人々ガ、此ノ恐ルベキ治安維  
持法ニ引掛ツタリ、其ノ他ノ不逞ナル思想  
ヲ持ツテ國ノ治安ヲ紊スト云フコトニナル  
コトハ、是ハ容易ナラヌコトデアアルノニ、  
之ヲマルキリ餘所ノ出來事ノ如ク考ヘテ一  
人ノ責任ヲ執ツタ者モナイ、斯ウ云フヤウ  
ナ次第デアリマシタガ、只今ノ文部大臣ノ  
御言明ニ依リマシテ、此ノ全貌ガ明カニ  
ツタ上ハ、ソレハ責任ノ所在ヲ明カニス  
ルト云フ御言葉デ、洵ニ私ハ結構ナルコト  
ト存ズルノデアリマス、更ニ文部大臣ニ伺  
ヒタイト思ヒマスルガ、此ノ最モ模範タル  
ベキ健全ナル思想ノ持主ヲ輩出セネバナ  
ヌ所ノ大學カラ、斯ウ云フ思ムベキ、恐ル  
ベキ不逞思想ガ特ニ大學カラ澤山出ルノハ  
茲ニ何カノ原因ガナクテハナラヌト思フガ  
是ハ何故デアルト文部大臣ハ御考ヘニナラ  
レマスカ

○橋田國務大臣 極メテ抽象的、一般的デ  
アラウカト思ヒマスルケレドモ、此ノ根本  
ノ原因ハ實ハ大學ダケノ問題デハナイノデ  
アリマシテ、教育ノ根本トシマスル事柄、  
或ハ日本ノ總テノ事柄ノ根幹デアルベキ國  
體ノ本義ノ徹底ト云フ事柄ガ缺如シテ居ル  
ト云フコトガ、其ノ根本ノ問題ナノデアリ  
マス、其ノ點デ大學ノ教授ナドニモ、思想  
的ニ國體ノ本義ニ徹シテ居ナイ者ガ近來相  
當多カッタ、是ハモウ認メザルヲ得ナイノ  
デアリマス、其ノ影響ガ現ハレマシテ、假  
ニ大學ノ教授ガ直接ニ赤化思想ヲ誘導シマ  
セヌデモ、他カラノ誘導ノアツタ場合ニ直  
チニ容易ニソレニ誘惑サレルト云フヤウナ

事態ヲ醸シテ居ツタコトモアツタ思ヒマ  
ス、要スルニ問題ハ大學ノミナラヌ、一般  
ニ教育ノ立場ニ於テ國體ノ本義ニ徹シテ居  
ナイ思想ヲ持ツテ居ル者ハ、十分ニ或ハ其  
ノ思想ヲ徹底セシメル、或ハ如何ニシテモ  
其ノ思想ヲ徹底セシメルコトガ出來ナイト  
云フ者ハ、教育界カラ除クト云フ外ニ途ハ  
ナイト思フノデゴザイマス、唯併シ一面ニ  
於キマシテ、從來其ノヤウナコトニ依ツテ  
養育サレテ居ル者ガ今社會ニ多數アツテ、  
其ノ思想ガ十分國體的ニ確立シテ居ナイト  
云フ所ニ、甚ダ又思想上學生ニ對シテノ影  
響トシテ困難ヲ感ジテ居ルノデゴザイマス、  
一面ニ於キマシテハ教學ノ刷新ト致シマシ  
テ、只今申上ゲマシタ根本的ニ國體ノ本義  
ニ則ル教學ト云フモノヲ、所謂教育ニ直接  
關係シテ居ル者ノ中ニ於テモ徹底セシメル  
ト同時ニ、社會ニ於キマシテ活躍シテ居ル、  
殊ニ若イ大學ヲ卒業シテ間モナイ者トカ、  
或ハ幾ラカノ年代ヲ經タト云フ者デモ、從  
來ノ餘リニ宜シクナイ思想ニ依ツテ教育サ  
レタヤウナ者モ、同時ニ之ヲ再教育ヲスル  
トカ、或ハ其ノ他ノ方法ニ依リマシテ教育  
ヲ直スト云フヤウナコトニ依ツテ、學生  
ニ對シテノ影響ヲナクスルヤウニ努メナケ  
レバナラヌト思ヒマシテ、其ノヤウナ方針  
デ此ノ國體ノ本義ニ徹スル教育ト云フモノ  
ヲ、學校ノ内外ニ於テ十分ニ徹底スルヤウ  
ニ、力ヲ盡シタイト考ヘテ居ルノデアリマ  
ス

○猪野毛委員 御意見ノ通り、大學ニ赤ガ  
生ズルト云フコトハ、獨リ大學ダケノ責任  
ニアラズ、他ニモ是ハ幾多ノ原因ガアツテ、  
是トモ關聯ヲ致シテ居ルト云フコトハ、是  
ハ了出來マスルケレドモ、併シナガラ此

ノ重大ナル責任ハヤハリ文教ノ府ニアルト  
云フコトヲ、眞先ニ自覺シテ貰ハナケレバ  
ナラヌ、ソレハ内務省ニモ、司法省ニモ又  
國民全體、家庭ニモアリマセウケレドモ、  
文教ノ府ガ詰リ一番直接ノ責任者デスカラ  
一口ニ言ヘバ文教ノ府ガシツカリシテ居ナ  
イ、從來ノ大臣ト雖モ、文部大臣ハ伴食大  
臣ヲココニ充テルト云フヤウナ輕ク見タ時  
代モアツタ、吾々ハ文教ノ府ハドウシテモ  
是ハ一番重キヲ置イテ掛ラナクテハナラヌ、  
況ヤ日本ガ東亞大共榮圈ヲ作り、八紘一字  
ノ大理想ヲ世界ニ行ハウト云フノナラバ、  
ドウシテモ日本ハ高度ノ文化性、文明性ヲ  
持タナクテハ、單ニ此ノ法律ダケヲ以テ行  
ケルノ、武力ダケヲ行ケルノト思ウテモ、  
ソレモ必要デアルガ、ソレダケデハ行ケル  
モノデハナイ、個人トシテモ偉大ナル德ノ  
力ト、人格ノ力ヲ以テ行カナケレバ、他國  
人ナドハ容易ニ承服スルモノデハナイ、然  
ルニ從來ノヤウナ教育ノ仕方デハ、到底是  
ハ内地人サヘ承服シナイ、一例ヲ舉ゲテ見  
レバ、今日ノ官吏ノ氣風モ大分改マリツツ  
アリマスルケレドモ、所謂官吏獨善思想ト  
能ク惡口サレマスルガ、アア云フヤウナ思  
想デ、人民ニ臨ムトカ、支配ヲスルトカ、  
取締ルトカ、治者ダトカ云フヤウナ優越感  
ヲ抱クヤウナ考ヘヲ以テ臨ンデハ、到底是  
ハ融和ヲ圖ラレ得ナイ、但シ是ハ段々政府  
ノ考ヘガ改マツテ改善ハサレマスカラ、此  
處デハ申シマセヌ、ソコデ此ノ文教ノ府ニ  
立ツ人ハ、理想ガ非常ニ高遠ダナクテハナ  
ラスト思フ、然ルニ從來之ヲ輕ンジタ弊風  
ガアリマスガ、今文部大臣ノ仰セラレタ御  
言葉ハ、主トシテ責任ガ外ニアルヤウナコ  
トバカリヲヒドク仰セラレタ、是ハ私ハ洵

ニ腑ニ落ちナイ、無論外ニモアリマスケレドモ、主トシテハ文教ノ府ニアツタ者ノ怠慢デアルト云フ、一ツノ反省ノ心ニナツテ戴カナクテハナラヌト私ハ思フ、明治初年以後ニ於キマシテモ、大學ニ不逞思想ノ起キル本ハ大學ノ教授、アトニハ内務大臣、宮内大臣ニナラレ、所謂重臣ニモナラレマシタガ、此ノ人ガ天皇機關説ヲ大學デ教育サレタ元祖デ、是ガドウシテモ其後改メナカツタ、アトノ教授ヲ推薦スルノニ、ヤハリ己レノ色ノ者デナクテハ推薦シナイ、之ニ反スルヤウナ講義振ノ者ハ學校デ採用シナイ、斯ウ云フコトニナルカラ大學ガ赤ノ巢ニナツタノデス、マルクスノ經濟學ニ於テモ其ノ通り、ソレダケ大學ガ鞏固ナル縦ニハ天皇機關説、横ニハ「マルクス」ノ經濟學、是デ此ノ縦横ニ固メタ所ノ信念ト人生觀デアリマスガ故ニ、何トシテモ何時カ此ノ惡イ思想ガ具體的ニ現ハレナクテハナラヌト云フ宿命ニナツテ居ツタノデス、是ガ即チ一番惡イ現ハレガ共產思想、輕ク言ヘバ官僚獨善ニナルトカ、其ノ他變ナ全體主義トカノ新體制ノ「ナチス」流ヲ喜ンダリ、「ロシヤ」式體制ノ思想ヲ喜ンダリ、斯ウ云フ風ニドン／＼變化シテ行ク、ドチラニシテモ本當ニ正シイ中庸ノ穩健ナル日本思想ト云フモノニハ縁ノ遠イモノニナツテ來ル、最初ノ根柢ガサウ云フ根柢デアリマスガ故ニ、茲ニ責任ガアルノデアリマスカラ、深クハ之ヲ私ハ茲ニ咎メマセスケレドモ、ソレナラバ痛ハ此處ニアツタト云フコトナラバ、一大英斷ヲ以テ之ヲ芟除シナクテハナラヌト存ジマス、然ルニ今日ノ大學ノ教授ノ講義振リ一體大學ヤ專門學校ニ於ケル所ノ講師、教授ハ、今日ノ所デ健全ナリト文

部大臣ハ御覽ニナツテ居リマスカ、一々檢討シテ督學官ト云フカ監察官ト云フモノモアルデアリマセウガ、講義ノ内容ナドモ一文部大臣ノ所ニ、ドノ教授ハドウ云フ思想デ、大體ドウ云フ教育ヲ學生ニ施シテ居ルカト云フコトノ御調べガ付イテ居リマセウカ

○橋田國務大臣 先程申上ゲマシタコトニ付テ一寸私ノ言葉ノ足リナカツタ點カラ誤解ヲ御抱キデハナイカト思ヒマシテ、一寸補足致シテ置キマスガ、大學其ノ他ノ教育ニ直接關係ノアル者ノ責任ガナイト云フコトヲ決シテ申上ゲタ譯デハアリマセヌ、ソレハ大責任ガアル、唯教學ヲ刷新スルト云フ場合ニハ、斯クノ如キ事情モアリマスト云フコトヲ申上ゲタデデアリマシテ、文教ノ府ニ於テハ數學ノ刷新ノ根本ヲ樹立セン

トスル場合ニ、學校ヲ措イテ外ノコトヲ彼此レ申スベキデナイトスラ考ヘテ居ルノデアリマシテ、學校ト云フモノニ對シテ十分ニ徹底サセタイト云フノガ私共ノ第一ノ決心デアリマス、殊ニ專門學校或ハ大學等ニ於キマシテ、私在野中色々噂ヲ澤山聞イテ居

リマス、デアリマスガ、唯噂ヲ聞イテ即時私ノ所信ヲ斷行スルト云フ譯ニハ參リマセヌカラ、爾來大イニ取調ベテ參ツテ居リマス、取調ベノ付イテ居ルモノニハソレ／＼適當ナ處置ヲ講ジタ場合モアリマス、漸次文部當局トシテ詳シキ取扱ヒニ於テ十分ニ取調ベモ致シマスガ、併シ取調ベノ結果處理スベキモノハ斷乎トシテ處理スル積リデゴザイマスカラ、其ノ邊ハ十分御諒承ヲ願ヒタ

イト思ヒマス

○服部委員長 猪野毛君ニ御願ヒシマスガ、モウ一人文部大臣ニ質問スル人ガアリマス

カラ、御含ミノ上御質問ヲ願ヒマス

○猪野毛委員 一寸申上ゲテ置キタイト思ヒマス、何トシテモ文教ノ府ノ關係カラ赤ガ出テ來ル所ニ根源ガアリマスルカラ、此ノ本ヲ正シテ、此處デシツカリシタコトニシナケレバ、内務、司法等、如何ニ法律デ取締ツタ所デ、是ハ後ヲ追駈ケテ走ルヤウナモノデアアル、此處ヲ文部大臣ガ一大決心ヲ持ツテ始メニヤラナクテハ駄目ナンデアリマス、種子ヲ蒔イテ後カラ刈取ツテ追駈ケテ歩イタ所デ、是ハ始マラス、ソレデアルカラ時間ナドハ慌デルコトハナイ、一日ヤ二日審議ガ遅レヤウガ、ソナコトヲ躊躇スルコトハナイ、兎モ角此處ハ吾々ノ納得行クマデヤラナケレバナラヌト思ヒマス、但シ成ベク急イデヤリマスケレドモ、サウ云フ意味ニ於テ十分一ツ此ノ重大性ヲ考ヘテ戴キタイノデアリマス——ドウモ私ノ考ヘデハ學問ヲ尊重スルト云フヤウナ意味カラ、學校ノ講義ニ付テハ文部省ハ多少取締ガ緩慢ト言ヒマセウカ、餘リニモ講義ヲヤリ放題ニシテ投ガ過ギテ置イタノデハナイカト云フ心配ガアル、現ニ從來大學ニ教授會ト云フモノガアツタ、今度ハ勅令カ何カデヤツタヤウデアリマスケレドモ、アレガ一ツノ獨立國ヲ成シテ居ルヤウナモノデ、文部大臣ノ權限モ何モ及ビハシナイ、大學ノ教授會デ勝手ニ教員ヲ決メテ、此處デ決メタ所ノ教員ヲ文部省ハドウスルコトモ出來ナイ、鹹ルノデモ——詰リ任免黜陟ヲ自由ニ教授會ガヤル、是ガ文部省ヨリモ強イ權力ヲ持ツテ威張ツテ居ルヤウナ状態ニナツテ來テ居ル、大學ノ先生ニ聽クト、文部省ナドハ最モ頭ノ惡イ官吏ガ行ツタノデ、此處ハ學術ノ根源ヲヤル所デ一番偉イ

モノノ集マリダト思ツテ居ルラシイ、斯ウ云ツタヤウナ學問至上主義ノ頭デ居ルノデ、行政官ナドヲ馬鹿ニシテシマツテ居ル點ガアル、サウシテ政府ノ方デハ其處ニ伴食大臣ヲ据エル、社會モ文教ノ府ヲ輕ンズル、斯ウ云フヤウナ状態デアツタノデス、是ハマア大分今日ハ勅令ノ改正ナドヲヤツテ改メツタヤウデアリマスルケレドモ、是モマダ／＼形式的ニ流レテ居テ、實際ニハ長鞭馬腹ニ及バズノ感ガアリマス、今迄ニ間違ヒガ出來ナカツタ時ナラバ、大體大學ノ自治ニ一任シテ置イテモ宜イケレドモ、丁度過チヲシタ後デアリマスルカラ、餘程教授ノ人格、性格、講義ノ内容ニマデ一ツ深ク立入ラナクテハナラヌト思ハレマス、吾々ハ痛切ニ此ノ點ヲ案ジテ、全國ノ文教ノ府ノ管轄ノ下ニアル教授ガ、一體ドウ云フコトヲ言フカト云フコトヲ密カニ調査シテ、材料ハ私共多分ニ此處ニモ此ノ通り持ツテ居ルノデアリマス、各大學、專門學校ナドデドウモ寒心スベキ思想ヲ持ツテ居ル先生ガ多イ、斯ウ云フ講義ヲ聞イテ居タ日ニハドウセ碌ナ人間ニハナレヌ、ソレデアルカラ外ノ方ノ罪社會ノ罪ハサテ措イテ、教員カラ一ツ改メテ參ラナケレバナラヌト思フ、一番酷イノハ東京ノ帝國大學デ、是ハ荒木文部大臣ノ時ニモ私ハ委員

會ニ於テ喧シク文部大臣ニ申上ゲマシテ、斷乎タル處置ヲ執ルコトヲ強ヒマシタ、アノ時ハ文部省ノ局長ナドモ其ノ爲ニ大分迭ラレタヤウデ、又先生モ迭ヘラレタヤウデアリマスケレドモ、其ノ後段々緩ンデシマツタヤウデアリマス、何分今日ハ事變ノ爲ニ、精神主義ヨリハ物質觀念ガ強クナツテ來マシテ、此ノ間モ文部大臣ガ科學ス

モノノ集マリダト思ツテ居ルラシイ、斯ウ云ツタヤウナ學問至上主義ノ頭デ居ルノデ、行政官ナドヲ馬鹿ニシテシマツテ居ル點ガアル、サウシテ政府ノ方デハ其處ニ伴食大臣ヲ据エル、社會モ文教ノ府ヲ輕ンズル、斯ウ云フヤウナ状態デアツタノデス、是ハマア大分今日ハ勅令ノ改正ナドヲヤツテ改メツタヤウデアリマスルケレドモ、是モマダ／＼形式的ニ流レテ居テ、實際ニハ長鞭馬腹ニ及バズノ感ガアリマス、今迄ニ間違ヒガ出來ナカツタ時ナラバ、大體大學ノ自治ニ一任シテ置イテモ宜イケレドモ、丁度過チヲシタ後デアリマスルカラ、餘程教授ノ人格、性格、講義ノ内容ニマデ一ツ深ク立入ラナクテハナラヌト思ハレマス、吾々ハ痛切ニ此ノ點ヲ案ジテ、全國ノ文教ノ府ノ管轄ノ下ニアル教授ガ、一體ドウ云フコトヲ言フカト云フコトヲ密カニ調査シテ、材料ハ私共多分ニ此處ニモ此ノ通り持ツテ居ルノデアリマス、各大學、專門學校ナドデドウモ寒心スベキ思想ヲ持ツテ居ル先生ガ多イ、斯ウ云フ講義ヲ聞イテ居タ日ニハドウセ碌ナ人間ニハナレヌ、ソレデアルカラ外ノ方ノ罪社會ノ罪ハサテ措イテ、教員カラ一ツ改メテ參ラナケレバナラヌト思フ、一番酷イノハ東京ノ帝國大學デ、是ハ荒木文部大臣ノ時ニモ私ハ委員

會ニ於テ喧シク文部大臣ニ申上ゲマシテ、斷乎タル處置ヲ執ルコトヲ強ヒマシタ、アノ時ハ文部省ノ局長ナドモ其ノ爲ニ大分迭ラレタヤウデ、又先生モ迭ヘラレタヤウデアリマスケレドモ、其ノ後段々緩ンデシマツタヤウデアリマス、何分今日ハ事變ノ爲ニ、精神主義ヨリハ物質觀念ガ強クナツテ來マシテ、此ノ間モ文部大臣ガ科學ス

モノノ集マリダト思ツテ居ルラシイ、斯ウ云ツタヤウナ學問至上主義ノ頭デ居ルノデ、行政官ナドヲ馬鹿ニシテシマツテ居ル點ガアル、サウシテ政府ノ方デハ其處ニ伴食大臣ヲ据エル、社會モ文教ノ府ヲ輕ンズル、斯ウ云フヤウナ状態デアツタノデス、是ハマア大分今日ハ勅令ノ改正ナドヲヤツテ改メツタヤウデアリマスルケレドモ、是モマダ／＼形式的ニ流レテ居テ、實際ニハ長鞭馬腹ニ及バズノ感ガアリマス、今迄ニ間違ヒガ出來ナカツタ時ナラバ、大體大學ノ自治ニ一任シテ置イテモ宜イケレドモ、丁度過チヲシタ後デアリマスルカラ、餘程教授ノ人格、性格、講義ノ内容ニマデ一ツ深ク立入ラナクテハナラヌト思ハレマス、吾々ハ痛切ニ此ノ點ヲ案ジテ、全國ノ文教ノ府ノ管轄ノ下ニアル教授ガ、一體ドウ云フコトヲ言フカト云フコトヲ密カニ調査シテ、材料ハ私共多分ニ此處ニモ此ノ通り持ツテ居ルノデアリマス、各大學、專門學校ナドデドウモ寒心スベキ思想ヲ持ツテ居ル先生ガ多イ、斯ウ云フ講義ヲ聞イテ居タ日ニハドウセ碌ナ人間ニハナレヌ、ソレデアルカラ外ノ方ノ罪社會ノ罪ハサテ措イテ、教員カラ一ツ改メテ參ラナケレバナラヌト思フ、一番酷イノハ東京ノ帝國大學デ、是ハ荒木文部大臣ノ時ニモ私ハ委員

ル心ト云フヤウナコトヲ言ウテ講義ヲサレ  
タ、ドウ云フ内容カ知リマセヌガ、アア云  
フ見出シダケヲ一寸見テモ、若イ者ハ科學  
スル心ト云フコトハ、是ハ文部大臣ハ科學  
物質至上主義ノ人デハナイカ、唯物論者デ  
ナイカト、直ダ鋭イ頭デ考ヘル、是等ノ唯  
物論ニ付テハ、彼等ハ自己ノ方ヘ都合ノ好  
イ解釋ヲシヨウト云フ危險ナ時代デアリマ  
ス、アナタハ決シテ唯物論者デモナケレバ、  
科學萬能デモナイ、物心兩方兼ネラレタ所  
ノ思想ノ持主デアラレルコトハ、吾々モ能ク  
聞イテ居リマスケレドモ、社會ハサウ云フ  
風ニ見テ居ル、サテ東京ノ帝國大學ナドノ  
方ヲ見マシテモ未ダ實ニ危險ナモノデス、  
ドウモ名前ヲ言フコトハ私ハ本人ノ爲ニモ  
憚リマスカラ、成ベク名前ハ申サヌヤウニシ  
タイト思ヒマスガ、名ヲ言ハナケレバ具體  
的ニナラスノデ、一寸困ツタモノデス、國際  
法ナドヲ講ジテ居ル或ル先生ノ著書ナドヲ  
見マシテモ、ヒドイコトヲ書イテアル、國  
際法ヲヤツテ居ル人ハ、國際法至上主義  
觀念ニナルノハ、多少諒トセネバナラスケ  
レドモ、國內法ヨリハ國際法ノ方が重イト  
云フ頭ニナツテシマツテ居ル、ソレダカラ  
國內法ガ國際法ノ下ヲ行クモノ、國際法ノ  
前ニ國內法ガ頭ヲ下ゲル、斯ウ云フ觀念ヲ  
持ツテ居ルヤウデアリマス、之ヲ學生ニ講  
義スルト、學生ノ頭ハ國際法至上主義ニナ  
リ、國際關係ニ段々重キヲ置イテ來ル、日  
本ノ尊嚴ヲ思フヨリハ外國人トノ提携ニ重  
キヲ置イテ、サウシテ日本ヨリハ外國ガ有  
難イト云フコトニナツテシマフ、從來ノ外國  
崇拜ニアツタヤウナ觀念論者ノヤウニナ  
ツテシマフ、斯ウ云フ教授ガ今日デモマダ  
居ツテ、サウシテ著書モ出シテ居ル、此ノ

著書ハ有斐閣カラ出テ居ル、内務省ノ警保  
局ノ方ガ來テ居ラレマスカラ能ク聽イテ置  
イテ貰ヒタイ、斯ウ云フ本ヲ内務省ノ警保  
局デ一遍再檢討シテ頂キタイ、隨分ヒドイ  
コトヲ書イテアル、又今ハ名譽教授デ或ル  
思想事件デ檢舉ニナツタ人、裁判ニ掛ツテ  
無罪ニナリマシタケレドモ、ドウ云フモ  
ノカ文部省ハ大學ノ方デ名譽教授ニシテ居  
リマスガ、此ノ教授ナドモヤハリ雜誌ヤ著  
書ニ變ナコトヲ言ツテ居ル、現ニ東大ノ經  
濟學部ノ助教デアリマスガ、此ノ人ナド  
ハ全然右カラ見テモ左カラ見テモ、「マルクス」  
論者ト云フコトハ否定出來ナイ、又東大ノ  
經濟學部ニ居ル或ル助教デ政治ノ日本的  
原型ト云フ論文ヲ見ルト、隨分ヒドイコト  
ヲ書イテアル、天照大神ノコトヲ論ジテア  
リマスガ、是等ハ一寸此處ノ席デハ、祕密  
會デデモナケレバ申シ兼ねルヤウナコトヲ  
言ウテ居ル、又京都大學ノ經濟學部ノ某教  
授、是ナドモ隨分變ナコトヲ言ウテ居ル、  
マダ外ニモ京都大學ノ教授ニアル、又新潟  
ノ高等學校ニモアル、是ハ生徒主事デスカ  
ラ直ダ御分リニナルダラウト思ヒマス、數  
學ノ先生デスカラ、數學ノ哲理カラヤツテ  
行クノデセウ、其ノ中ニ日本ノ志士ナドヲ  
罵倒シタヤウナコトヲ言ウテ居ル、數學ノ時  
間ニ、幕末ノ志士ナドハ馬鹿野郎ダト云フ  
ヤウナコトヲ言ウテ居ルノデス、例ヘテ見  
レバ山鹿素行、吉田松陰ナドガサウデア  
ルト云フヤウナコトヲ、公然ト學生ニ聽カセ  
テ居ル、是ハドウ云フ影響ガ學生ニ與ヘラ  
レルカト云フコトヲ、一ツ考ヘテ貰ヒタイ、  
又其ノ學校ニ於ケル英語ノ或ル教授ノ如キ  
ハ、反戰的ナ言葉ヲ以テ英語ヲ教ヘテ居リ、  
軍人ニ對シテハ嘲ケリノヤウナ言葉ヲ盛ン

ニヤツテ居ルノデス、又同ジ學校ニ於ケル  
「ドイツ」語ノ或ル先生ノ如キハ、人生觀ナ  
ドヲ「ドイツ」語デ説クノデアアルガ、日本人  
ノ信念ト非常ニ違フヤウナコトヲ言ウテ居  
ル、又助教デ修身ヲ教ヘテ居ル先生、是  
モ道德的ニ見逃スコトノ出來ヌヤウナコト  
ヲ言ウテ居ル、又東京府立、高等學校デモヤ  
ハリサウデス、或ル化學ノ先生デスガ、是ハ  
マルキリ「マルキチスト」デス、又修身ト國語  
ヲ教ヘテ居ル或ル教授ノ如キ、ヤハリ國體ヲ  
否定スルヤウナコトヲ盛ンニ言ウテ居ル、  
學生ハドウ云フモノデアルカ、斯ウ云フ國  
體ヲ否定スルトカ、「マルクス」ノヤウナコ  
トヲ言フ方ガ、耳ヲ澄シテ、興味ヲ持ツテ聽  
ク、教室カラ出テ來ルト、今日ノ時間ハ面  
白カツタヨト言フ、國體ヲ否定スルトカ、  
「マルクス」ノヤウナ赤イ議論ヲヤルト、生  
徒ハアア今日ノ講義ハ百點ダツタト言ウテ、  
喜ンデ出テ來ルト云フ狀態デス、教授ガ強  
チ之ニ迎合スル譯デモナカラウケレドモ、  
兎モ角生徒ノロニ合フヤウナコトヲ言ヒタ  
ガル此ノ教授ガ生徒ニ大ニモデルト云フコ  
トニナツテ居ル、又此ノ學校ノ主任ノ先生、  
主任ト言ヘバ分ル、是ガヤハリ全然唯物史  
觀ノ講義ヲ數學ノ時間ニヤツテ居ル、成程  
數學ノ時ハ具體的ナコトヲ言ハナケレバナ  
ラヌカラ、多少其ノ傾向ハアツテモ仕方ガ  
ナイカモ知レヌガ、斯ウ云フヤウナ言ヒ方  
ヲスレバ、是ハ危險ナモノデス、又動物學  
ヲ數ヘテ居ル先生ナドデモ、日本精神デ動  
物學ハヤレヌト云フヤウナコトヲ言ウテ居  
ル、斯ウ云フ偏狹ナコトヲ言フ、日本精神  
デ動物學ノ教育ハ出來ヌト云フヤウナコト  
ヲ言フ、日本精神ト云フモノハサウ云フ融  
通ノ利カヌモノデハナイデス、日本精神デハ

凡ユルコトヲ講義モ出來レバ、應用モ出來  
ル、ドチラデモ使ヘル所ノ圓滿無碍、自由  
自在性ノ實ニ八通性ノアル所ノ尊イモノデ  
ス、ソレヲ動物學ナドハ日本精神デハヤレ  
ヌト云フヤウナ前提デ以テ講義ヲシテ居  
ル、心理學ノ或ル教授ノ如キ、是非非常ナ  
「ユダヤ」信者ト見エテ、極力「ユダヤ」ノ學  
問、「ユダヤ」ノ人ヲ褒メテ結果、ドン／＼「ア  
メリカ」ヘ「ユダヤ」ノ人ガ「ヨーロッパ」カラ追  
放サレテ行クカラ、今後ハ「アメリカ」ハ世  
界學術ノ中心地ニナルダラウト云フヤウナ  
コトヲ言ウテ居ル、サウシテ「ユダヤ」ノ人ヲ  
師匠ニセナクテハ、學術ト云フモノハ習ヘヌヤ  
ウナコトヲ生徒ニ思ハセテ居ル、即チ「ユダ  
ヤ」人至上主義デス、斯ウ云フコトヲ心理學  
ノ先生ガ言ウテ居ル、又松江高等學校ノ或  
ル心理學ノ先生ナドハ、忠孝ハ一本デハア  
リマセヌトカ、忠孝ハ滅ビタ所ノ道德デア  
ルトカ、斯ウ云フヤウナコトヲ生徒ニ言ウ  
テ居ル、是ハ頗ル重大ナコトデス、又漢文  
ノ或ル先生ハ、天皇陛下萬歲デハ死ネマ  
セヌト云フヤウナコトヲ生徒ニ講義ヲシテ  
居ル、ドウデス、陸軍當局モオイデニナリ  
マスルガ、是ハ餘程重大ナコトデアラウト  
思フ、ソレカラ福島高等商業學校ノ日本文  
化史ヲ教ヘテ居ル先生、是ハ「プロレタリ  
ア」文學ヲ盛ンニ鼓吹スル、是ナドハドウシ  
テモ日本ノ古事記ノ抹殺論者デス、コンナ  
コトヲ一々讀上ゲルト際限ガナイ程例ガア  
ル、又歴史ノ先生ニモ注意スベキ人ガアリ  
マス、又外國人ナドデモ此處デ「ゲーテン  
リー」ト云フ先生ナドデモ、是ハ日獨伊ノ三  
國同盟ノコトナドニ付テ、日本ハ馬鹿ナコ  
トヲヤツタト云フヤウナコトヲヤハリ言ウ  
テ居ル、是ハ誹謗程度ニマデ行カヌケレド

モ、日本ハ之ニ付テハ御勅語モアツタヤウデアリマスガ、御勅語ニアツタヤウナコトニ付テ外國人ガ彼此レ言フヤウナコトヲサセテハイカヌ、外國人ハ直グニ三國同盟ハ日本ニ損デアルトカ得デアルトカ言フガ、日本ハ損得バカリデ同盟ヲ結ブノデヤナイ、道トカ國ニ付テ云フヤウナ尊イ理由ニ依ツテ日本ハ行動スルト云フコトヲ彼等ハ分ラヌ、分ラヌケレドモ、先生ガ斯フ云フコトヲ言フト學生ニ非常ナ惡影響ガ來ル、斯フ云フコトニ付テ文部省ハ怠慢ト云フカ取締ニ缺陷ガアルト思フ、又是ハ著書ニナリマスケレドモ、文部省バカリデヤナク内務省ノ管轄ニナリマスガ、翼贊會ノ參與ナドノ先生、前慶大ノ經濟部ノ部長ナドシタ人デスガ、迎モ危險ナ經濟論ヲヤツテ居ル、又現ニ京都大學ノ經濟部ノ教授ヲシテ居ル或ル經濟學博士ノ如キモ、有斐閣カラ出テ居ル新體制ノ指導原理、十六年ノ一月十日、十五日版ヲ發行シタモノヲ見マスルト、迎モ變ナコトヲ書イテ居ル、又政府ノ官吏ノ中ニ於テモ吾々ニ勝ニ落チヌコトヲ言ウテ居ル、名前ヲ舉ゲテ置ク方ガ却ツテ宜イデセウガ、元企畫院ニ居リマシタ奥村サン、此ノ人ハ官僚ノチヤキ／＼ダ、是ハ變革期日本ノ政治經濟ト云フヤウナ題デ佐々木書房カラ發行サレテ居ル、十五年十二月二十日ニ出サレテ居リマスガ、是ナドノ内容ヲ見ルト、ドウシテモ「ロシヤ」「ドイツ」ノ經濟體制ヲ學ンデヤラナクチヤナラスト云フコトヲ言ウテ居ルノデス、頗ル是ハ危險ナモノデス、ドウシテモ「ロシヤ」化サヌ譯ニ行カヌ「ドイツ」化サセナクテハ日本ノ經濟ハ保テヌヤウナコトヲ言ウテ居ル、國家ノ官吏デ之ヲヤツテ居ル、一種ノ「フツシ」

デス、内務省ナドハ斯ウ云フコトニ付テ全然取締ヲ疎カニシテ居ルト思フ、尤モ自分ノ同僚ダカラ取締ル者モ都合惡イト云フヤウナ情實モアリマセウケレドモ、役人ヲアルコトハ皆ガ餘程神經ヲ鋭クシテ見テ居リマスカラ、一ツ是ハ徹底的ニ見テ戴キタイト思フ、尙ホ京都帝國大學ノ教授、是ハヤハリ京都ノ新體制研究會ノ指導者ニナツテ居リマスルガ、是モヤハリ有斐閣カラ出シテ居ル、是ハ日本經濟革新大綱ト云フヤウナ名前デ出シテ居ル、此ノ内容ナンカ見ルト、マルキリ經濟體制ト云フモノハ、少シ激シク言フト「ソ」聯主義隨從、「ソ」聯ノ經濟組織デナクテハ到底今日ノ日本ノ經濟界ヲ救フコトハ出來ヌ、發展サスコトガ出來ヌト云フヤウナコトヲ言ツテ居ル、是ハ全然徹底的ナ「マルクス」論者デス、ソレカラ又大政翼贊會ノ參與或ル評論家、是ハ講談社カラ出テ居ル戰時經濟ト新經濟體制、是ナドモ隨分過激ナモノデス、自由經濟ト云フモノヲ全然ナクシテシマツテ、統制經濟ニ行カナケレバナラヌ、之ヲ言フマデハ宜イケレドモ、商人ヲナクスルト云フ議論ニナツテ居ル、斯ウ云フコトヲ一舉ニヤツテシマツテハ、迎モ世ノ中ハ危險デス、日本ノ經濟ノ狀態ト云フモノガ外國人ニ分ラヌ所以ハ何處ニアルカト云フト、中小商業トカ商店ト云フモノガアルカラ一寸調査ガ付カヌ、向フノヤウニ勞働者ト大キナ會社ニナルト調査ガ直グ付ケレドモ、中小商業ノヤウニ夜モ晝モ小僧働キデヤツテ居ルモノノ經濟ト云フモノハ、非常ニ複雑ニナツテ稅務署ノ稅ヲ取ルノニハ都合ガ惡イカモ分ラヌケレドモ、外國人ガ日本ノ經濟狀態ヲ探ルノニ對シテハ、斯ウ云フ組織ガ一番複雑デ分ラヌ、是等ハ餘程日本ノ一

ツノ良イ特長デ何千年何百年來タモノデアルカラ、之ヲ一舉ニ統制經濟ノ爲ニ商人ガヤツテ居ル從來ノ經濟組織ヲ破壊シテシマヘト言ツテ居ルノデス、商人ガ怖ガツテビク／＼シテ居ル、何時カ吾々商人ト云フモノハ乞食ニナツテシマハナケレバナラスト云フヤウナ不安ヲ與ヘテ居ル、是ガ翼贊會ノ參與、政府ノ寵兒デス、政府ト表裏一體ニナツテ居ル——政府ノ非常ニ重要ナル役割ヲシテ居ル方々デス、又是モ翼贊會ノヤハリ經濟ノ方ニ關係ヲシテ居ル有力ナ人デスガ、是ナドデモ非常ニ唯物「マルクス」論バカリヤツテ居ル、一元的ノ經濟計畫論ナドヲ書イテ、新體制ノ經濟ト云フヤウナ本ヲ出シテ居ル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見ルト、皆盜人ヲ捕ヘテ見レバ我が子ナリデ政府ノ粟ヲ食ンデ居ルトカ、國家カラ月給ヲ貰ツテ居ルトカ、國家ト表裏一體ヲナスヤウナ團體ノ幹部デアル、餘程政府ハ責任ヲ考ヘテ貰ハナケレバナラスト私ハ思ツテ居ル、マダ／＼アルノデス、或ル哲學ヲ教ヘテ居ル先生ナドモ危險ナコトヲ言ツテ居ル、此ノ外マダ他ノ學校ナドニモ澤山アリマス、私立學校ニ至ツテハ山程アル、又米澤ノ高等工業ニモアリマス、福島ノ高等商業、德島ノ高等工業、和歌山ノ高等商業、隨分アル、ソレカラ松江ノ高等學校、斯ウ云フヤウニ見ルト數ヘ切レヌ程全國ノ學校ニ澤山危險ナ者ガアル、水戸ノ高等學校、佐賀ノ高等學校、山口ノ高等商業學校、斯ウ云フヤウニ皆平然トヤツテ居ルノデアリマスガ、純心ナ學生ハ、教授ノ仰シアルコトハ金科玉條トシテ有難ガツテシマフノデアリマシテ、之ヲ何等ノ豫備知識モ基礎觀念モナイ白紙ノ所ヘ入レルモノデアリマスカラ、白紙ニ字

ヲ書クヤウニ刻印ヲ押サレテシマフ、アトカラドウシヨウト斯ウシヨウト、ソレヲ直スコトハ到底出來ナイ、是ガ社會ニ出テ一寸シタハズミニ危險ナル人間ニナルト私ハ考ヘラレマスガ、是等ノ教授ニ對シテ、文部大臣ハ今後一體ドウシヨウト御考ヘニナルノデスカ、其ノ御考ヘヲ承ハリタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 先刻申シマシタ通り、文部省デモ取調中ノモノモアリ、進行シタモノハ既ニ處理シタモノモアルノデアリマシテ、不適當ト思フ者ハドシ／＼適當ニ處理スル以外ニ、方法ノナイコトハ申スマデモナイコトデアリマス、固ク決心シテ國體ノ本義ニ徹スル教育ヲスルヤウニ是非ヤル決心デアリマス

○猪野毛委員 暑中休暇方何カ利用シテ、二箇月程教授ノ再教育ヲヤラスヤウナ御考ヘハアリマセヌカ

○橋田國務大臣 ソレニ付キマシテハ、既ニ追加豫算ニ御請求申シテ居リマス國民修練道場ノ建設ノ如キハ、専ラ教員再教育ヲ目指シテ居ルノデゴザイマス、從來ヤツテ居ル程度デハ甚ダ規模ガ小サイノデゴザイマシテ、今回其ノ規模ヲ十分トハ申サレマセヌガ、相當ニ擴大シマシテ、別ニ夏休ミトモ限リマセヌガ、出來ルダケ度々機會ヲ捉ヘテ教員ノ再教育ノ出來ル者ハ、十分教育シヨウト云フヤウニ計畫モ進メテ居リマス

○猪野毛委員 今尙ホ大學デハ憲法講座ノ全部ヲヤラス教授ガ居ルヤウニ聞イデ居リマスガ、文部省デハ此ノ調ベガ出來テ居リマスカ、例ヘバ憲法第一條ト第四條ノ如キモノデス

○橋田國務大臣 私ノ今聞キ及ンデ居ル所  
デハ、其ノヤウナ教授ハ今ハ居ナイ筈デア  
リマス、以前サウ云フコトノアリマシタコ  
トハ聞キ及ンデ居リマスガ、警告サレマシ  
タカ、解職サレマシタカ、總長ノ意見ニ依  
リマスカ、本人ノ意見ニ依リマスカハ詳シク  
存ジマセヌガ、講義ヲシナイト云フ教授ハ今  
ハナイ筈デアリマス、併シナガラ是ハ今取  
調中デアリマスカラ、ドウ云フコトニナリ  
マスカ分リマセヌガ、今マデ私ノ聞イテ居  
ル所デハ、以前ニアツタサウ云フ事態ハ、  
兎ニ角是正サレテ居ル筈デアリマス

○猪野毛委員 私ノ聞イテ居ルノハ、其ノ  
條ニ行クト有耶無耶ノコトヲ言ツテ、胡麻  
化シテ行クト云フノデス、デハ講義ヲセヌ  
ノカト云フト、講義ヲセヌ譯デハナイ、餘  
所ノ國ノ憲法ノヤウナコトバカリ言ツテ居  
ツテ、其ノ條章ニ入ラヌカト云フト、入ラ  
ヌノデハナイ、入ラヌト、何故其ノ條章ニ  
入ラヌカト叱ラレルカラ、第一條ト云ツテ  
講義ニ入ルケレドモ、日本ノ憲法ノ第一條  
ヲ論ジナイノデス、餘所ノ國ノコトバカリ  
論ジテ居ツテ、胡麻化シテ行ク人ガ居ル、  
是ハドウ云フ譯カト云フト、自己ガ信念ニ  
燃エテ居ナイカラ、心ニナイコトハヤハリ  
言ヘナイ、是ハ正直ト言ヘバ正直、轉向セ  
ヌト言ヘバ轉向シナイノデス、モウ一ツ伺  
ツテ置キタイノハ、文部省ハ教授ノ轉向者  
ヲドウ御扱ヒニナリマスカ

○橋田國務大臣 教授ノ轉向ノ問題ハ非常  
ニ「デリケート」ナ問題デゴザイマシテ、其  
ノ人々ニ依ツテノ問題デゴザイマス、例ヘ  
バ或ル場合ニ於テハ、司法省デ無罪ト判決  
サレマシタ者モ、其ノ責任ナリ等ヲ考ヘテ  
免職シタ者モアリマス、ソコデ唯轉向シタ  
ト云フ其ノコトダケニ依ツテ、果シテ教授  
トシテ尙ホ採用スベキカ、スベカラザルカ  
ハ、其ノ個人ノ心情ヲ能ク探究シタ上デナ  
ケレバ、唯轉向シサヘスレバ誰デモ宜シイ  
ト云フ譯ニハ參ラナイノデゴザイマス

○猪野毛委員 日本ノ教育組織ガ「ヨーロッパ」ニ範ヲ採ツタモノダカラ、教育ノ科  
目モ日本トシテ足ラナイモノガアル、私共  
ノ最モ遺憾ニ感ズルノハ、團體講座ノ如キモ  
ノデアル、文部大臣ハ此ノ團體講座ヲ大學  
ナドニ御拵ヘニナル御考ヘハアリマセヌカ  
○橋田國務大臣 既ニ文學部ニ於キマシテ  
モ日本思想史講座ト云フモノガ設ケラレマ  
シテ、日本思想ニ付テノ教育指導ヲヤツテ居  
ル筈デアリマス、無論ソレガ徹底シテ居ル  
カドウカハ問題デアリマスガ、既ニ其ノヤ  
ウナ意味ニ於テ着手シ實行シテ居ルコトハ  
申上ゲテ置キマス

○猪野毛委員 名前ハヤハリ心ヲ表ハスモ  
ノデ、之ヲ團體講座ト單刀直入ニ出ラレヌ  
所ニ、マダ昔ノ思想ガ文部省ノ官吏ノ中ニ  
アルノデハナイカト思フ、思切ツテ團體講  
座ト云フ風ニ出來ナイモノデアリマセウカ、  
斯ウシナクテハピンント響カナイノデス、他  
ノ言葉ヲ使ツテ、其ノ内容ニ於テ團體ノ研  
究、啓發ヲヤルト云フヤウナコトデハイケ  
ナイ、モツトピンント來ルコトヲヤレマセヌ  
カ、ソコノ信念ヲ伺ヒタイ

○橋田國務大臣 其ノ名稱或ハ内容ノ充實  
等ニ付テハ十分考慮致シマス  
○猪野毛委員 段々此ノ戰爭ガ長引クヤウ  
ニナツテ來ルト、精神的ニ非常ニ荒ム者モア  
リマセウガ、物質ノ缺乏ハ當然來ルモノト  
思フノデス、ソコデ文部省ニ於テハ精神教育  
ト物質教育ノ調和ヲ、ドウ云フ方針ヲ以テ

圖ツテ行カレルカ、一ツ其ノ御信念ヲ承リ  
タイノデアリマス

○橋田國務大臣 教育ト云フ面カラ考ヘマ  
スト、精神教育、物質教育ト云フコトハナ  
イ筈デアリマス、教育ハ一點デアリマシテ、  
物心一如ト云フコトヲ會得サセルノガ日本  
ノ教育ノ本體デアリマスカラ、是ハ物質教  
育、是ハ精神教育ト云フコトノアラウ筈ハ  
ナイノデアリマス、假リニ外國カラ入ツテ  
來タヤウナ意味カラ、科學ト云フモノハ物  
質的ノ面デアリ、其ノ他ニ團體ト云フコト  
ヲ言フノハ精神面デアルト云フヤウニ一應  
ハ考ヘラレマスケレドモ、科學ヲ學ブ時ニ  
團體ヲ忘レルヤウナ科學デアツタナラバ、  
教ヘナイ方ガ宜イノデアリマス、團體ニ生  
キル科學ヲ教ヘルコトガ、日本ニ於テ科學  
ヲ教ヘルコトナノデアリマス、是ハ物質ト  
精神トドウ取扱フカト云フヤウニ、別々  
ニ考ヘズニ、寧ロ一如ニシテ、一ツノモノ  
トシテ取扱フコト云フ方針ニ於テ、教學ヲ進  
メテ行カケレバナラヌト考ヘテ居ルノデ  
アリマス

○猪野毛委員 實ハ文部大臣カラ其ノ言明  
ヲ聽キタカツタラ、私ノ方デ謎ト言ウテハ  
語弊ガアリマスガ、故ラ事ヲ舉ゲテ申シタ  
ノデス、先達ツテ文部大臣ノ著書「科學ス  
ル心」ト云フ表題ダケヲ見タ時、科學スル心  
ハ何處カラ發スルカト云フト、是ハ靈智靈  
能ダナクテハナラヌト云フコトヲ、私ハ即  
座ニ考ヘタノデス、今ノ御言明ガ本當ニ皆  
ニ徹底スレバ、大變結構デアラウト思ヒマ  
ス、大體文部大臣ノ御信念ダケハ分リマシ  
タカラ、ドウカ只今ノ御信念ナリ氣持ヲ  
實行ノ上ニ表ハシテ戴キタイ、今マデハ  
議會デ色々聽キマシテ、トデモ上手ナ旨

イコトヲ仰シヤツテモ、議會ガ濟ンデシ  
マフト、更ニ是ガ實行ニ現ハレテ來ナ  
イノデ、其ノ次ノ議會ニソレヲ又申上ゲヨ  
ウト思フ頃ニハ、内閣ハ送ツテシマフト云フ  
コトデアリマス、カラ吾々モ温暖ニ腕押シノ  
ヤウナ氣ガスル、所ガ一方思想ハドン／＼  
惡化シテ、赤ノ學生、不逞分子ガ澤山出來  
テ、サウシテ治安維持法ノヤウナ法ガ益  
適用セラレネバナラヌヤウナコトニナル、  
全ク日本ヲシテ法デ綱ヲ張ラナクチャ居ラ  
レナイヤウナ國ニシテシマフ、斯ウ云フ國  
柄ニナツタ日ニハ、日本ノ國サヘ厭ニナル  
者ガ出來テ來ルヤウニナツテハ大變ダと思  
フ、法律バカリデハ飽イテシマフヤウナ人  
間ガ出來ルト大變デス、モツト道德ニ生キ  
ル、モウ法ナドハ殆ド適用ノ必要ガナイト  
云フヤウナ道德ノ國ニ日本ヲシナケレバナ  
ラス、斯ウ云フ國ニスレバ南洋カラデモ、  
他ノ東洋カラデモ喜ンデ日本ニ親シンデ來  
ル、今ノヤウニ、イヤ統制經濟ダ、イヤ何  
何法律ダト云フ、右モ左モ法律デ綱ヲ張ツ  
テシマウテ杖突ク場所モナイト云フヤウ  
ナ、法律デ繋グヤウナ堅苦シイ社會デハ、  
逆モ世界人ヲ皆ク私ハ説キ伏セルコトハ骨  
ガ折レルト思フ、ソレダカラ、ドウシテモ  
文教ノ任ニ立タレル所ノ長官ハ此ノ考ヘヲ  
以テ、一ツ今度ハ大英斷ヲヤレルヤウニ、  
憲法ノ講座ナドヲ持タレル先生ガナカツタ  
ラ、一年ヤ二年憲法ノ講義ハナナラナイデモ  
結構デス、憲法ノ講義ヲスル先生ガナイカラ  
ト言ウテ、アヤフヤナ不健全ナ講義ヲサレタ  
日ニハ堪ツタモノデヤナイ、ナケレバナイデ  
休マシテ置ケバ宜イ、サウスレバ其ノ中ニ立  
派ナ憲法ノ講義ヲスル良イ先生ガ出來テ來  
ルト私ハ思フ、ドウカ一ツ只今ノ御信念御

覺悟ヲ實行ノ上ニ今度ハ現ハシテ戴キタ  
イ、是ダケ申上デテ文部大臣ニ對スル質問  
ヲ終リニ致シマス

○服部委員長 眞鍋君

○眞鍋(勝)委員 文部大臣ハ明日又オイデ

ニナルカナラヌカ分ラヌカラ、文部大臣ニ  
御伺ヒシヨウト思ヒマスガ、今文部大臣カ  
ラ物心一如ト云フコトヲ聞イテ私ハ實ハ安  
心シタノデス、文部大臣ハ醫科ノ御出身デ  
アツテ、而シテ又宗教ニモ御堪能デアルト  
云フヤウナコトヲ大イニ期待シテ居ツタノ  
デスガ、成程科學ニ大變御熱心デ、科學ス  
ルトカ云フヤウナ言葉ヲ使ハルルガ——名  
詞ヲ直チニ動詞ニ使ヘルモノモアリマスケ  
レドモ、一體科學スルナンカ云フコトガ果  
シテ日本語ニアルノカ、サウ云フヤウナコ  
トモ實ハ私ハ疑問ヲ持ツテ居ツタノデアリ  
マスガ、サウ云フコトヨリモ——近頃  
ドウモ政治ト云フコトガ如何ニモ低調ニナ  
ツテ來テ居ルト私ハ思フ、政治トハ何ゾヤ、  
吾々學生時代ニハ、政治トハ哲學デアリ、宗  
教デアリ、教育デアリ、而シテ最高ノ道德  
デアルト云フヤウニ教ヘラレテ來タ、隨テ  
政治ニ携ハル所ノ者ハ君國ノ爲メ、社會ノ  
爲ニハ一身一家ヲ殺シ、身ヲ殺シテ仁ヲナ  
ス、ソレガ即チ政治家ノ本分デアツタ、而  
シテ又政治ハサウデナケレバナラヌト思  
フ、隨テ明治維新當時ノ所謂志士仁人、是  
等ノ人々ノ傳記ヲ讀ンデ、吾々當時ノ學生ハ  
血湧キ肉躍ルノ感ガアツタ所以ノモノハ、  
蓋シ是等ノ志士仁人ハ眼中唯君國アルノミ  
デ、一身一家ノ利害ト云フコトハナカツタ、  
デアリマスルカラソレ等ノ人々ノナスコト  
悉ク國民ノ琴線ニ觸レテ、今尙ホ是等ノ志  
士仁人ヲ追慕スル毎ニ今日我國ノ政界ト云

ハズ、其ノ他ノ方面ニ是等ノ如キ人物ナキ  
ヲ悲シムノデアリマス、即チ政治ハサウ云  
フ風ニ高尚ナモノデアアル、所ガ近頃政治ト  
ハ何ゾヤト云ヘバ、政治ハ生活ナリト云フ、  
成程生活ヲ離レテ政治ハアリ得ナイ、固ヨ  
リ政治ヲ生活ト解スルコトハ出來ルケレド  
モ、政治ヲ生活ナドト言ヒマスルト、治國  
平天下ト云フヤウナ崇高ナル言葉ト較ベテ  
見ルト、如何ニモ響キガ惡イ、其ノ極、政  
治ハ生活ナリト云ツタコトヨリ致シマシテ、  
生活ニハ即チ多分ニ財政經濟ノ知識ヲ必要  
トスル、隨テ政治人ハ財政經濟ガ最も必要  
デアアル、而シテ財政經濟ニ堪能ナル知識經  
驗ヲ持ツテ居ル者ハ、銀行家ノ出身デア  
ルトカ、大藏省ノ出身デアルト云フコトニナ  
ツテ、其ノ極非常ニ財界出身者ヲ尊重スル、遂ニ  
ハ豫算委員會ノ如キハ財政經濟ヲ論ズルモ  
ノデナケレバ委員ニモ推サナイト云フヤウ  
ナ、詰リ經濟至上主義ニナリマシテ、而シテ  
顧ミマシテ、此ノ政界ヲ見タ時ニ政治ハ非常  
ニ低調寂莫ヲ感ジ、仰イデ崇高感激ヲ感ゼ  
ザルノミナラズ、甚ダシキニ至ツテハ科學  
萬能ト云ツテ帝國大學ニ於テ文科ヲ法科ハ止  
メタ方ガ宜カラウト云フヤウナコトヲ言フ人  
モアリ、尊敬スル猪野毛君ノ如キ、只今モ憲  
法ノ講義ヲ止メテモ宜イト云フコトデアリ  
マスガ、ソコハ私ハ違ツテ居ルト思フ、成程  
科學ハ必要デアアル、戰ヲスルニ於キマシテ  
モ、「ドイツイ」邊リノ優レタモノヲ見ルト、科  
學ノ非常な發達ニ俟ツコト甚ダ多イノデアリ  
マスガ、併シナガラ科學萬能ガ行ケルカト云  
フト、サウハ行カヌ、斯クテハ政治ハ非常ニ低  
調化サレルノデアリマスデアリマスカラシテ  
私ハドウシテモ此ノ財政、經濟ヲ高調シ又  
科學ノ流行ヲ促ス、是ハ結構デアリマスガ、

政治ニハマタソレ以上ニヨリ大切ナモノガ  
アル、ソレ故ニ財經科學至上主義ヨリ帝國  
大學ニ於テ、今ノヤウニ法科文科ノ之ヲ採ラ  
ザル所デアリマス、一國ノ政治ハ文教ヲ忽  
セニシタ結果今日ノ趨勢ニ至ツタノデハナ  
イカト思フ、政治ハ宗教デアリ、教育デア  
リ、哲學デアリ、道德デアアルコトハ是ハ明  
カデアリマス、ドウシテモ政治ノ局ニ當ル  
者、殊ニ二國ノ大臣トナリ、宰相トナル者ハ、  
政治ハ教育ナリト云フコトヲ考ヘナケレバ  
ナラヌ、即チ大臣宰相ナル者ハ身自ラ模範  
トナツテ常ニ人ノ儀表トナツテ、アノ人ガ  
大臣トナツタ、宰相トナツタ、是ガ爲ニ天  
下平カデアルト云フ感ジヲ持タシメナケレ  
バナラスト思フ、又政治ハ哲學ナリト云フ  
コトモ明カデアリマシテ、政治ハ哲人デナ  
ケレバ本當ノ政治ハ出來ナイ、一身一家ニ  
捉ハレテ、一族郎黨ヲ集メテ内閣ヲ組織ス  
ルナドト云フヤウナコトデハ立派ナ内閣ハ  
出來ナイ、五箇條ノ御誓文ニアリマスヤウ  
ニ、各、其ノ處ヲ得セシメナケレバナラ  
ヌ、其ノ處ヲ得セシメテ適材ヲ適所ニ置カ  
ナケレバナラヌ、假令反對ノ議論ヲナス人  
デアツテモ偉大ナ人物ハ重要ノ椅子ニ据エ  
テ、ソレ等ノ人ヲ用ヒテ、國家國民ノ爲ニ、  
大ニ働イテ貰ハネバナラヌ、自分ノ一族  
郎黨デナイカラト云ツテモ、ソレハ忍バナ  
ケレバナラスト思フ、此處ガ即チ哲人ノ政  
治デアアル、近頃政界ニ變調ヲ來シタノハ社  
會ノ情勢ニモ因リマスガ、私ハ議會人ニ奉  
丸ガナクナツタカラダト思フ、五・一五  
事件以來甚ダ振ハザルニ至ツタ、是ハ餘程  
政治家ガ考ヘナケレバナラスト思フノデア  
リマス、五・一五事件以前、政變ガアリマ  
スト、其ノ頃ニハ何人ガ内閣ヲ組織スルト

云フコトハ大體分ツテ居ツタ、私共ハ大シ  
タ智慧ハアリマセヌケレドモ、大體ハ見當  
ガ付イタ、ソレハドウカト云ヘバ自我ニ囚  
ハレテハイカヌ、又一黨一派ニ偏シタ考ヘラ  
持ツテ居ツテハイカヌガ、李白ノ所謂桃花  
流水杳然トシテ去ル、別ニ人間ニ非ザル天  
地ノアル有リ、此ノ心境ヲ持ツテ居ツタナ  
ラバ分ル、併シ近頃ノ政治ハ明鏡止水ノ心  
境ガアツテモ、ドウモ其ノ行キ方分ラナ  
イ、デアリマスルカラシテ私ハドウシテモ  
政治ノ局ニ携ハル者ハ、個人々々一身一家  
ヲ顧ミズ、神ノ心、人間ニアラザル境地ニ  
立ツテ政治ヲ斷行シナケレバナラスト私ハ  
思フ、此ノ點ニ於テドウシテモ政治ハ哲學  
ナンデス、即チ哲人政治ヲヤラナケレバ私  
ハ立派ナ政治ハ出來ナイト思フ、而シテ宗  
教ハ文部大臣ハ專門家跳足デ餘程御研究ニ  
ナツテ居ルノデアリマスルカラ、私共ノ文  
部大臣ヲ歡迎シタ所以モソコナンデスガ、  
宗教モ色々アリマセウ、耶穌教ノ如キハ愛  
ヲ説キ、或ハ佛教ハ慈悲ヲ説ク、或ハ支那  
ノ儒教ヲ宗教ニ入レルトスルト、儒教ハ仁  
義道德ヲ説ク、サウ云フ境地、是等ノ宗教  
心ナクシテ立派ナ政治ヲ行フコトハ出來ナ  
イ、是ハ火ヲ睹ルヨリモ明カデアアル、而シテ政  
治ハ最高ノ道德デアアル、是ハモウ異論ノナ  
イ所デアリマシテ、一體道德心ヲ持タザル  
者ガ政治ヲスルノガ間違ツテ居ルノデアリ  
マス、是等ノ見地カラ所謂大政翼贊會ト云  
フノヲ眺メテ見ルト、此ノ頃ハ國策ノ線ニ  
沿ウタガ爲ニ祖先傳來傳ハリ來ツタ所ノ職  
業モ已ムヲ得ズ捨テテ月給生活ニナツテ居  
ル、私ノ知ツテ居ル縫泊屋ハ百二十圓ノ月  
給ヲ貰ツテ居ツタガ、モウ縫泊ナンカハ失  
業致シタモノデアリマスカラ、或ル會社ニ三

十圓貫ツテ働イテ居ル、百二十圓貫ツテ居  
ツタモノガ三十圓貫デハ、大家族ヲ携ヘテ食  
ツテ行ケナイ、コンナ例ハ他ニモ澤山ア  
ル、國策ニ副ウタガ爲ニ失業シタ者ガ非常  
ニ多イ、サウシテ食フニ困ツテ居ルニモ拘  
ラズ、翼賛會ノ如キハ口ニハ偉イコトヲ言  
ツテ居ルケレドモ、傳フル所ニ依レバ、金  
殿玉樓ニ住ツテ、多クノ俸給ヲ得、出ヅル  
ニ自動車ガアル、聞ク所ニ依レバ其處等ノ  
人々ノ中ニハ六百圓モ自動車賃ヲ貰ツテ居  
ルサウデアリマス、出ヅルニ自動車アリ、  
内ニハ金殿玉樓ニ住ツテ、爲スコトト云ッ  
タラ所謂識者ノ琴線ニ觸レルヤウナコトハ  
一ツモシナイデ、地方ヘ行クト大イニ威張  
ツテ居ル、一方ニ於テハ斯ノ如ク困ツテ居  
ル者ガアルニ拘ラズ、職域奉公ヲ唱ヘ、臣  
道實踐ヲ高調シ、一億一心ヲ説ク所ノ翼賛  
會人ガ金殿玉樓ニ住ツテ榮耀榮華ヲヤツテ  
居ルト云フヤウナコトデハ道德上考慮スベ  
キ事ガアル、斯ク觀ジ來レバ所謂大政翼賛  
會ナルモノハ私共ノ書生時代ニ學ンダ所ノ  
政治ハ即チ哲學デアリ、宗教デアリ、教育  
デアリ、而モ最高ノ道德デアルト教ヘラレ  
タ所ノ信念ヲ傷ツケルヤウナモノデアリマ  
シテ、是ガ所謂哲人政治ニ反シテ居ル所ノ  
大政翼賛會ナリト私ハ固ク信ジテ居ルノデ  
アリマスガ、我が尊敬スル司法大臣、文部  
大臣、兵務局長モ居ラレマスカラ、ソレゾ  
レ私ノ所見ニ對スル心境ヲ率直ニ明白ニ飾  
リ氣ノナイ所ヲ御聽カセ戴キマシタナラバ  
仕合セト思フノデアリマス

○橋田國務大臣 政治、教育一體デアルベ  
キ御趣旨ヲ拜承致シマシテ甚ダ敬意ヲ表ス  
ル次第デゴザイマス、政教一致ト云フコト  
ハ、古來我が國ノ政治ノ本當ノ姿デアツタ

ト思フノデアリマスガ、何時ノ間ニカ政治  
ト教育ト云フ事柄ガ分離シタカノ如キ形態  
ニナツテ來マシタコトハ洵ニ遺憾ナコトデ  
アリマシテ、是ハ是非トモ本筋ニ立直サセ  
ルヤウニ致サナケレバナラスト考ヘテ居ル  
次第デアリマス、其ノヤウナ意味ニ於キマ  
シテ最後、問題ハ吾々ノ爲スベキコトハ臣  
道實踐ト云フコト以外ニ實ハ出ナイノデゴ  
ザイマシテ、大政翼賛會ト云フコトガ臣道  
實踐デアルト云フ意味ニ於テ、萬民翼賛ト  
云フコトハモウ間違ヒナイコトト存ズルノ  
デアリマス、又大政翼賛會ニ付キマシテハ、  
既ニ總理ガ責任ヲ帶ビラレテ作ラレタモノ  
デアリマシテ、總理自身ガ色々ナ機會ニ御  
答辯セラレタ所モアリ、又其ノ方ニ付テ御  
考ヘモアルコトト思ヒマスノデ私カラ此處  
デハ申上ガ兼ネマス

○柳川國務大臣 眞鍋サンノ御質問ハ中程  
カラ拜聽致シマシタガ、只今文部大臣ノ御  
答ヘニナリマシタコトデ盡キテ居ルト思ヒ  
マス、全ク私モ同様ニ存ズル次第デアリマ  
ス

○田中政府委員 大政翼賛會ニ關シマシテ  
ハ軍務局長カラ御答ヘシタ方ガ宜イカト思  
ヒマス、ト申シマスノハ陸軍ハ官制ニ依ッ  
テ定メラレタ以外ノ者ハ一切政治ニハ關係  
致サスコトニナツテ居リマシテ、死力ヲ盡  
シテ軍隊ノ訓練、事變ノ遂行ニ邁進致シテ  
居リマス、是ハ將來益、其ノ方向ニ強化サ  
レルト思ヒマス、隨ヒマシテ兵務局長ト致シ  
マシテハ大政翼賛會ニハ何等ノ關心モ持  
タナケレバ又内容モ知リマセヌ、全然無關  
心デアリマス、御尋ノ如ク若シ惡イ所ガア  
ツテ、是ガ軍隊ニ惡影響ガアル場合ニハ私  
トシマシテハ斷乎トシテ處置シナケレバナ

ラスト思ヒマス、軍隊ノ教育訓練ニ惡影響  
ヲ持タナイ間ハ興味モ持タナケレバ關心モ  
持タヌト云フコトヲ御答ヘ申上ゲマス

○猪野毛委員 一身上ノ辯明ニ付テ御許シ  
願ヒタイ

○服部委員長 宜シウゴザイマス

○猪野毛委員 眞鍋君ノ言葉ノ中私ノコ  
トニ言及サレマシタガ、誤解ガアルヤウ  
デスカラ一寸申述ベテ置キタイト思ヒマ  
ス、私ガ憲法講座ヲ中止シテモ宜イト申上  
ゲマシタ意味ハ天皇機關説ノ講義ヲヤラナ  
ケレバ憲法ノ講義ガ出來ヌト云フノナラバ、  
ソナ先生ニハ講義ヲシテ貰ハナクテモ宜  
イデヤナイカ、斯ウ云フ意味デアリマス、  
其ノ點ニ付テ、若シ憲法第一條トカ、第四  
條ノ如キ重大ナル事ニ付デアヤフヤナ講義  
ヲセバナラヌヤウ先ヅ生ナラバハ休講  
シテ貰ウテモ結構ダ、立派ナ先生ガ出來、ハ  
ツキリシタ信念ヲ持ツ先生ガ現ハレテカラ  
憲法講座ヲ又始メテモ宜イデヤナイカ、斯  
ウ云フ意味ナノデアリマスカラ、ソコヲ眞  
鍋サン誤解ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマ  
ス

尙ホ序ニ、文部大臣ト陸軍ノ政府委員モ  
オイデニナツテ居リマス機會ニ、重要ナ事  
デアリマスカラ一言申上ゲタイト思ヒマス、  
司法大臣、内務大臣御兩相トモ 天皇機  
關説ハ國體ノ本義ニ反スルト明言ヲサレ、  
斯ウ云フ説ニ對シテハ斷乎取締ルト云フコ  
トモ御明言ニナツタノデアリマスガ、此ノ  
意味ニ於キマシテ文部大臣モ大學ノ教授間  
ニ於テ此ノ説ハ全然サセナイト云フコトニ  
御異議ハナイデゴザイマセウネ——ソレカ  
ラ陸軍省ノ方ニモ御伺ヒ致シマスガ、司法  
内務トモ 天皇機關説ハ國體ノ本義ニ悖ル

斯ウ云フ御言明デアリマシタ、陸軍省ノ方  
ニモ御異議ハナイコトト思ヒマスガ、コ  
デーツ同感ノ意ヲ表シテ貰ヒマスレバ、是  
デモウ思想方面ニ於テハ何等一點紛淆ノ餘  
地ガナイコトニ決ツテシマフ次第デス、願  
クハ同感ノ意ヲ表シテ戴キタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 機關説我が國體ニ相容レ  
ズト云フコトハ既ニ國家ノ方針トシテ定マ  
ツテ居ル所デアリマス、機關説ハ我が國體  
ト相容レナイモノト信ジテ居リマス

○田中政府委員 陸軍ニ於テモ其ノ通りデ  
アリマス

○眞鍋(勝)委員 今オ三方ノ御答辯ガアリ  
マシタガ、私ハ後デ大政翼賛會云々ノコト  
ヲ附加ヘタガ爲ニ、私ノ所論デアル所ノ政  
治ハ哲學デアリ、宗教デアリ、教育デアリ、  
而モ最高ノ道德デアル、此ノ點ニ關シテ  
司法大臣ナリ陸軍ノ當局カラ承ラウト思ッ  
タノデアリマス、所ガ近時ハ餘リニ政治ハ生  
活ナリト云フヤウナ觀點カラ致シマシテ、  
政治ガ物質主義ニナリ功利主義ニ墮スルノ  
憾ミガアルノデアリマシテ、其ノ點ヲ私ハ非  
常ニ憂ヘテ居ル、其ノ點ガ問題デアツタノニ  
問題ガ多少逸シタ爲ニ甚ダ簡便ナル答辯ヲ  
得タノデアリマスガ、モウ一應司法大臣ナリ  
兵務局長カラ其ノ點ニ關シテ御意見ガアレ  
バ承リタイ、ナケレバ宜シウゴザイマス

○柳川國務大臣 眞鍋サンノ政治ハ哲學ナ  
リ、宗教ナリ、教育ナリ等ノ御意見ハ、其  
ノ政治ノ出發スル本ガソレデアツテ、ヤハ  
リ行ハレルコトハ現實ノ世ノ中ノ事情ニ即  
スルヤウニ行フト云フ考ヘ方デアラウト思  
ヒマシテ、其ノ點ハ全ク御同感デゴザイマ  
ス、高イ理想ニ出テ、政治ガ現實ノ世ノ中  
ニ即スルト云フ爲ニ餘リ低調ニナラヌヤウ

ニ、又餘リ現實ノ世ノ中カラ遊離シテ、一般ノ人ガ分ラヌヤウナ所ニ行ツテシマハヌヤウニスルノガ政治デアラウト存ズル次第デアリマス

○田中政府委員 私ハ陸軍ノ軍隊教育並ニ軍紀、風紀ノ責任者トシテ申上ゲマス、現在政治ノ情勢ガ正常デアリマセス、何處ノ力デ動イテ居ルカ分リマセス、變態デアリマスノデ、隨テ軍人ガ斯ウ云フ政情ニ對シテ干涉スルヤウナコトガ出ルノデアリマス、私共ハ一日モ早く政治ガ明朗化セラレマシテ、眞ニ國家ノ爲ニナル明朗ナル、日本ノ國體ニ基キ、又道義ニ基イタ日本及ビ日本人ノ道ニ基イタ政治ガ行ハレルコトヲ一時モ早く希望シマス、斯クスルコトニ依ツテ軍隊ハ益々強化セラレルト云フコトヲ此處ニ斷言シテ置キマス

○眞鍋(勝)委員 曩ニ猪野毛君カラモ御言明ガアリマシタガ、其ノ點ハ私共同ジナンデアリマシテ、唯斯ウ云フ世ノ中ニナツテ、餘リ物質尊重主義ガ廣ク行ハレタガ爲ニ政治ヲ低調ニシタ、其ノ點ニ付テハ猪野毛君モ御同感デアラウト私ハ思フノデアリマス

次ニ私ノ御所見ヲ御伺ヒシタイノハ、滿洲國ニハ王道樂土ト云ツテ居ツテ、王道の政治ガ行ハレテ居ル、王道ト竝ビ稱セラレルノハ即チ霸道デアアル、私ハ二十年バカリ前ニ王道ト霸道ト云フヤウナコトニ付テ、外ノコトデアリマスガ、書イタコトガアルノデアリマス、昨日昔書イタノヲ取出シテ見タ所ガ、ソレニ關スルコトガアツタノデアリマスガ、王道ト霸道、一體今日ノ政治ハドチラニ流レテ居ルカト云フコトヲ檢討シテ見タノデアリマスガ、王道ト霸道ト云フコト之ヲ東洋流ニ解シマス、王道ノ方

ハ親ヲ親トスルノデアアル、霸道ノ方ハ利ヲ尙ブノデアアル、前者ハ彝倫人道ヲ基礎トシ六親九族相親ムノ意デアリマシテ、即チ其ノ親ヲ親トスル至情ヲ推シテ之ヲ衆ニ及ボシ、以テ一視同仁ノ實ヲ全ウシテ天下ノ平和ヲ期セントスルノデアアル、霸道ハ事ノ理非ヲ論ゼズ、只ダ自己ノ利益ヲ圖ルモノデアツテ、富國強兵ヲ目的トスルモノデアアル、王道ハ親和主義デアツテ霸道ハ功利主義デアアル、サレバ王道ハ誠ヲ體トシ仁ヲ要トシ、霸道ハ力ヲ體トシ權ヲ要トスルモノデアアル、王道ハ德化禮治ヲ主トシ、霸道ハ威壓法治ヲ主トスルモノデアアル、王道ハ天ニ代ツテ國家ヲ經倫シ、至平至公一點ノ私情ヲ挾マズ、一毫ノ人爲ヲ加ヘズ、天地自然ノ大法ニ基キ蒼生ヲ治化シ、一視同仁ノ下ニ共同的幸福ヲ期シ、上下和合、天人一致ノ政治ヲ行フモノヲ以テ理想トスルノデアリマスガ、霸道ハ産業ノ開拓ニ努メ民力ヲ休養シ、法令ノ整備ヲ勵ムト雖モ其ノ窮極ハ利ト權力ノ爲ニ外ナラスト思フノデアリマシテ、我が國ハ王道ト申シマセウカ、皇道ト申シマセウカ、言葉ハドチラデモ宜シイノデアリマスガ、私ハドウシテモ我が國情ヨリ致シマシテ王道の見地ニ立ツテ政治ヲ行ハナケレバナラスト信ズルノデアリマスガ、如何ナモノデアリマスカ

○田中政府委員 陸軍トシテ御答ヘ致シマス、今王道ト霸道ヲ別ニサレテ論ゼラレマシタガ、私共長ラク支那ニ居リマシタ關係デハ、王道ト云フモノハ非常危險ナモノト思ツテ居リマス、ハツキリ申シマス、ト申シマスノハ王道ハ德治主義デ德ヲ以テ治メル、之ヲ有德即王ト申シマス、德アル者ガ王トナル、此ノ思想ハ窮極スル所霸道ト

同ジナル、德ニ尺度ハアリマセヌケレドモ、必ズ力有ル者ハ王トナル、支那ノ歴史ニ於テ若シ王道ガ行ハレタトスレバ唯モハ禪讓ヲヤリマシタ堯舜ノ時ダケデアリマス、周以後ニ於キマシテハ悉ク力ヲ以テ天下ヲ取ツテ居ル、私ハ王道ト皇道トハツキリ區別ヲシテ居リマス、皇道トハ何ゾヤ、神ナガラノ道デアリマス、是ハ日本ノミニアル天皇大家族主義、天皇ヲ中心ト致シマシテ凡ユルモノヲ超越シタ立派ナ道ダト思フ、王道ヲ日本ニ持ツテ來ルコトハ私ハ軍人ト致シマシテ、特ニ軍人勸諭ヲ奉ズル者ト致シマシテハ非常ニ危險デアルト私ハ感じテ居リマス、是ハ私ノ信念デアリマスカラ議論ニナルカ知レマセヌガ是ダケ申上ゲテ置キマス

○橋田國務大臣 王道霸道ニ付テ詳シク御説明ガアリマシタガ、霸道ノ根源トシテ天ニ代リテ王ヲリト云フコトガアル、我が國ニ於キマシテハ、天皇陛下ハ其ノ意味ノ天其ノモノデ在ラセラレ、代ツテ政ヲ御攝リニナツテ居ルノデハナ、此處ニ根本的ナ差別ガアルコトヲ御考ヘ願ヒタイト思ツテ居リマス、是ハ私ノ信念デアリマシテ、天皇陛下ハ其ノ意味ニ於テ吾々カラ申上ゲマスト現人神ト申上ゲルコトガ出來テ居ルノデアリマシテ、是ハ他ノ如何ナル政治ノ形態、國體ニ於テモ表現ノ仕方ガナイ御姿デアルト考ヘテ居リマス

○柳川國務大臣 今眞鍋サンノ御述ベニナツタ道徳トシテノ内容ニ付テハ、王道ハ大變良イヤウデゴザイマシタガ、此ノ王道ガ續クバ宜イト王道主張者ハ言フ、其ノ續カヌノガ……今兵務局長ノ言ハレタヤウニ續カヌノガ王道ノ本質デアリマシテ、アノ儘

デハ我が國ニハイケンナイノデアリマシテ、王道ト言ヒマスカ、今日吾々ノ方カラ言ヘバ臣道デアアル、滿洲ニシテモ現在ノ支那ニシテモ、王道ヲ以テ國民ニ臨ムト云フコトヲヤツテ居ルノハハ結構ダラウト思ヒマス、我が國ハアレ其ノ儘デハ工合ガ惡イ、道徳ノ内容ニ付テハ取ツテ以テ用トナスト云フ分ハ多々アルト思ヒマス、此ノ點御答ヘ致シマス

○眞鍋(勝)委員 今田中兵務局長ノ仰セニナツタノモ眞理デアアルシ、橋田文部大臣ノ仰セニナツタノモ眞理デアアル、而シテ中間ノ御答ヘガアリマシタ柳川司法大臣ノ仰セニナツタノモ眞理デアアルノデアリマス、我が國ノ所謂政治道徳ト云ヒマス、支那カラ來タ言葉ガ甚ダ多イノデアリマスガ、支那カラ來ヨウガ、西洋カラ來ヨウガ、良イ所ハ採ツテ以テ我が國ノモノトスレバ宜イノデアリマシテ、王道一本デモイケンナイ、又權道一本デモイケンナイ、ソコニ我が國ノ皇國ニ最モ適スル所ノモノヲ採ツテ以テ行クノガ我が國ノ道ナンデアリマスカラ、王道ノ道ガ宜イカ、霸道ノ道ガ宜イカ、ドツチガ宜イカト云ヘバ、王道ノ方ヲ採ツテ以テ、王道ヲ是正シテ皇道トスル所ニ我が國ノ最モ尊イ所ガアル、此ノ點ヨリ致シマシテ、又申上ゲマスガ、大政翼贊會ノヤリ方ヲ見テ居リマス、アレハ今申上ゲマシタヤウナ調子ニ、非常ナ多額ノ給料ヲ與ヘ、其ノ説ク所ヲ見ルト、先刻猪野毛君ガ申サレタル方々ニ於キマシテモ、或ハ日本歴史ヲ獨譯致シマシテ、サウシテ、天皇陛下ヲ——詰リ邦譯ニ於テモ「ヒール」「シー」デ敬語ヲ拔キニシテ彼レ、彼女ト云フヤウナ調子デ西洋

デハ我が國ニハイケンナイノデアリマシテ、王道ト言ヒマスカ、今日吾々ノ方カラ言ヘバ臣道デアアル、滿洲ニシテモ現在ノ支那ニシテモ、王道ヲ以テ國民ニ臨ムト云フコトヲヤツテ居ルノハハ結構ダラウト思ヒマス、我が國ハアレ其ノ儘デハ工合ガ惡イ、道徳ノ内容ニ付テハ取ツテ以テ用トナスト云フ分ハ多々アルト思ヒマス、此ノ點御答ヘ致シマス

流其ノ儘ニ譯シテ居ルト云フヤウナモノモアルシ、或ハ此ノ間モ問題ニナリマシタガ、公然トシテ私有財産ヲ否認シ、産業ノ奉還ヲ唱ヘル者モアルシ、或ハ書籍ヲ出シテ共產主義ヲ陰ニ陽ニ説クモノモアル、又企畫院デモサウデアアルト云フヤウナ調子デ、而モ下ツ端デナクシテ、相當上層部ニ於テ、サウ云フ人ガ少クナイヤウデアリマス、次ニ大政翼賛會ノ使命ニ關スル點デアリマスガ、我が憲法ニハ第一章第四條ニ於テ、上意ヲ下達シテ下情ヲ上通スルト云フ道ハチヤント開カレテ居ル、ソレ以外ニモウ一ツ此ノ上意ヲ下達スルカ、下情ヲ上通スルカ知リマセスガ、所謂憲法上ノ 天皇統治ノ大權以外ニ御大業ト申シマスカ、憲法上ノ 天皇ノ統治ノ大權ノ廣イ意味ノ所謂 天皇ノ御大業ト稱シ奉ル部分ヲ翼賛會ハ政府ト共ニ政府ノ政策主張ヲ贊シ、之ヲ宣傳シテ上意ヲ下達シ、下情ヲ上通シテ其ノ使命ヲ達成セント欲シテ居ルト云フヤウナ説明カラ見マスルト、是ハ或ハ權道ヲ以テ我が憲法政治ヲ紛淆セントスルヤウナ結果ニナリハシナイカ、斯ウ云フヤウナ憂慮ヲ抱クモノデアリマスガ、王道霸道ト云フヤウナ觀點カラ見マス、是ハ寧ろ霸道ニ屬スルノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ感じヲ私ハ持ツテ居ルノデアリマス、或ハ是ハ御答辯ヲ得マシテモ私ノ満足スルヤウナ御答辯ハ得マセカト思ヒマスレドモ、一應御高見ヲ拜聽シタイト思ヒマス

○橋田國務大臣 翼賛會ニ付キマシテハ先程申上ガマシタコトデ御承知ヲ願ヒマス

○眞鍋(勝)委員 更ニ私ハ思想ノ方カラ一ツ御伺ヒシタイノデアリマス、東洋ノ思想、西洋ノ思想ト云ヒマシテモ、東洋ト云ヘバ支那

モ含ミマスレドモ、所謂日本思想ト云フモノト西洋思想ト申シマスカ、此ノ二ツヲ捉ヘテ見マスルト、一ハ日本文化ト申シマスルカ、日本ノ思想ノ方カラ言フト、精神のト云フ方ガ餘程特徴ニナツテ居リマス、日本ノ文化、日本ノ思想ト云フモノハ精神のデアアル、而シテ又西洋ノ文化ト云フモノハドチラカト言ヘバ物質的のナンドアリマシテ、西洋ノ文化ヲ又言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、人ニ依リマス、陽的文化ト云ヒ、或ハ學問上カラ言フト對外向性ヲ帶ビテ居ル、即チ物質的、理智的、才能本位、功利的デアリマスガ、日本文化カラ言フト、陰的原理ヲ多分ニ持ツテ居ツテ、內面的、精神的、情意的、趣味的、或ハ德操のトデモ申シマセウカ、斯ウ云フ所ニ日本ノ思想ノ特徴ガアルノデアリマス、之ヲ衣服ノ上カラ申シマシテモ、西洋トハ餘程趣味ガ違ツテ居ル、食物ノ上カラ言ヒマシテモ、或ハ住居ノ上カラ言ヒマシテモ、各々特色ガアルノデアリマシテ、殊ニ建物ナシカデモ、日本ノ建物ト云フモノハ大自然其ノモノト言ヒマスカ、本來ノ日本建築ハ「ヒキョセテ結ベバ草ノ庵ニテ、トクレバモトノ野原ナリケリ」ト云フヤウナ調子デ、大自然ノ其ノ儘デアアル、日常生活ニ致シマシテモ、西洋ノ方ハ女デモ運動スル、運動ト家事トハ別々ニシテアルガ、日本ノ方ハ人ガ來レバ坐ツテ障子ヲ開ケル、開ケテ又閉メルニモ坐ル、オ茶ヲ持ツテ來ルニモ立ツテ行ツテ又坐ル、或ハ裁縫ヲシテモ其ノ通りデアアル、裁縫ヲシ茶事ヲナシ家事ノコトヲヤレバ、ソレガ即チ運動トナル、向フノ方ハ別々ナンドアリマス、日本ノ方ハ色々ナリ日常生活、坐作進退、ソレ等總テノ點カラ、

東洋精神ト云フモノガ作ラレデノアリマシテ、日本ノ精神ハ一旦緩急アレバ義勇公ニ奉ズル、君國ノ爲ニハ死ニ就コト生ニ歸スル如ク、武士ハ食ハネド高楊子ト云ヒマシテ、色々日本精神ト云フモノハ知ラズ識ラズノ間ニ養ハレテ來テ居ル、然ルニ此ノ頃大分西洋思想ガ入ッテ來マシテ、新體制トカ或ハ舊體制ト謂フ此ノ舊體制ト云ヒマシテ色々々々觀點カラ考察サレマスレドモ、大雜把ニ見ルト、ドチラカト言フト、舊體制ニ屬スル人ノ方ハ或ハ東洋思想ヲ多分ニ持ツテ居ル人デヤナイカト思フ、新體制ノ方ハ融通ガカリクラ西洋思想ノ方ヲ多ク受ケ容レテ居ルノデヤナイカト云フヤウナ見方モ出來ルノデアリマシテ、此ノ觀點カラ亦大政翼賛會ノ方ヲ見テミマス、即チヤツタ所ノヤリ口、或ハ其ノ爲サントスル所ヲ檢討致シマス、形ハ「ドイツ」デ、精神ハ露國ノヤリ方デアアル、是ハ幾ラ大政翼賛會ヲ擁護セントスル人デモ、ドウシテモ蔽フベカラザル所ノ事實デアルト私ハ見テ居ル、シテ見ルト、此ノ思想的觀點ヨリスレバ、ドウシテモ東洋精神ニ反シテ居ルンデヤナイカト私ハ解シマスガ、此ノ點ハヤハリサウハ御覽ニナラヌノデゴザイマセウカ、御伺ヒ致シマス

○田中政府委員 我ハ日本精神ハ精神のトノミ考ヘナイ、日本精神ト云フモノハ精神ダケデアツタナラバ、是ハ大變ノコトデアアル、是ハ先程申上ガマシタ物心一如デアリマシテ、私共ガ軍人トシテ考ヘテ居リマスコトハ、日本人ハ生レナガラニシテ皆使命ヲ持ツテ、其ノ使命ヲ果セバ神ニナル、言ヒ換レバ、天皇ニ對シ奉シテ盡スベキ道ヲ、軍人ハ軍人、科學者ハ科學者、代議士ハ代議士、總テノ者ガ使命ヲ持ツテ居リマスガ、之ヲ完全ニ盡シタ人ハ神ニナル、物心兩方面共發展騰昂シテ止ム所ナキ思想ガ、日本思想デアルト考ヘテ居リマス、精神のダトカ物質的のダトカ云フ言葉デ批評スベキヤウナ、サウ云フ低級ナモノデヤナイト考ヘテ居リマス、翼賛會ノコトモ私申上ゲナイ積リデアリマシタガ、惡ケレバ直サウデヤアリマセウカ、叩コトヲ止メマシテ、惡ケレバ國民ト致シマシテ直シテ行キマセウ、手が足りナケレバ附ケテヤリマセウ、足ガ足りナケレバ附ケテヤリマセウ、折角出來上ツタモノデアリマスカラ、之ヲ完全無缺ナモノニスルベクオ互ニ努力シタイト思ヒマス、終リ

○橋田國務大臣 日本精神ガ専ラ精神のデアリ「ヨーロッパ」的のナモノガ物質的のデアルト云フヤウニモ拜聽シマスレドモ、恐ラクサウ云フコトデアリマシテハ、眞鍋君ノ御趣旨ヲ十分表現シテハ居ナイモノダトハ思ヒマスガ、免ニ角私共ノ考ヘテ居リマスコトモ、今兵務局長カラノ答辯ノ通り、日本精神ト云フモノハ物心一如トシテ提ゲ來ル大精神デアリマシテ、若シ外來ノ科學ト云フモノガ物的面ダケニ限ラレテ居ルモノナラバ、ソレヲ我が國ニ於テ物心兩面ヲ包容スルモノニ是シテ直スコトニ於テ、日本ノ科學ヲ樹立スルト云フコトガ、日本ノ科學者ノ使命デアアル、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、日本ガ唯精神のニダケト云フノデハ、是ハ初メカラ抽象ニ墮シタ概念デアリマシテ、ソレデハ日本人ノ活躍ト云フコトハ何處ニモナイコトニナルノデアリマシテ、物心一如トナツテ大イニ活躍スルベク努メナケレバナラスト考ヘテ

居ルノデアリマス、翼賛會ハ翼賛運動ト云フモノヲ推進シテ、中核トシテ總裁ガ作ツテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、翼賛運動自身ニ理念ニ於テ間違ハナイト私確信シテ居リマス、翼賛會ニ付テハ細カシイコトヲ私能ク存ジマセヌケレドモ、色々不備ナ點ガアルコトハ又認メナケレバナラスト思フノデアリマス、ソレハ既ニ總裁ニ於テモ解決スルト云フコトヲ十分ニ考ヘテ居ラレト思ヒマスシ、明言シテモ居ルノデアリマスカラ、私ハ其ノ趣旨ニ隨ツテ行キタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○柳川國務大臣 趣旨ニ於テハ文部大臣ガ今御述ベニナリマシタカラ、特別ニ私カラ申上ゲルマデモナイト存ジマスガ、眞鍋サンノ御意見ト文部大臣ノ御意見、又兵務局長ノ御意見ヲ、中ヲ取ツテ見マス、眞鍋サンノ仰シヤツタノモ、精神ダケヲ話サレテ居ルト云フ考ヘデナカッタラウト思ヒマスシ、又西洋人ハ物バカリデアルト申シテ居ル譯デモナイダラウト思ヒマスガ、吾々が我が日本國民相互ノ間ニ接シ、又外國ノ人ニ接シ、殊ニ歐米ノ人ニ接シテ見テノ感ジハ、吾々同胞ガ意識シテ居ルカ居ラヌカハ別トシテ、ドウモ日本人ハ西洋人ヤ何カトハ違フヤウニ感ズル、其ノ違フト感ズル所ガ我が國ノ國體ヲ受ケテ居ル吾々ノ有難イ國柄デアルト存ズルノデアリマス、多分眞鍋サンノ仰シヤツタノモ、サウ云フ意味デアラウト思ヒマス、之ヲ強ヒテ言葉ニ現ハセバ、日本ノ方ハ心ノ方ガ先ニナリ、西洋ノ方ハ物ガ先ニナツテ居ル氣ガシマゼウガ、何レニシマシテモ離レム、デナイコトハ文部大臣ノ仰シヤツタ通りデアラウト思ヒマス、度々翼賛會ノコトニ結び付ケテ御

質疑デゴザイマスガ、是ハ只今總理大臣モ非常ニ御考ヘニナツテ居ルコトデゴザイマスシ、皆様ノ仰シヤツタコトヲ各方面デ私共承リマシテ、大概方向モ、其ノ先ノ行ク限度モ想像ガ付キマス、行ク所ニ行カシテ、今兵務局長モ言ヒマシタガ、間違ヒノナイヤウニ協力シテ行クコトガ宜イデアラウト存ズル次第デゴザイマス

○眞鍋(勝)委員 私ハ以上三點ヲ司法大臣竝ニ文部大臣、陸軍當局ニ聽イテ戴イタ、最後ノ日本精神ノ點デアリマスガ、東洋精神ト西洋精神ト云フモノヲ學的ニ分ケマストサウナル、日本ダツテ何モ精神バカリデハ食ツテ行ケヌコトハ分ツテ居ル、併シ日本文化ノ貴イ所ハ即チ其ノ精神ニアルノデアアル、西洋ノ人間ハ明ケテモ暮レテモ物質主義デアアル、殊ニ「フランス」ノ如キハ餘リ物質主義ニ捉ハレ愛國心ヨリモ隣國金ヲ大切ニシテ居タカラ國ヲ失ツタ、國ヲ失ツタノハナゼデアアルカト云フト、隣國金第一デ愛國心ガ薄カツタカラデアアル、國ヲ愛スルト云フノハ何處ニモアリマセウガ、ソレヲ餘計持ツテ居ルカ少ク持ツテ居ルカ違フ、國ヲ愛スル心ヨリ金ヲ愛スル心ノ方ガ勝ツタラ「フランス」ノヤウニナル、併シ精神バカリデハ生キテ居レヌコトハ決マツテ居ル、田中兵務局長ハ其ノ點ヲ餘リ私ノ言フ言葉通りニ取ラレテハ甚ダ迷惑ナノデアリマス、即チ日本人ノ偉イ所ハ精神デアアル、物ト云フケレドモ日本人ニ一番大切ナノハ精神デアアル、是ハ兵隊バカリデヤアリマセヌ、即チ死ニ就クコト生ニ歸スルガ如ク、一旦緩急ノ場合ニハ一ツシカナイ命、一人シカナイ息子ヲ喜ンデ戰場ニ出シテ御國ノ爲ニ殺シテ居ル、即チ物ナン

カ何デモナイ、大切ナ命サハ捧ゲテ居ルノデアルカラ、財産ナンカ國ノ爲ニナラ喜ンデ捧ゲル、五ツノ物ヲ十ニシ、十ノ物ヲ百ニシテ捧ゲヨウト云フノガ吾々ノ精神デアアル、ソレヲ十ノ物ヲ十トシテ出スノト十ノ物ヲ百ニシテ出スノトドツチガ御上ノ役ニ立ツカ、ソコガ精神的ナノデアアル、吾々日本人ハソナケチナ考ヘラ持ツテ居リマセヌ、ソコガ日本人ノ偉イ所デアアル、精神ヲ主トスルモノト物質ヲ主トスルモノ、之即チ日本思想ト西洋思想ノ岐ルル所デアリマス、何ト云ツテモ日本ハ精神的デアアル、近頃流行ノ部落會トカ、部落常會トカ、隣組トカニ於テモ、物資ノ生産擴充ニ就テ論議サレルガ、先頃埼玉縣ノ或ル老人ガ此ノ種ノ會合ニ行ツテ言ハレルニハ、米トカ大豆トカ、或ハ小麦トカ、此等食糧物資ハ一體誰ガ作ルノデアアル、即チ百姓ガ作ルノデアアル、ヤタラニ會合バカリ開イテ時間許リ取ツテ居テハ米モ麥モ穫レナイデヤナイカ、會議ヲスルノガ百姓デナク、物ヲ少シデモ餘計穫ルト云フノガ百姓デナイカト云フヤウナ説ヲ吐イタト聞イタガ、誠ニ其ノ通りデアアル、繰返シテ言フガ日本ノ國民ハ精神的デアアル、仕事ヲスルニモ唯身體ダケデハ出來ナイ、肉體ハ從デアツテ、精神ハ主デアアル、精神ガアレバ五ノモノガ十ニナリ、十ノモノガ百ニモナル、ソコヲ私ハ言ツタノデアリマスカラ、誤解ノナイヤウニ御聽取ヲ願ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 能ク分リマシタ、御言葉ノ通りデアレバ私ノ考ヘト同ジデアリマス、唯私自身ハ日本民族ト云フモノハ萬國ニ優レタ道義ノ民族ダト考ヘルノデアリマス、精神ダケト云フコトヲ考ヘテ居ラナカツタ

ノデアリマスガ、ツイアア云フコトニナツテ相濟ミマセヌ

○眞鍋(勝)委員 私ハ田中局長ノ虚心坦懷ノ態度ニ對シテ敬意ヲ表シテ居ツタノデアリマスガ、今私ノ質問ニ色ヲ作シテ精神主義バカリデハ生キテ居レヌト云フコトヲ言ハレタノデ聊カ辟易シタノデアリマスガ、斯ク論ズル所以ノモノハ、此ノ法律ナドハ出來レバ修正モシヨウト思フガ出來ナケレバセナイデモ良イ、兎ニ角斯ウ云フ世ノ中ニ立チ到ツタノデアリマスカラ、此ノ法律デ、括ツタ所ガ——誰デアリマシタカ維新當時ノ謀參議ノ歌ニ「荊ニモグル道アリミソサザイ」ト云フコトガアル、幾ラ法律ヲ拵ヘテモ小サイミソサザイノヤウナモノモアルカラ漏レルノデス、ソレデアアルカラ漏ラヌヤウニシナケレバナラス、ガ唯法律バカリデハ巧ク行クモノデナイノデアリマス、私共ガ此ノ點ヲヤカマシク言フノハ、法律デ大イニ共產主義ヲ抑ヘヨウトシテ居ラレルガ、今日我が日本ニ於テ共產主義ガサウ餘計擴ガルモノトハ思ハナイ、我が國ノ國體ヨリ致シマシテ、且ツ世界ニ冠タル此ノ精神文化ヲ有スル日本ニ於テハ私ハサウ心配セヌデモ宜イト思フ、併シ政治ノ方ハ、是ハ一步誤ルト、苛政ハ猛虎ヨリモ甚シイト云フコトガアリマスガ、政治ニ於テハ少シイケナイト思フコトデモ、天下ノ廣居ニ立ツテ政治ヲスルコトニナツタナラバ、少シ位ノ共產主義トカ或ハ其ノ他多少法網ニ觸ルルモノヨリ國家ニ及ボス影響ハ非常ニ大キイノデアリマス、デアリマスカラ國ヲ思フ至情カラ致シマシテ以上三點、即チ政治トハ何ゾヤト云フ事ヲ唯法律的ニバカリ囚ハレズニ解釋ラシ、或ハ思想ニ於キマシテモ此

ノ日本精神ト云フコトヲ益、高揚致シマシ  
テ、サウシテ物ノ擴充ニモ當ラナケレバナ  
ラヌ、此ノ精神方面ヲ離レ、高キ理想ヲ離  
レテハ日本ノ政治ハ低調ニナル、隨テ實績  
ガ擧ラヌ、私ハ斯ウ云フ見地カラ致シマシ  
テ立派ナ政治ヲ行ツテ行カナケレバナラヌ  
ト云フノデ之ヲ論ジタノデアリマスカラ、  
ドウゾ意ノアル所ヲ御諒承ヲ願ヒタイノデ  
アリマス、次ニ先日貴族院ニ於ケル岩田博  
士ノ質問ニ對スル平沼內務大臣ノ答辯ト致  
シマシテ、治安警察法ノ所謂政治結社——

此ノ法案ニモ結社ト云フノガアツタカト思  
ヒマスガ、此ノ治安警察法ノ所謂政治結社  
ハ、結社其ノモノガ獨自ノ政策ヲ持チ、其  
ノ實現ニ向ツテ進ムモノノ初メテ治安警察  
法ノ政事結社ト見ラルベキモノノデア  
ル、單ニ政府ノ意見又ハ政策ヲ宣傳スルヤウナモ  
ノハ、同法ノ政事結社ト見ルベキデハナイ  
ト內務大臣ガ言ツテ居ラレマスガ、司法省  
ノ御意見ハ如何デセウ、是ハ大臣デモ政府  
委員デモ答辯ハドナタデモ宜シイデスガ、  
內務大臣ナリ、近衛總理大臣ハサウ云フヤ  
ウナ解釋ヲ持ツテ居ラレルヤウデゴザイ  
マスガ、司法省モ御同様ノ解釋デアリマ  
スカ

○秋山政府委員 內務大臣ノ御答辯ノ通り  
ト解釋ヲ致シテ居リマス  
○眞鍋(勝)委員 サウシマスト、之ヲ政黨  
ノ場合ニ取ツテ考ヘルト、政府ノ意見政策  
ヲ支持スル所ノ政府黨ナルモノハ、治安警察  
法ノ支配以外ニ立ツモノノデアルト云フヤウ  
ナコトニナツテ來ヤセヌカト思フノデアリ  
マス、又政府ノ意見若クハ政策ヲ支持シ、  
或ハ之ヲ宣傳スルニ止マル所ノ新聞雜誌、  
即チ政府ノ機關紙デアルトカ、御用新聞ナ

ルモノハ、新聞紙法ニ依ツテ發行スルコト  
ヲ必要トセザル結果トナリハシナイカ、斯  
ウ云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ場  
合ハヤハリ左様ニ解シテ宜シイノデゴザイ  
マセウカ

○柳川國務大臣 貴族院ノ問答ヲ繰返スコ  
トニナリマスガ、私ハ當時其處ニ居リマシ  
テ、內務大臣ノ御答ヘニナツタ概要ヲ記憶  
シテ居リマスガ、內務大臣ハ、政黨ハ唯傳  
ヘルダケデナクシテ政黨自身ノ意見ガア  
ル、政策等ノ意見ガアルノダ、ダカラ政黨  
ハ唯政府ノ意見ヲ傳ヘルト云フ會トハ同様  
デナイト云フヤウニ御答ヘニナツタヤウデ  
ゴザイマス、ズツトアレヲ繰返シテヤリマ  
シテモ、私ガ居ツタリ居ラナカツタリシマ  
シタノデ、ソレヲ又自分ノ考ヘデ、內務大  
臣ト司法大臣ト意見ガ違ツタリナドシテモ  
困リマスノデ、若シソレカラ先續ケテズツ  
ト御尋ネニナルナレバ、能ク打合セテカラ  
御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス

○眞鍋(勝)委員 實ハ私ハ唯內務大臣ノ御  
答ヘバカリガアツタヤウデスカラ、是ハ餘  
程重大ナ問題デアリマスカラ、司法省ノ御  
意見モ承ツテ置ク方ガ宜イト思ツタノデ  
ス、御相談ノ上御答ヘ下サツテモ宜シイノ  
デス、サウシテ見ルト、司法省ハ政治ト云  
フコトニ付テハヤハリ內務省ト同ジニ御考  
ヘニナツテ居ルノカトモ思ハレルノデアリ  
マスガ、政治トハ何ゾヤト云フコトニ付テ  
ハ、人々ニ依ツテ多少ハ違フカモ知レマセ  
ヌガ、現在ノ政治ニ影響ヲ及ボス目的ヲ以  
テスルモノヲ政治ト謂フ、斯ウ云フヤウニ  
先ヅ普通ノ學者ハ解シテ居ル、現在ノ政治  
ニ影響ヲ及ボス目的ヲ以テスルコトガ即チ  
政治デアルト、斯ウ云フノデアリマスガ、

サウ云フ點カラ申シマス、政府ヲ支持シ  
ヨウガシマイガ、兎ニ角現在ノ政治ニ影響  
ヲ及ボス所ノ意見ヲ發表スルコト云フコトニ  
ナレバ、政府ノ政策ニ追隨シテ之ヲ支援シ  
之ヲ敷衍シ、之ヲ宣傳スルノハヤハリド  
ウモ政治デアルヤウニ私ハ考ヘル、此ノ點  
一ツソレデハ御相談ヲシテ御答辯ヲ願ヒタ  
イ

○柳川國務大臣 今日只今御答ヘヲシテ、  
政府ノ間ニ意見ガ違ヒマシテモ何デゴザイ  
マスカラ能ク相談致シマシテ御答ヘ致スコ  
トニ致シマス

○服部委員長 眞鍋君モウ宜シウゴザイマ  
スカ

○眞鍋(勝)委員 私人ノ質問ハ其ノ時マデ留  
保シテ置キマス

○服部委員長 大分晚クナリマシタガ、三  
田村君ノ陸軍ニ對スル質問ガ殘ツテ居リマ  
スカラ、此ノ際之ヲ許シマス、成ベク簡單  
ニ願ヒマス——三田村君

○三田村委員 委員長ノ御注意ニ依リマシ  
テ成クベ簡單ニ致シマス、問題ハ二點デア  
リマスガ、私ハ此ノ問題ニ關スル限リ最モ  
嚴肅ナル氣持デ御伺ヒ致シタイノデアリマ  
ス、初メ軍當局ノ御決意ヲ伺ヒマシタ通  
リ、今日總力戰態勢ノ重要ナル部門トシ  
テ、思想戰ナリ思想國防ハ極メテ重要デア  
リマス、田中兵務局長モ、其ノ重要デア  
リ、又役割ノ重大ナルコトヲ縷々御説明ニナ  
リ、其ノ御決意、其ノ方針ヲ御述ベニナリ  
マシテ、私ハ洵ニ欣快ニ考ヘタ次第デアリ  
マス、殊ニ思想國防完成ノ上ニ國論ノ統一  
ハ絕對ニ必要デアルト云フコトモ御言明ニ  
ナリマシタ、其ノ見地カラ私ハ御尋ネ致シ  
タイ、更ニ田中兵務局長ノ御答辯ノ中ニ、

第三國ノ思想謀略、所謂第五列ノ活動ナド  
ト云フコトニ付テハ、最モ慎重ナル態度デ  
言及サレテ居リマス、私ノ今此處デ御尋ネ  
シヨウト思フノハ其ノ問題デアリマシテ、國  
論ノ統一ガ絕對必要ナル今日、而モ其ノ國  
論ハ日本ニ於テハ既ニ決定サレテ居ル筈ナ  
ンデス、ソレハ昨年ノ九月三國同盟ヲ締結  
致シマシテ、畏多クモ大詔ノ渙發マデ見タ、  
是デ日本ノ何ヲナスベキカハ決マツタ、此  
ノ決マツタ國策ノ根幹ヲ驀ラニ實踐スルコ  
トガ今日ノ任務デアリ、又國論ノ統一ノ線デ  
アリマス、所ガ最近吾々ハ其ノ決マツタ國策  
ト、正ニ逆テ方向ニ行クガ如キ言說ヲ屢、耳ニ  
スルノデアリマス、先般國防保安法ノ委員會  
デモ私ハ一言致シタノデアリマスガ、唯是  
ハ巷ノ噂デアリマセヌ、一月十八日ダト記憶  
シテ居リマスガ、「ドイツ」ハ參リマシタ大島  
大使ノ壯行會ヲ日比谷ノ公會堂デヤツタ  
際、現ニ松岡外務大臣ガ公開ノ演說會ノ壇  
上ニ立ツテハツキリ言ハレテ居ル、日本ノ  
方針ハ三國同盟締結ニ依ツテ決マツタノ  
ダ、而シテ「アメリカ」ニ對スル方針モ決マ  
ツタノダ、決マツタニ拘ラズ近頃日本ノ國  
内ニハ所謂恐米病患者ガ澤山出テ來タ、「ア  
メリカ」ヲ恐ルル思想ガ方々ニアル、國民  
ガ恐米病ニ罹ツタ、困ツタ問題ダ、之ヲ何  
トカセヨト松岡外務大臣ハアノ日比谷公會  
堂ノ演說會デ言明サレマシタ、國民ハ非常  
ニ大キナ疑惑ヲ持ツテ居リマス、松岡外務  
大臣ガ言ハレタ國民トハ、ドノ層ノドノ階  
級ノドウ云フ人々カ、ソレハ分リマセヌガ、  
少クトモアノ際大詔ヲ拜シタ國民ハ、今  
日ソシテ氣持ヲ持ツテ居ラス、少クトモ吾  
吾ハ持ツテ居リマセヌ、所ガ責任者タル松  
岡外務大臣ガ既ニ公開ノ席上デソレヲ言明



モ何デモ宜シイ、ソレハ襷、鉢巻、追取刀  
デ、持ツテ居ル力ヲ一厘一毛餘ス所ナク戰  
争目的ノ爲ニ動員スル國家體制ヲ作り出ス  
コトデアリマス、ソレハ絶體絶命ドンナ  
ニシテモ避ケルコトが出来ナイ國家的要求  
ナノデアル、國民ノ要求デハナイ、國家  
ノ要求ナノデアル、國民ヲ要素トスル國家  
ノ要求ナノデアル、其ノ要求ヲ充ス爲ニ  
ハ、今日隨分改メナケレバナラスモノガア  
ル、其ノ政治運営ノ形式ト云ヒ、經濟ノ機  
構ニ於テモ、國民生活ノ斷面ニ於テモ、改  
メナケレバナラスモノハ隨分アルノデス、軍  
務局長モ屢言明サレル通り、今ノ儘デハ  
此ノ歴史始マツテ以來ノ大事業ハ逆モ一  
遂行出来マセヌ、ソコニ惱ミガアリ、事  
變以來幾度モ政變ヲ見タ原因モアツタノ  
ダ、新體制運動ガ起ツテ來タ根本ノ歴史  
條件モアツタノダ、ソレナラ日本ノ命ズル  
運命、民族ノ進マナケレバナライ使命  
ニ徹シテ、改ムベキモノハ段々改メナケレ  
バナライ、赤ノ聲ニ怯エテ、アレモ赤、  
是モ赤、今日苟クモ革新ヲロニスル者ハ全  
部赤ニシテシマフ、サウシテ革新ノ防波堤  
的役割ヲヤル、是ハ現狀維持陣營ノ再登場  
デス、攻勢的防禦デス、背後ニ何ガアル  
カ、吾々ハ嚴密ニ考ヘナケレバナライ、  
此ノ點、私ハ英米自由主義ノ第五列ノ策動  
ト言ヒタイ、私ハ國防保安法ノ席上ニ於テ  
モ申上デマシタガ、國防保安法ノ活動ニ大  
イニ吾々ハ期待シテ居リマス、此ノ問題  
ハ最も重要ナモノダト思ヒマス、今日一般  
國民ガ持ツテ居ル印象——何等カ革新ヲロ  
ニスルヤウナ者ハ全部赤ダト云フ氣持ヲ持  
ツツアリマス、固ヨリ翼賛會ノ中ニ改メ  
ナケレバナラスモノハ多々アリマス、併シ

必要ナノハ全國民ガ少クトモ私ト云フ立場  
ヲ捨テルコトダ、官吏モ私ト云フ立場ヲ捨  
テル、一般國民モ私ト云フ立場ヲ捨テル、  
財界人モ私ト云フ立場ヲ捨テル、代議士  
モ、政治家モ、全部一切私ト云フ立場ヲ捨  
テテ、日本ヲドウスルノダト云フ眞劍ナ氣  
持ニナツテモノヲ考ヘタイト思フ、其ノ見  
地カラ私ハ今日私カニ憂ヘテ居ル問題ヲ提  
起シマシテ、即チ赤ハ斷々乎トシテ征伐シ  
ナケレバナライナガ、國防國家完成ノ爲  
ニ、所謂戰時新體制完成ノ爲ニ必要ナル革  
新政策、之ヲ飽クマデモ斷々乎トシテヤラ  
ナケレバナラスト云フ信念ヲ持ツ者デアリ  
マス、此ノ方針、此ノ日本ノ運命ヲ決スル  
最も重要ナル問題ニ關シテ、國防責任ノ立  
場ニアラレル軍當局ハ如何ナル御決意ヲ御  
持チデアリマスカ、重ネテ伺ツテ置キタイ  
ト思ヒマス

○田中政府委員 先般私ノ許ニ或ル前代議  
士ガ來ラレマシテ、現在ノ革新政策ハ赤デ  
アルト云ツテ、軍部ガ亦ノ如ク言ハレタ、  
其ノ時私ハ間ヒマシタ、明治維新ハ維新回  
天ノ事業カ赤カ、其ノ人ハ、明治維新ハ維  
新回天ノ事業デス、實ニ立派ナモノデス、  
アレガアルガ故ニ現在ノ日本ハ斯クノ如ク  
成長シタモノデアルト明瞭ニ言ハレマシタ  
カラ、私ハアノ時ニ失業者ハ何人アツタカ  
ト聴キマシタ、所ガ分ラナイ、私共ハ當時  
失業シタ者ノ孫デアリマス、全國デ八十萬  
失業者ガアツタ、ソレハ士族デアリマス、  
茲ニ若シ五人ノ家族ガアツタトスレバ四百  
万人デス、即チアノ時ニ、三千万人ノ日本  
ニ於キマシテ何人失業者ガ出タカト申シマ  
スト、四百万人ノ失業者ヲ生シタノデアリマ  
ス、私共ハソレガ爲ニ實ニ路頭ニ迷ツタコ

トモアルノデアリマス、併シナガラ此ノ犧  
牲ヲ拂ツテヤツタ維新回天ノ事業ガ今日ノ  
偉大ナル日本ヲ生シタ居ル、然ルニ現狀維  
持者ハ改革、革新ヲ忌ムガ餘リニ盛ニ翼  
賛會ヲ攻撃スル、翼賛會ハサツキ申シマシ  
タヤウニ、惡イ所ガアレバ直スガ宜シイ、  
併シ翼賛運動ハ斷ジテ中止スベカラズ、分  
リマスナ、ソレカラサツキ申シマシタヤウ  
ニ、若シ現狀維持論者ガ外國ト通謀シテ、  
所謂第五列トナツテ日本ノ革新ヲ妨グル者  
アラバ、是ハ國防保安法ノ命ズル所ニ依ッ  
テ斷乎トシテ處置スベキデアリマス、現在  
日本ハ革新トカ何トカ申シマスケレドモ、  
事ノ好ムト好マザルトニ拘ラズ、必ズヤサツ  
キ申シマシタ國際場裡ノ決戰ニ向ツテ邁進  
スルノデアリマスカラ、私ハ私ノ立場トシ  
テハ非日本的ノモノヲ日本カラ去ルト云フ  
コトヲ始終申シマス、悉ク日本のナモノニ  
スル、ソコニ初メテ力ガ出ルノデアリマシ  
テ、若シ革新論者ニ赤ガ乗ズレバ、赤ヲ叩  
ケバ宜シイ、赤ヲ叩クコトハ革新論者ヲ叩  
クノデアリマセヌ、革新ヲ塞グ所以デハ  
アリマセヌ、赤ヲ叩イタガ故ニ現狀維持論  
者諸君ガ手ヲ叩イテ笑フナラバ、是ハ自己ノ  
運命ヲ知ラザル者デアリマス、斷乎トシテ  
日本ハ革新シナケレバナリマセヌ

○三田村委員 力強イ御言明ヲ聴キマシテ  
安心致シマシタ、最後ニモウ一言附加ヘ  
テ、更ニ御決意ノ程ヲ伺ツテ置キタイト思  
ヒマス、私ハ決シテ運命論者デアリマセ  
ヌ、運命論者デナクテ、吾々ノ使命ト云フ  
モノニ徹シナケレバナラスト考ヘテ居ル、  
日本ハ何ヲスルカ決マツタノデス、決マツ  
タ方向ニ直進スルノガ一億國民ノ任務デナ  
ケレバナラス、モウ議論ノ時デハナイト私

ハ思フ、大政翼賛會デモ新體制デモ、ソレ  
ハ色々缺點ハアリマセウ、缺點ハアリマセ  
ウガ、今ココデ突キ壞シテ何ニナル、翼賛  
會ノ問題ニ關スル限り、私自身モ餘リアノ  
内容ヲ好キダトハ思ツテ居ナイ、翼賛會  
ヲ褒メタ講演ハ一度タツテシタコトハナ  
イ、大イニ批判ニ批判ヲ重ネテ居リマス  
ガ、少クモ此ノ翼賛會問題ニ關スル限り、  
政府モ議會モ落第デアル、成程翼賛議會デ  
法律案、豫算案ノ審議期間モ短縮シタ、國民  
ハ大イニ敬意ヲ表シマセウ、此ノ戰時下ニ  
煩瑣ナル行政事務ヲ擔當スルオ役所ノ人々  
モ、成ベク早く斯ウ云フ議會ヲ終ツテ重要  
ナル國務行政ヲ遂行サレナケレバナリマセ  
ヌ、折角此ノ態勢ヲ整ヘテ來ナガラ、豫算  
三千萬圓トカ八百萬圓トカ——私ハ翼賛會  
ノ豫算ハ一錢モ要ラヌト思フ、眞ノ翼賛運  
動ト云フモノハ金ヲ貰ツテヤルベキコトデ  
ハナイ、ソレハ豫算ノ點ヲ機構ノ點デナク  
シテ、此ノ翼賛會ヲ繞ツテナサレル議論、  
其ノ外ニ振撒ク霧圍氣ト云フモノガ洵ニ好  
マシクナイ、此ノ問題ニ關スル限り政府モ  
議會モ落第ダ、私ハ敢テ斷言シマス、一ツ  
斯ウ云フ空氣ヲナクシタイコトヲ念願致シ  
マス、サウシテ吾々ノ立場カラモノヲ見テ、  
モノノ見方ガ餘リニモ近視眼のカモ分リマ  
セヌガ、日本ノ運命ハサウ二年モ三年モ先  
ニ決戰ガアルノデアリマセヌ、刻々眼前  
ニ迫リツツアル國家的、民族的大試煉ニ堪  
ヘナケレバナラス今日デス、モウ私ハオ互  
ヒニ私的ノ立場カラ言フ議論ハ止メテ貴ヒ  
タイト思ヒマス、サウシテ斷々乎トシテ進  
シデ貫ヒタイ、決マツタコトハヤル、右顧  
左眎ハ排スル、三國同盟ヲヤツテ居ナガ  
ラ、私ハ近頃ノ國內情勢ハ洵ニ慨歎ニ堪ヘ

ナイモノガアルト思フ、一體是ガドウ云フ影響ヲ國民ニ與ヘルカ、治安維持法ノ委員會デ私ガ此ノ言ヲ敢テナス所以ハ、此ノ委員會ノ最初ニ申シマシタ如ク、凡ソ赤ノ思想ト云ヒ、反戰的ナ雰圍氣ト云フモノハ、ソレガ出テ來ル所ノ社會條件ヲ作ル所ニアルカラ、問題ハサウ云フ社會條件ヲ無クスルコトデアアル、即チ先刻申シマシタ如ク一億國民悉ク愛國ノ埒塙ニ叩キ込ムコトデアアル、民族ノ使命ニ徹シテ國家ト運命ヲ共ニスルト云フ氣持ナラバ實際ノ問題ハ解決スルノデス、而シテ日本ノ悠久ナル生命ハ開拓サレテ行キ、其處ニ問題ノ全部ガ歸結サレルト思ヒマス、折角此ノ總力戰ノ重要ナル部門ニ立チ、對内對外ノ思想國防思想戰ノ衝ニ當ラレル陸軍省兵務當局、是ハ獨リ陸軍省ニ限定サレタ所管事項ノミナラズ、總力戰體制ノ建前カラ云ヘバ、全體ニ對シテ十分ノ御觀察ヲ下サレテ、思想國防完成ノ上ニ是非トモ過チノナイヤウニ、其ノ決意ノ閃キヲ常々一般ノ國民ニ與ヘテ戴キタイ、重ネテ私ノ希望ヲ申上ゲルト同時ニ御所見ヲ伺ツテ置キマス

○田中政府委員 自分ノ任務ニ向ヒマシテ、死力ヲ盡シテ邁進致シマス

○中村(高)委員 私ハ關聯シテ「ユダヤ」人ノ對策ニ付テ、田中サンニ御尋ネシタイノデアリマスガ……

○服部委員長 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○服部委員長 明日ハ午後二時カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時五十分散會

衆議院治安維持法改正法律案委員會會議錄第四回中正誤

頁 段 行 誤 正  
五二五 ○井村(高)委員 ○中村(高)委員